

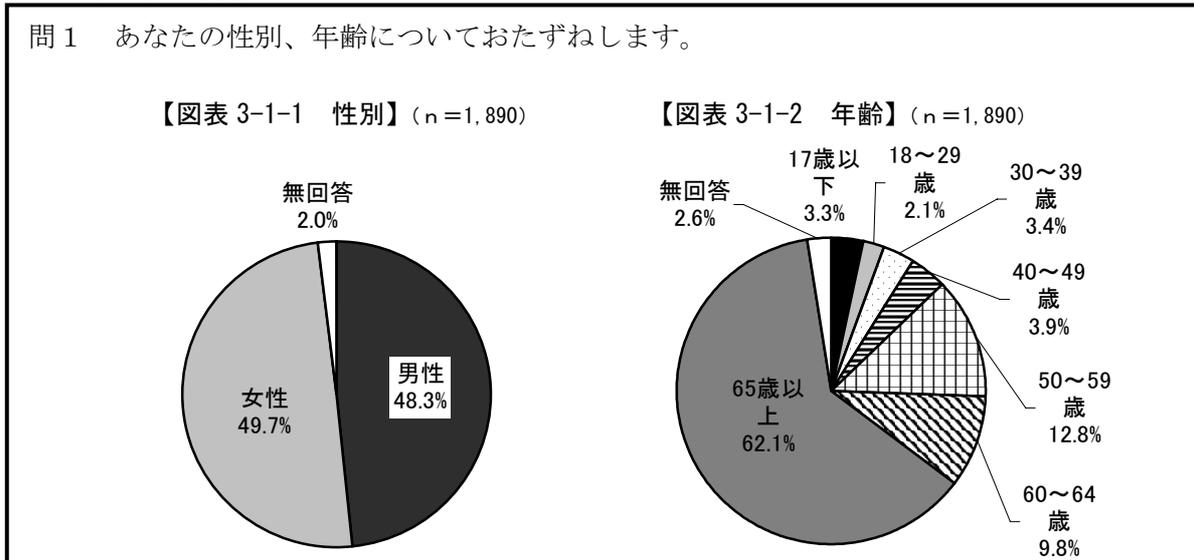
第3章 調査結果

第3章 調査結果

第1節 身体障害者（児）調査

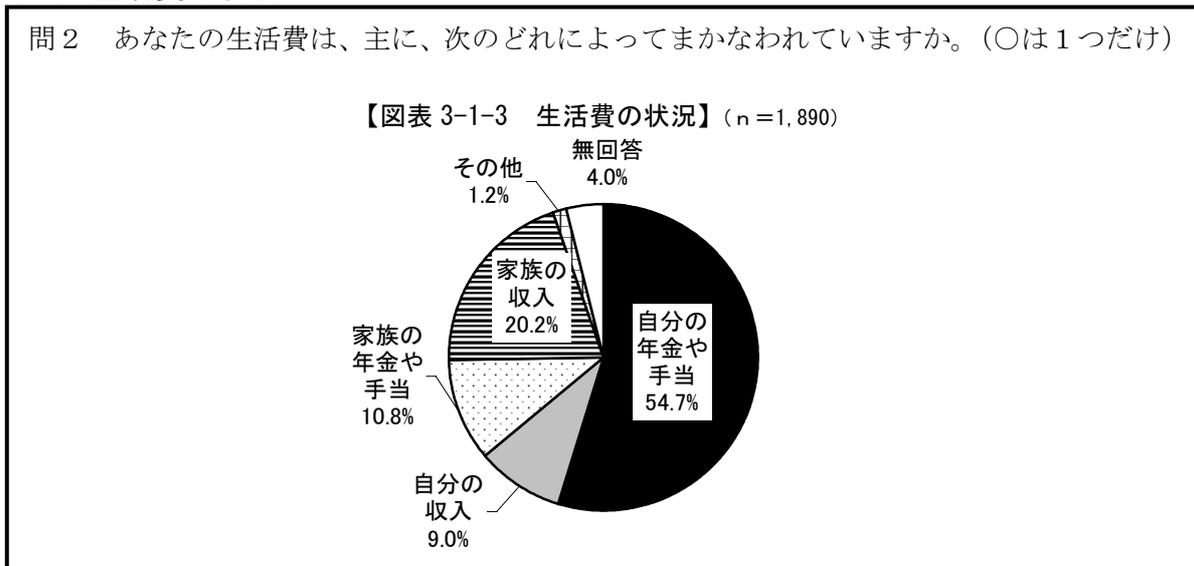
1. 基本属性

(1) 性別・年齢



性別は、「男性」(48.3%)・「女性」(49.7%)がほぼ半数ずつとなっている。
 年齢は、「65歳以上」(62.1%)が最も多く、次いで「50~59歳」(12.8%)となっている。

(2) 生活費の状況



生活費は、「自分の年金や手当」(54.7%)が最も多く、次いで「家族の収入」(20.2%)となっている。

年齢別にみると、20歳代以下では「家族の収入」が過半数を占めて最も多いが、30~40歳代になると「自分の収入」が最も多くなり、50歳代以上では「自分の年金や手当」が最も多くなり、特に60歳代以上では6割前後を占めている(60~64歳:57.8%、65歳以上:66.4%)。

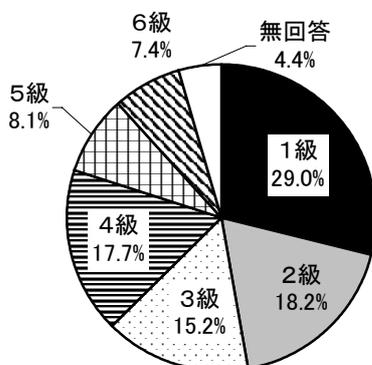
【図表 3-1-4 年齢別 生活費の状況】（%）

	調査数「n」（人）	自分の年金や手当	自分の収入	家族の年金や手当	家族の収入	その他	無回答	
全体	1,890	54.7	9.0	10.8	20.2	1.2	4.0	
年齢別	17歳以下	63	6.3	-	4.8	85.7	-	3.2
	18～29歳	40	22.5	15.0	-	62.5	-	-
	30～39歳	64	39.1	39.1	6.3	14.1	-	1.6
	40～49歳	73	27.4	34.2	1.4	31.5	2.7	2.7
	50～59歳	242	32.6	27.3	8.3	27.7	2.1	2.1
	60～64歳	185	57.8	14.6	10.8	11.9	1.6	3.2
	65歳以上	1,174	66.4	1.9	13.0	15.2	1.1	2.4
	無回答	49	22.4	-	8.2	6.1	-	63.3

（3）障害の程度（身体障害者手帳の等級）

問3 あなたの障害の程度は、「身体障害者手帳」では何級でしょうか。（○は1つだけ）

【図表 3-1-5 障害の程度（身体障害者手帳の等級）】（n=1,890）



障害の程度は、重度障害者（1・2級）が47.2%、中度障害者（3・4級）が32.9%、軽度障害者（5・6級）が15.5%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層で「1級」が最も多いが、17歳以下では54.0%と過半数を占めており、重度障害者（1・2級）が7割（69.9%）となっている。

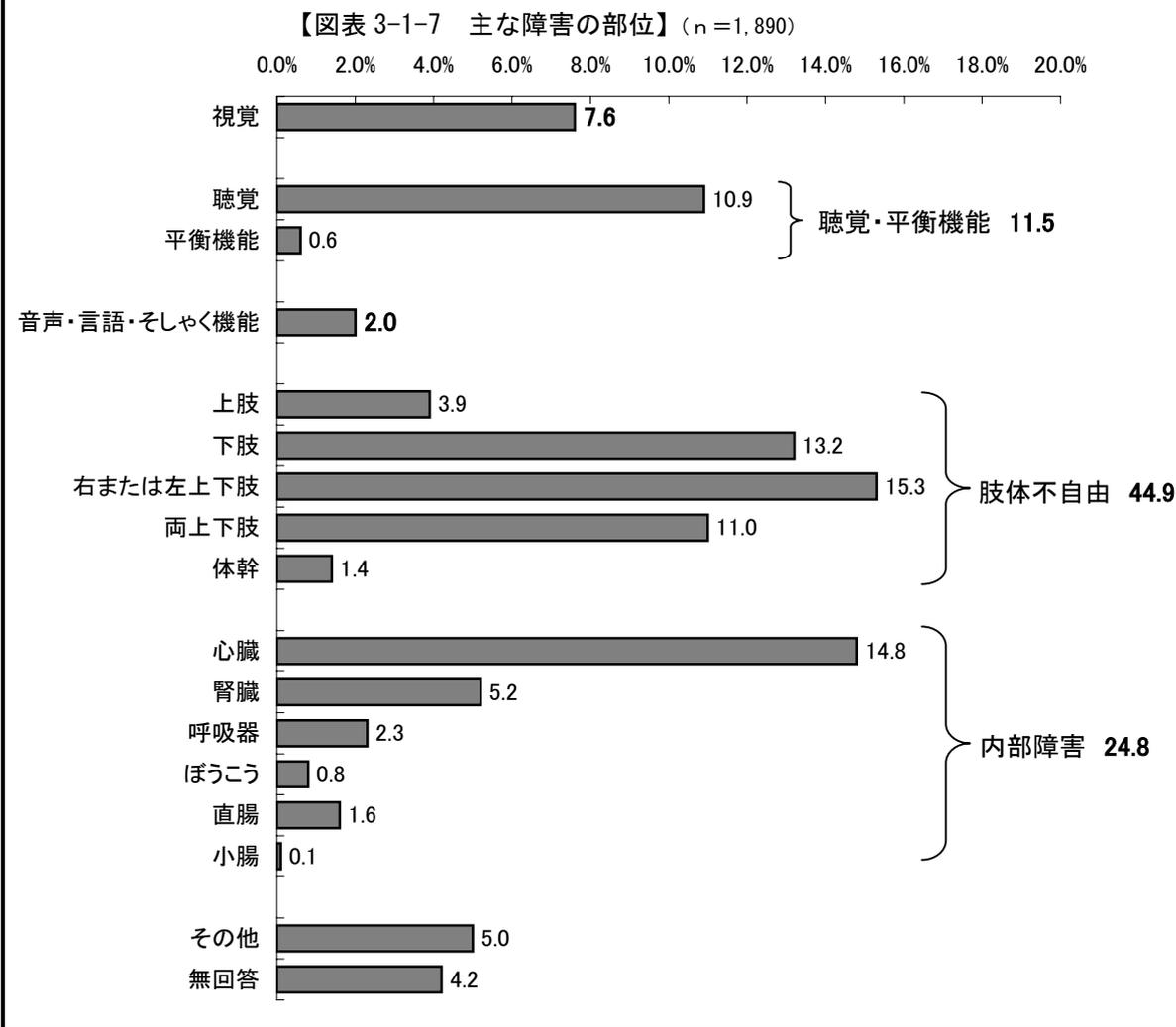
障害の部位別にみると、視覚や内部障害では、他の障害に比べて重度障害者（1・2級）の割合が高く（視覚：68.1%、内部障害：58.6%）、特に内部障害では1級が56.2%と半数を超えている。一方、聴覚・平衡機能では、他の障害に比べて軽度障害者（5・6級）の割合が高い（29.4%）。

【図表 3-1-6 年齢別・障害の部位別 障害の程度(身体障害者手帳の等級)】(%)

		調査数 「 <input type="checkbox"/> 」 (人)	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	無 回 答
全 体		1,890	29.0	18.2	15.2	17.7	8.1	7.4	4.4
年 齢 別	17歳以下	63	54.0	15.9	12.7	6.3	3.2	4.8	3.2
	18～29歳	40	32.5	30.0	20.0	10.0	2.5	5.0	-
	30～39歳	64	34.4	9.4	15.6	20.3	7.8	9.4	3.1
	40～49歳	73	31.5	23.3	12.3	19.2	8.2	4.1	1.4
	50～59歳	242	31.0	18.6	13.2	19.8	11.2	5.4	0.8
	60～64歳	185	29.2	20.0	13.5	18.4	9.2	7.0	2.7
	65歳以上	1,174	27.4	18.3	16.5	18.3	7.8	8.3	3.4
	無回答	49	10.2	4.1	4.1	4.1	8.2	4.1	65.3
障 害 の 部 位 別	視覚	144	37.5	30.6	11.1	4.9	6.3	7.6	2.1
	聴覚・平衡機能	218	11.9	29.4	12.8	12.8	2.8	26.6	3.7
	音声・言語・そしゃく機能	38	26.3	13.2	26.3	13.2	2.6	13.2	5.3
	肢体不自由	848	20.9	22.5	15.7	21.3	12.1	5.5	1.9
	内部障害	468	56.2	2.4	17.1	17.9	2.6	0.4	3.4
	その他	95	9.5	18.9	16.8	21.1	15.8	15.8	2.1
	無回答	79	11.4	13.9	6.3	11.4	8.9	1.3	46.8

(4) 主な障害の部位

問4 あなたの身体障害者手帳に記載されたもののうち、主な障害はどれですか。(○は1つだけ)



主な障害の部位（大分類）は、『肢体不自由（上肢・下肢・右または左上下肢・両上下肢・体幹）』（44.9%）が最も多く、次いで『内部障害（心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸）』（24.8%）、『聴覚・平衡機能』（11.5%）となっている。詳細にみると、『肢体不自由』では「右または左上下肢」（15.3%）、「下肢」（13.2%）が多く、『内部障害』では「心臓」（14.8%）が多い。

年齢別にみると、すべての年齢層で『肢体不自由』が最も多いが、17歳以下では他の年齢層に比べて割合が高く、71.4%を占めている。

障害の程度別にみると、最重度の1級では『内部障害』（48.0%）が最も多いが、2～5級では『肢体不自由』が最も多く、最軽度の6級では『聴覚・平衡機能』（41.7%）が最も多い。

【図表 3-1-8 年齢別・障害の程度別 主な障害の部位】(%)

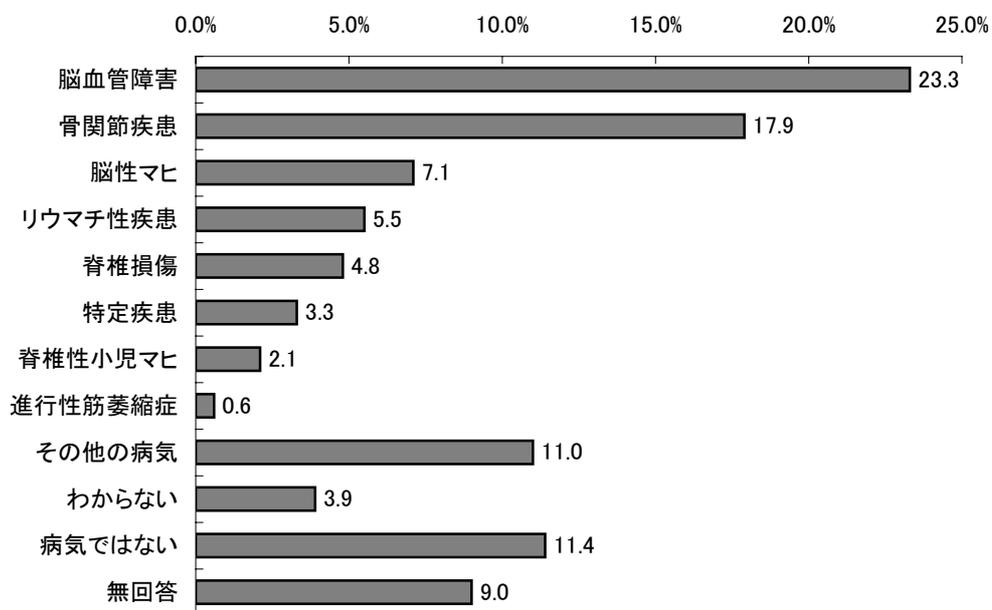
	調査数「n」 (人)	視覚	聴覚・平衡機能		音声・言語・そしゃく機能	肢体不自由	上肢	下肢	右または左上肢	両上下肢	体幹		
			聴覚	平衡機能									
全体	1,890	7.6	11.5	10.9	0.6	2.0	44.9	3.9	13.2	15.3	11.0	1.4	
年齢別	17歳以下	63	1.6	12.7	12.7	-	-	71.4	7.9	6.3	7.9	42.9	6.3
	18～29歳	40	2.5	25.0	25.0	-	-	40.0	2.5	7.5	10.0	20.0	-
	30～39歳	64	9.4	12.5	12.5	-	1.6	48.4	10.9	9.4	6.3	15.6	6.3
	40～49歳	73	5.5	11.0	11.0	-	2.7	43.8	5.5	9.6	16.4	9.6	2.7
	50～59歳	242	7.4	8.3	7.9	0.4	1.7	52.1	3.3	22.3	17.8	7.9	0.8
	60～64歳	185	9.2	4.9	4.3	0.5	3.2	47.0	2.2	16.8	20.0	7.6	0.5
	65歳以上	1,174	8.2	12.9	12.1	0.9	2.0	42.6	3.7	12.0	15.4	10.4	1.1
	無回答	49	2.0	6.1	6.1	-	4.1	22.4	4.1	6.1	8.2	2.0	2.0
障害の程度別	1級	548	9.9	4.7	4.6	0.2	1.8	32.3	1.6	2.9	11.3	15.0	1.5
	2級	344	12.8	18.6	17.4	1.2	1.5	55.5	3.5	9.3	25.3	15.4	2.0
	3級	288	5.6	9.7	9.0	0.7	3.5	46.2	6.9	10.4	15.6	11.5	1.7
	4級	334	2.1	8.4	7.8	0.6	1.5	54.2	4.8	28.7	14.4	6.3	-
	5級	153	5.9	3.9	2.0	2.0	0.7	67.3	6.5	27.5	19.6	9.2	4.6
	6級	139	7.9	41.7	41.7	-	3.6	33.8	3.6	19.4	10.1	0.7	-
	無回答	84	3.6	9.5	9.5	-	2.4	19.0	2.4	7.1	4.8	4.8	-

	調査数「n」 (人)	内部障害	その他						無回答		
			心臓	腎臓	呼吸器	ぼうこう	直腸	小腸			
全体	1,890	24.8	14.8	5.2	2.3	0.8	1.6	0.1	5.0	4.2	
年齢別	17歳以下	63	11.1	9.5	-	-	1.6	-	-	1.6	1.6
	18～29歳	40	25.0	17.5	5.0	-	-	2.5	-	5.0	2.5
	30～39歳	64	18.8	14.1	4.7	-	-	-	-	6.3	3.1
	40～49歳	73	31.5	15.1	9.6	2.7	1.4	2.7	-	4.1	1.4
	50～59歳	242	26.0	12.8	10.3	1.7	-	0.8	0.4	4.1	0.4
	60～64歳	185	24.3	10.8	8.6	2.2	0.5	2.2	-	8.6	2.7
	65歳以上	1,174	25.9	16.4	3.8	2.8	1.1	1.8	-	4.9	3.5
	無回答	49	8.2	8.2	-	-	-	-	-	2.0	55.1
障害の程度別	1級	548	48.0	28.1	17.2	2.7	-	-	-	1.6	1.6
	2級	344	3.2	1.5	0.3	1.2	-	0.3	-	5.2	3.2
	3級	288	27.8	20.8	-	5.2	0.3	1.0	0.3	5.6	1.7
	4級	334	25.1	11.7	-	2.1	4.5	6.9	-	6.0	2.7
	5級	153	7.8	5.9	-	0.7	-	1.3	-	9.8	4.6
	6級	139	1.4	0.7	-	0.7	-	-	-	10.8	0.7
	無回答	84	19.0	14.3	3.6	-	-	1.2	-	2.4	44.0

(5) 肢体不自由の原因となった傷病

問4-1 (主な障害が5~9までの方へ) 障害の原因となった傷病名は何でしょうか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-9 肢体不自由の原因となった傷病】(n=848)



主な障害が『肢体不自由（上肢・下肢・右または左上下肢・両上下肢・体幹）』である人に、その原因となった傷病についてたずねたところ、「脳血管障害」(23.3%)が最も多く、次いで「骨関節疾患」(17.9%)となっている。

障害の発症時期別にみると、17歳以下の時に障害が発症した人では「脳性マヒ」(26.0%)や「その他の病気」(20.9%)が多く、18歳~30歳代では「病気ではない」(18~29歳:25.7%、30~39歳:25.0%)が最も多い。40歳代以上では「脳血管障害」が最も多いが、加齢とともにその割合は高まり、65歳以上では4割強(43.5%)を占めている。

障害の程度別にみると、重度障害者(1・2級)では「脳血管障害」(1級:42.4%、2級:35.6%)が最も多いが、4・5級の中・軽度の障害者では「骨関節疾患」(4級:37.6%、5級:33.0%)が最も多い。

障害の部位(肢体不自由)別にみると、上肢では「病気ではない」(32.4%)、下肢では「骨関節疾患」(34.9%)が最も多い。右または左上下肢では「脳血管障害」(49.7%)が半数を占めて最も多いが、両上下肢では16.3%に留まり、「脳性マヒ」(13.5%)等のその他の疾患の割合が高くなっている。体幹では「脳性マヒ」(25.9%)や「脊椎損傷」(25.9%)が多く、他の障害に比べても割合が高い。

【図表 3-1-10 障害の発症時期別・障害の程度別・障害の部位（肢体不自由）別
肢体不自由の原因となった傷病】（%）

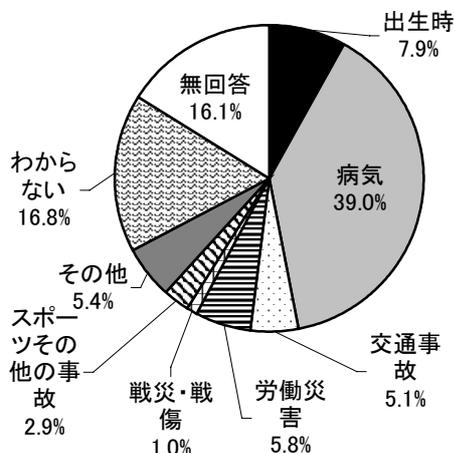
		調査数「n」 （人）	脳血管障害	骨関節疾患	脳性マヒ	リウマチ性疾患	脊椎損傷	特定疾患
全体		848	23.3	17.9	7.1	5.5	4.8	3.3
障害の発症時期別	17歳以下	177	3.4	14.1	26.0	0.6	1.1	0.6
	18～29歳	74	6.8	24.3	-	13.5	5.4	4.1
	30～39歳	60	10.0	18.3	1.7	11.7	6.7	5.0
	40～49歳	85	23.5	17.6	2.4	7.1	5.9	8.2
	50～59歳	151	30.5	19.9	2.6	9.9	4.0	5.3
	60～64歳	82	37.8	17.1	1.2	4.9	3.7	2.4
	65歳以上	186	43.5	18.3	2.2	1.6	8.1	1.6
	無回答	33	9.1	15.2	6.1	3.0	6.1	3.0
障害の程度別	1級	177	42.4	1.1	18.6	4.5	5.6	4.0
	2級	191	35.6	2.6	4.7	10.5	8.4	3.7
	3級	133	17.3	22.6	3.8	4.5	3.8	5.3
	4級	181	6.1	37.6	2.2	4.4	2.8	2.8
	5級	103	8.7	33.0	5.8	3.9	3.9	1.0
	6級	47	23.4	17.0	4.3	-	2.1	-
	無回答	16	6.3	31.3	6.3	6.3	-	6.3
	（障害の部位 由）肢体不自由	上肢	74	6.8	12.2	6.8	9.5	1.4
下肢		249	5.2	34.9	2.0	3.2	4.4	3.2
右または左上下肢		290	49.7	9.7	5.2	2.1	0.7	1.4
両上下肢		208	16.3	13.0	13.5	12.5	9.6	6.3
体幹		27	7.4	3.7	25.9	-	25.9	11.1
無回答		-	-	-	-	-	-	-

		調査数「n」 （人）	脊椎性小児マヒ	進行性筋萎縮症	その他の病気	わからない	病気ではない	無回答
全体		848	2.1	0.6	11.0	3.9	11.4	9.0
障害の発症時期別	17歳以下	177	10.2	-	20.9	6.8	11.3	5.1
	18～29歳	74	-	-	9.5	1.4	25.7	9.5
	30～39歳	60	-	-	6.7	3.3	25.0	11.7
	40～49歳	85	-	-	3.5	3.5	16.5	11.8
	50～59歳	151	-	2.0	10.6	4.0	3.3	7.9
	60～64歳	82	-	-	14.6	2.4	8.5	7.3
	65歳以上	186	-	0.5	6.5	2.2	8.1	7.5
	無回答	33	-	3.0	6.1	9.1	6.1	33.3
障害の程度別	1級	177	0.6	0.6	12.4	1.7	4.5	4.0
	2級	191	3.1	0.5	13.6	2.6	6.3	8.4
	3級	133	1.5	2.3	10.5	3.8	13.5	11.3
	4級	181	2.8	-	6.1	6.1	13.8	15.5
	5級	103	1.9	-	9.7	4.9	23.3	3.9
	6級	47	4.3	-	19.1	6.4	14.9	8.5
	無回答	16	-	-	6.3	6.3	18.8	12.5
	（障害の部位 由）肢体不自由	上肢	74	2.7	1.4	14.9	1.4	32.4
下肢		249	4.4	1.2	12.9	4.0	14.1	10.4
右または左上下肢		290	1.0	-	6.6	3.8	10.0	10.0
両上下肢		208	1.0	0.5	13.0	5.3	3.4	5.8
体幹		27	-	-	14.8	-	7.4	3.7
無回答		-	-	-	-	-	-	-

(6) 障害の原因

問5 問4で回答した障害の主な原因は何ですか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-11 障害の原因】(n=1,890)



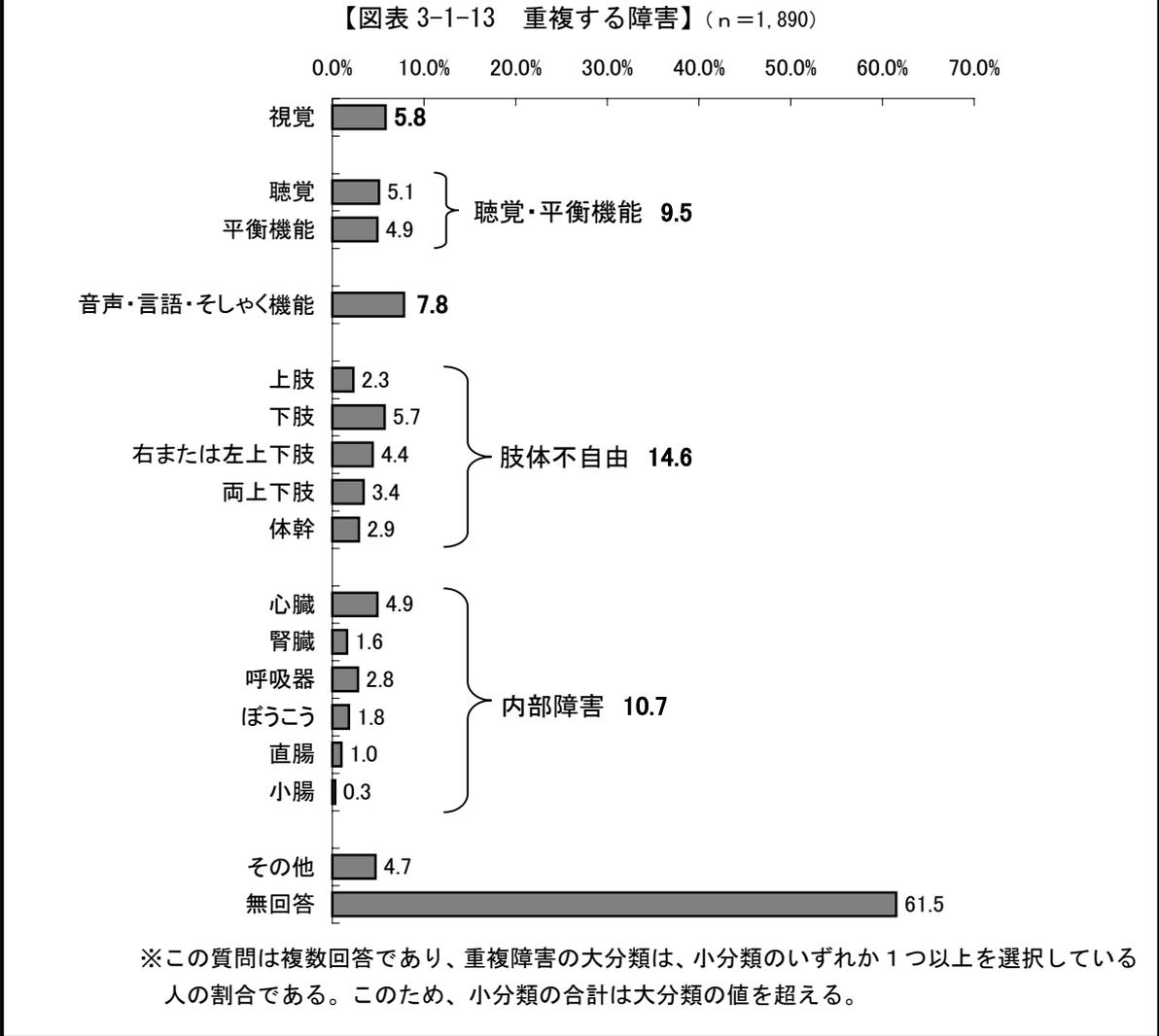
障害の原因は、「病気」(39.0%)が最も多く、次いで「わからない」(16.8%)となっている。性別にみると、男女ともに「病気」が最も多いが、「労働災害」や「戦災・戦傷」は女性より男性で割合が高い。また、「わからない」は男性(13.4%)より女性(20.7%)で割合が高い。障害の発症時期別にみると、17歳以下では「出生時」(33.5%)が最も多いが、18歳以上では「病気」が最も多い。「交通事故」は18~29歳(16.7%)で、「労働災害」は18~29歳(15.9%)や30歳代(18.0%)で他の年齢層に比べて割合が高い。障害の部位別にみると、いずれの障害においても「病気」が最も多いが、聴覚・平衡機能や音声・言語・そしゃく機能は、他に比べて「出生時」や「わからない」の割合が高い。また、肢体不自由では、他の障害に比べて「交通事故」(8.5%)や「労働災害」(8.6%)、「スポーツその他の事故」(4.5%)の割合が高い。

【図表 3-1-12 性別・障害の発症時期別・障害の部位別 障害の原因】(%)

	調査数「人」	出生時	病気	交通事故	労働災害	戦災・戦傷	スポーツその他の事故	その他	わからない	無回答
全体	1,890	7.9	39.0	5.1	5.8	1.0	2.9	5.4	16.8	16.1
性別										
男性	912	7.7	39.4	5.6	8.6	1.8	3.4	5.2	13.4	15.1
女性	940	8.5	39.7	4.6	3.2	0.2	2.4	5.7	20.7	14.9
無回答	38	-	13.2	5.3	5.3	2.6	-	2.6	2.6	68.4
障害の発症時期別										
17歳以下	343	33.5	30.6	3.8	0.6	0.3	5.2	4.7	12.0	9.3
18~29歳	126	-	24.6	16.7	15.9	9.5	4.0	7.1	14.3	7.9
30~39歳	122	4.1	35.2	5.7	18.0	0.8	3.3	6.6	15.6	10.7
40~49歳	188	3.2	43.1	5.3	5.3	0.5	2.7	4.3	20.7	14.9
50~59歳	306	1.6	50.0	3.6	7.2	-	1.3	2.0	20.3	14.1
60~64歳	196	1.0	46.9	5.6	6.1	-	3.1	5.1	15.8	16.3
65歳以上	473	0.2	44.6	4.4	3.6	0.2	2.5	8.5	18.0	18.0
無回答	136	11.8	15.4	1.5	3.7	2.2	-	3.7	16.9	44.9
障害の部位別										
視覚	144	8.3	35.4	2.1	2.1	-	1.4	4.9	19.4	26.4
聴覚・平衡機能	218	14.7	26.1	0.5	3.2	3.2	2.3	8.7	23.9	17.4
音声・言語・そしゃく機能	38	15.8	34.2	2.6	5.3	-	-	2.6	31.6	7.9
肢体不自由	848	8.4	40.2	8.5	8.6	0.9	4.5	5.0	18.2	5.8
内部障害	468	3.2	51.7	0.6	1.9	0.2	-	5.3	11.3	25.6
その他	95	10.5	24.2	11.6	14.7	1.1	7.4	5.3	13.7	11.6
無回答	79	5.1	12.7	6.3	2.5	2.5	2.5	3.8	7.6	57.0

(7) 重複する障害

問6 問4で回答した障害の他に、「重複する障害」がありますか。(○はあてはまるものすべて)



主な障害以外の重複する障害については「無回答（重複する障害はない）」(61.5%)が6割強を占めており、回答者の4割(38.5%)は重複する障害がある。重複する障害(大分類)では『肢体不自由』(14.6%)が最も多く、次いで『内部障害』(10.7%)となっている。

主な障害の部位別にみると、主な障害が視覚や内部障害の場合は重複障害がある人は少なく、「無回答（重複する障害はない）」が7割を超えている。

一方、主な障害が音声・言語・そしゃく機能や肢体不自由の場合は、重複障害がある人が4割強と多い。肢体不自由の重複障害では『肢体不自由』(17.7%)が最も多く、次いで『聴覚・平衡機能』(13.3%)、『音声・言語・そしゃく機能』(12.9%)となっている。音声・言語・そしゃく機能の重複障害では『肢体不自由』(26.3%)が最も多い。

第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

【図表 3-1-14 障害の部位別 重複する障害】（％）

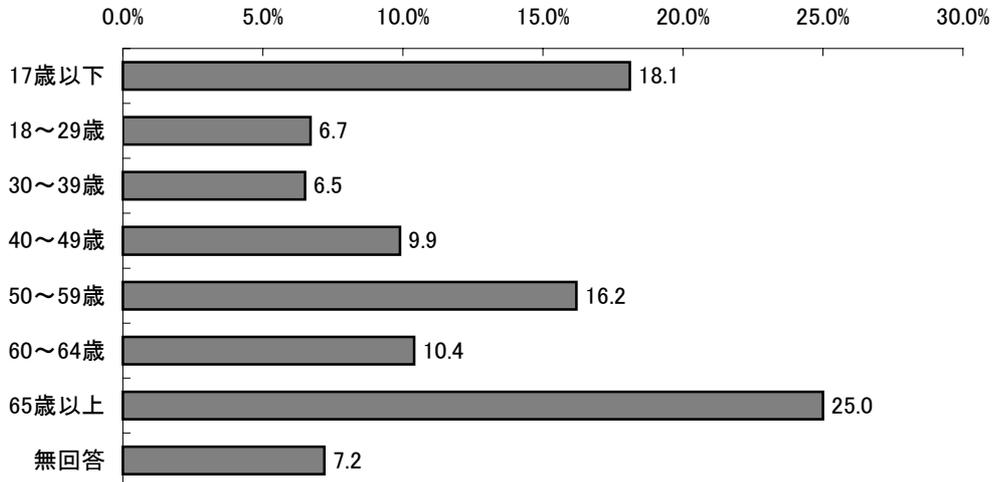
	調査数「n」（人）	視覚	聴覚・平衡機能		音声・言語・そしゃく機能	肢体不自由	右または左上下肢			両上下肢	体幹		
			聴覚	平衡機能			上肢	下肢					
全体	1,890	5.8	9.5	5.1	4.9	7.8	14.6	2.3	5.7	4.4	3.4	2.9	
障害の部位別	視覚	144	-	13.2	11.8	1.4	2.1	11.1	0.7	6.3	4.9	0.7	-
	聴覚・平衡機能	218	8.3	5.0	0.9	4.1	8.3	13.8	0.9	8.7	3.7	2.3	1.4
	音声・言語・そしゃく機能	38	7.9	15.8	10.5	5.3	-	26.3	5.3	5.3	10.5	7.9	5.3
	肢体不自由	848	6.7	13.3	6.3	7.9	12.9	17.7	3.7	5.0	4.8	4.4	5.1
	内部障害	468	5.3	4.3	3.4	1.3	1.3	9.0	0.6	5.3	2.6	1.9	0.4
	その他	95	3.2	8.4	3.2	5.3	8.4	17.9	3.2	5.3	6.3	6.3	4.2
	無回答	79	5.1	2.5	1.3	2.5	3.8	13.9	2.5	6.3	6.3	3.8	-

	調査数「n」（人）	内部障害	内部障害						その他	無回答	
			心臓	腎臓	呼吸器	ぼうこう	直腸	小腸			
全体	1,890	10.7	4.9	1.6	2.8	1.8	1.0	0.3	4.7	61.5	
障害の部位別	視覚	144	10.4	4.2	4.9	2.8	-	0.7	-	2.8	70.1
	聴覚・平衡機能	218	13.8	8.7	0.5	4.6	1.4	0.9	-	3.2	62.4
	音声・言語・そしゃく機能	38	2.6	-	-	2.6	-	-	-	7.9	55.3
	肢体不自由	848	11.1	5.3	1.2	2.2	2.8	0.7	0.5	5.1	53.7
	内部障害	468	11.3	3.4	2.6	3.4	1.1	1.7	0.2	3.2	72.0
	その他	95	8.4	5.3	-	2.1	1.1	1.1	-	12.6	55.8
	無回答	79	2.5	1.3	1.3	1.3	1.3	-	-	5.1	75.9

(8) 障害を受けた時期

問7 あなたが障害を受けた時期はいつですか[最初に障害が発生したときの満年齢をお答えください。疾患の場合は発病時を意味します]。

【図表 3-1-15 障害を受けた時期】(n=1,890)



障害を受けた時期は、「65歳以上」(25.0%)が最も多く、次いで「17歳以下」(18.1%)、「50~59歳」(16.2%)となっている。

障害の部位別にみると、視覚や聴覚・平衡機能は「17歳以下」が最も多く、音声・言語・そしゃく機能や内部障害は「65歳以上」が最も多い。また、肢体不自由は「17歳以下」(20.9%)や「65歳以上」(21.9%)がそれぞれ2割を占めて多い。

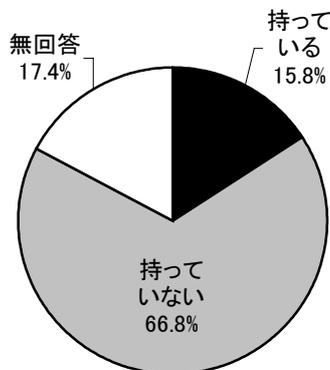
【図表 3-1-16 障害の部位別 障害を受けた時期】(%)

	調査数「人」	17歳以下	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	無回答
全体	1,890	18.1	6.7	6.5	9.9	16.2	10.4	25.0	7.2
障害の部位別									
視覚	144	21.5	9.0	6.3	10.4	18.1	6.9	18.1	9.7
聴覚・平衡機能	218	33.9	4.6	4.6	5.5	10.6	7.3	25.2	8.3
音声・言語・そしゃく機能	38	21.1	-	2.6	5.3	15.8	10.5	34.2	10.5
肢体不自由	848	20.9	8.7	7.1	10.0	17.8	9.7	21.9	3.9
内部障害	468	5.1	4.3	7.7	12.4	16.7	15.4	33.5	4.9
その他	95	24.2	9.5	5.3	10.5	17.9	9.5	20.0	3.2
無回答	79	7.6	-	1.3	7.6	6.3	3.8	21.5	51.9

(9) 療育手帳の有無

問8 「療育手帳」は持っていますか。

【図表 3-1-17 療育手帳の有無】(n=1,890)



療育手帳所持者（「持っている」と回答した者）は15.8%である。

年齢別にみると、「17歳以下」では療育手帳所持者の割合が44.4%と高い。

障害の部位別にみると、主な障害が音声・言語・そしゃく機能である場合、他の障害に比べて療育手帳所持者の割合が高く、3割（28.9%）を占めている。

【図表 3-1-18 年齢別・障害の部位別 療育手帳の有無】(%)

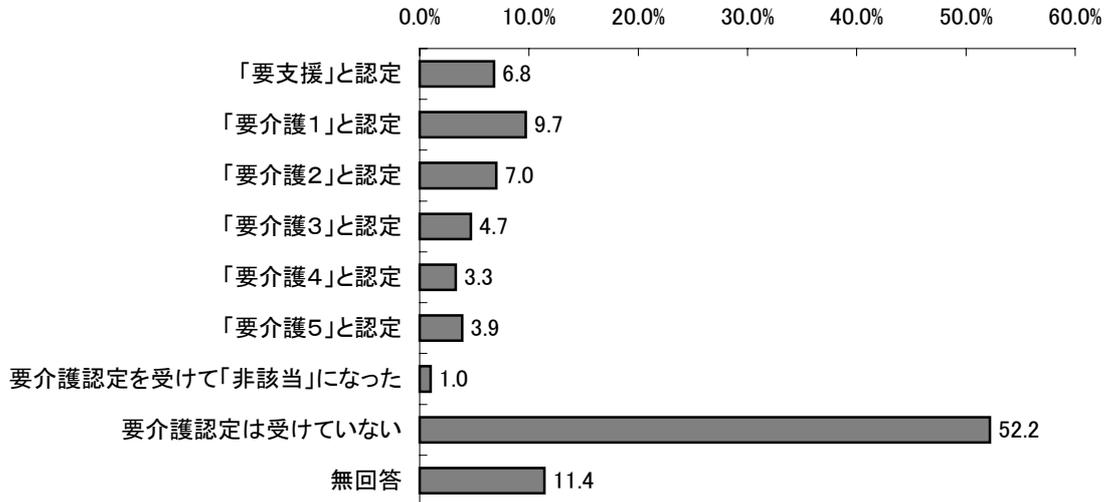
		調査数 「n」 (人)	持 っ て い る	持 っ て い な い	無 回 答
全 体		1,890	15.8	66.8	17.4
年 齢 別	17歳以下	63	44.4	55.6	-
	18～29歳	40	22.5	70.0	7.5
	30～39歳	64	23.4	70.3	6.3
	40～49歳	73	12.3	82.2	5.5
	50～59歳	242	9.9	83.1	7.0
	60～64歳	185	14.1	71.9	14.1
	65歳以上	1,174	15.7	63.5	20.9
	無回答	49	8.2	32.7	59.2
障 害 の 部 位 別	視覚	144	11.8	71.5	16.7
	聴覚・平衡機能	218	11.0	72.0	17.0
	音声・言語・そしゃく機能	38	28.9	52.6	18.4
	肢体不自由	848	16.3	70.5	13.2
	内部障害	468	17.7	64.5	17.7
	その他	95	14.7	61.1	24.2
	無回答	79	15.2	31.6	53.2

(10) 要介護認定の有無

【40歳以上の方のみお答えください】

問9 介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-19 要介護認定の有無】(n=1,674)



40歳以上の回答者のうち、介護保険の要介護認定で要支援～要介護5と認定された人は35.4%となっている。

年齢別にみると、40・50歳代や60代前半では7割以上が要介護認定を受けていないが、65歳以上になると認定を受けている人が44.6%と、受けていない人(41.7%)を上回っている。

【図表 3-1-20 年齢別 要介護認定の有無】(%)

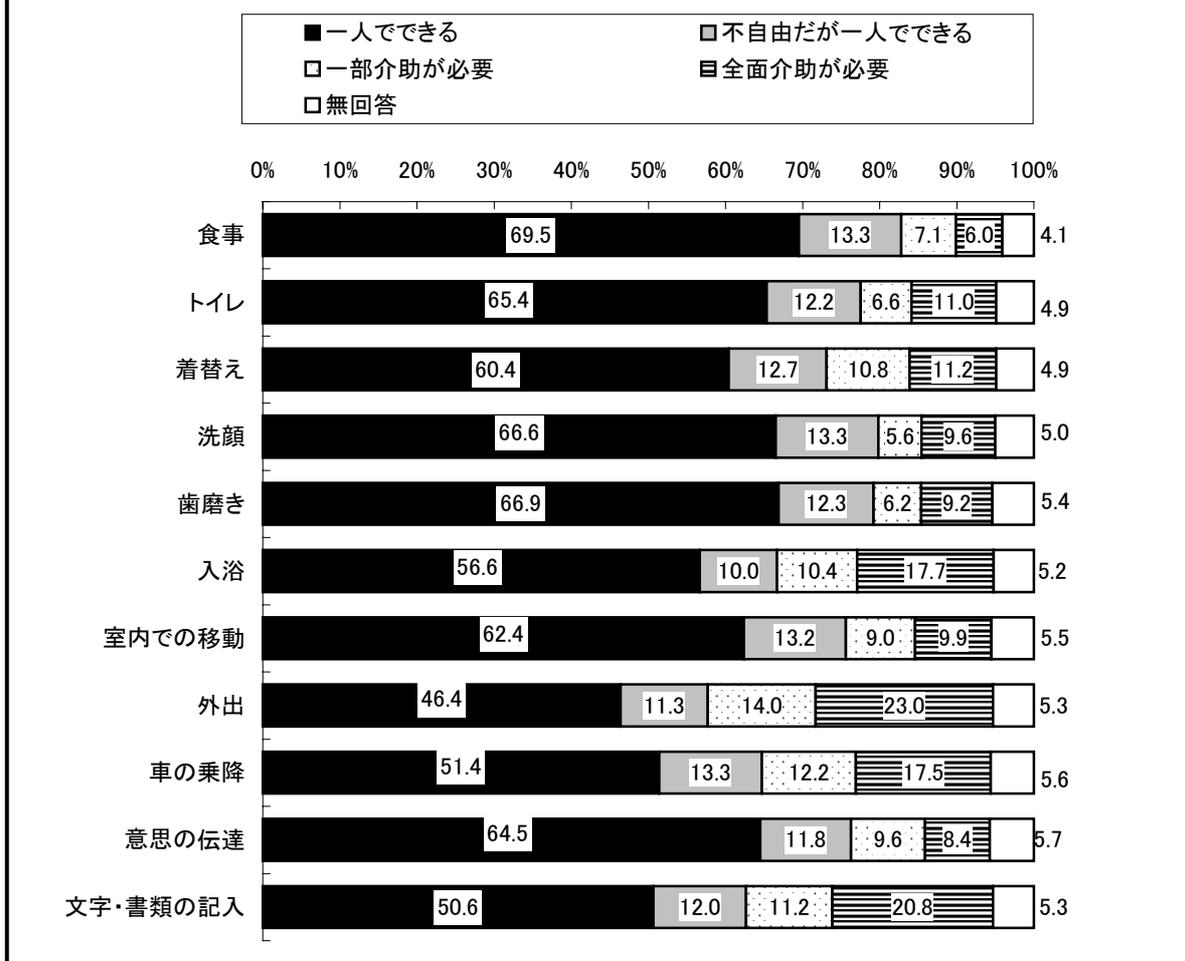
	調査数「n」 (人)	「要支援」と認定	「要介護1」と認定	「要介護2」と認定	「要介護3」と認定	「要介護4」と認定	「要介護5」と認定	「要介護認定を受けていない「非該当」になった	要介護認定は受けていない	無回答	
全体	1,674	6.8	9.7	7.0	4.7	3.3	3.9	1.0	52.2	11.4	
年齢別	40～49歳	73	1.4	2.7	-	-	-	1.4	-	79.5	15.1
	50～59歳	242	2.1	4.1	3.3	1.2	1.2	0.8	-	81.0	6.2
	60～64歳	185	2.7	5.9	3.8	3.8	0.5	1.1	1.1	70.3	10.8
	65歳以上	1,174	8.8	11.9	8.7	5.8	4.3	5.1	1.3	41.7	12.4
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 生活状況

(1) 日常生活動作

問10 あなたは、次のような動作が一人でできますか。それぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。※補装具を使用した状態でお答えください。

【図表 3-1-21 日常生活動作】(n=1,890)



11 項目の日常生活動作について自立度をたずねたところ、いずれの項目においても「一人でできる」「不自由だが一人でできる」との回答が過半数を占めているが、「一部介助が必要」「全面介助が必要」をあわせた要介助の割合は『外出』(37.0%)が最も高く、次いで『文字・書類の記入』(32.0%)、『車の乗降』(29.7%)、『入浴』(28.1%)となっており、これらの動作については介助を必要とする人が比較的多いことがわかる。

障害の部位別に、要介助の割合(「一部介助」+「全面介助」)をみると、視覚では『文字・書類の記入』(63.9%)や『外出』(55.6%)、『車の乗降』(40.3%)で要介助の割合が高く、それぞれ4割を超えている。聴覚・平衡機能や音声・言語・そしゃく機能でも『外出』や『文字・書類の記入』の割合が高いが、これに加えて『意思の伝達』の割合も高くなっている。

肢体不自由は、全項目において、要介助の割合が高いが、中でも『外出』(43.9%)や『入浴』(39.5%)、『車の乗降』(39.2%)では4割前後と特に高い。一方、内部障害では、他の障害に比べて、要介助の割合が低く、日常生活動作については比較的自立している人が多いといえる。

【図表 3-1-22 障害の部位別 日常生活動作に介助を要する人（「一部介助」「全面介助」の合計値）】
(%)

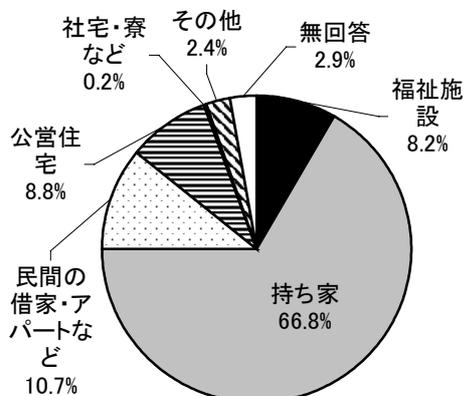
		調査数 「n」 (人)	食事	トイレ	着替え	洗顔	歯磨き	入浴
全体		1,890	13.1	17.6	22.0	15.2	15.4	28.1
障害の 部位別	視覚	144	14.6	11.8	12.5	7.6	9.0	23.6
	聴覚・平衡機能	218	5.5	9.2	12.8	8.3	9.6	18.3
	音声・言語・そしゃく機能	38	26.3	21.1	26.3	18.4	23.7	26.3
	肢体不自由	848	19.6	25.8	33.3	23.6	22.5	39.5
	内部障害	468	3.6	6.4	8.1	4.9	5.1	12.0
	その他	95	9.5	15.8	16.8	11.6	13.7	27.4
	無回答	79	16.5	29.1	30.4	21.5	25.3	39.2

		調査数 「n」 (人)	室内での移動	外出	車の乗降	意思の伝達	文字・書類の記入	無回答
全体		1,890	18.9	37.0	29.7	18.0	32.0	54.0
障害の 部位別	視覚	144	13.9	55.6	40.3	13.9	63.9	31.3
	聴覚・平衡機能	218	9.6	33.0	21.1	27.5	30.3	55.0
	音声・言語・そしゃく機能	38	26.3	39.5	28.9	47.4	50.0	34.2
	肢体不自由	848	26.7	43.9	39.2	21.5	36.1	46.9
	内部障害	468	7.3	19.0	10.9	4.3	12.2	76.9
	その他	95	18.9	35.8	32.6	16.8	34.7	49.5
	無回答	79	35.4	46.8	41.8	30.4	40.5	48.1

(2) 現在の住まい

問11 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-23 現在の住まい】(n=1,890)



現在の住まいは、「持ち家」(66.8%)が7割弱を占めて最も多く、次いで「民間の借家・アパートなど」(10.7%)となっている。また、「福祉施設」は8.2%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層で「持ち家」が最も多いが、18～29歳では他の年齢層に比べて福祉施設入所者の割合が高く、15.0%となっている。

障害の程度別にみると、福祉施設入所者の割合は、重度障害者(1・2級)で高く、それぞれ1割を超えている(1級:12.2%、2級:12.8%)。

障害の部位別にみると、福祉施設入所者の割合は、音声・言語・そしゃく機能(15.8%)や肢体不自由(11.1%)で高く、それぞれ1割を超えている。

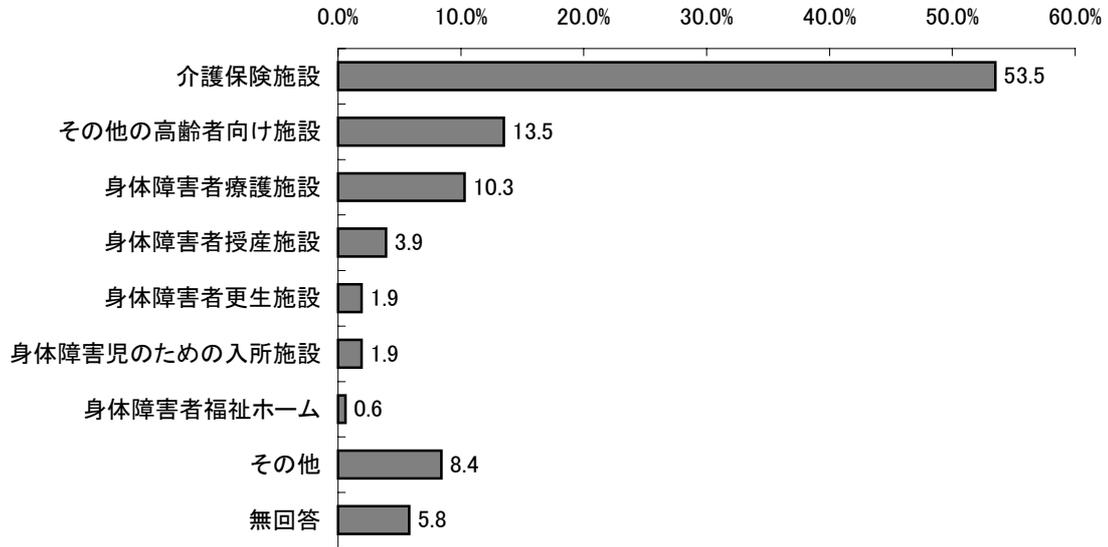
【図表 3-1-24 年齢別・障害の程度別・障害の部位別 現在の住まい】(%)

	調査数「n」 (人)	福祉施設	持ち家	民間の借家・アパート	公営住宅	社宅・寮など	その他	無回答	
全体	1,890	8.2	66.8	10.7	8.8	0.2	2.4	2.9	
年齢別	17歳以下	63	4.8	60.3	23.8	7.9	1.6	-	1.6
	18～29歳	40	15.0	60.0	17.5	5.0	-	-	2.5
	30～39歳	64	7.8	46.9	20.3	20.3	1.6	1.6	1.6
	40～49歳	73	5.5	63.0	16.4	9.6	1.4	2.7	1.4
	50～59歳	242	4.5	63.6	18.2	11.6	0.4	1.2	0.4
	60～64歳	185	5.4	64.9	14.1	11.4	-	2.7	1.6
	65歳以上	1,174	9.5	70.4	6.9	7.4	-	2.6	3.2
無回答	49	8.2	51.0	10.2	6.1	-	8.2	16.3	
障害の程度別	1級	548	12.2	59.9	13.5	7.1	0.4	3.6	3.3
	2級	344	12.8	58.4	11.9	10.5	0.3	2.0	4.1
	3級	288	5.2	71.5	9.0	10.1	-	1.7	2.4
	4級	334	3.0	74.9	9.9	9.9	0.3	0.9	1.2
	5級	153	3.9	78.4	9.2	5.2	-	3.3	-
	6級	139	3.6	77.7	5.8	9.4	-	2.2	1.4
	無回答	84	9.5	59.5	8.3	9.5	-	2.4	10.7
障害の部位別	視覚	144	6.9	66.0	14.6	10.4	-	1.4	0.7
	聴覚・平衡機能	218	7.8	67.4	6.9	11.0	0.5	2.3	4.1
	音声・言語・そしゃく機能	38	15.8	65.8	-	2.6	-	10.5	5.3
	肢体不自由	848	11.1	65.8	10.3	7.5	0.1	2.7	2.5
	内部障害	468	2.1	72.0	13.5	8.8	0.4	1.3	1.9
	その他	95	8.4	64.2	10.5	13.7	-	-	3.2
	無回答	79	12.7	50.6	8.9	10.1	-	6.3	11.4

(3) 福祉施設入所者の入所先

問12から問15は、福祉施設に入所している方のみお答えください。
 問12 現在入所している施設の種類のどれですか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-25 福祉施設入所者の入所先】(n=155)



福祉施設入所者の入所先は、「介護保険施設」(53.5%)が過半数を占めて最も多く、次いで「其他の高齢者向け施設」(13.5%)、「身体障害者療護施設」(10.3%)となっている。

年齢別にみると、65歳以上では「介護保険施設」(66.1%)が最も多く、次いで「其他の高齢者向け施設」(18.8%)となっており、これらをあわせると高齢障害者の84.9%は介護保険施設等の高齢者福祉施設に入っている。

一方、18～64歳では、知的障害者更生施設等の「その他」(25.0%)が最も多く、次いで「身体障害者療護施設」(19.4%)となっている。

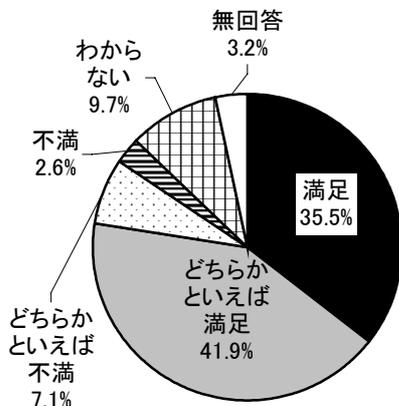
【図表 3-1-26 年齢別 福祉施設入所者の入所先】(%)

年齢別	調査数「n」 (人)	介護保険施設	其他の高齢者向け施設	身体障害者療護施設	身体障害者授産施設	身体障害者更生施設	身体障害児のための入所施設	身体障害者福祉ホーム	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	155	53.5	13.5	10.3	3.9	1.9	1.9	0.6	8.4	5.8
17歳以下	3	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
18～64歳	36	16.7	-	19.4	13.9	5.6	-	2.8	25.0	16.7
65歳以上	112	66.1	18.8	7.1	0.9	0.9	-	-	3.6	2.7
無回答	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-

(4) 福祉施設入所者の満足度

問13 現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-27 福祉施設入所者の満足度】(n=155)



福祉施設入所者の入所施設に対する満足度は、「どちらかといえば満足」(41.9%)が最も多く、次いで「満足」(35.5%)となっており、これらをあわせると『満足層』が77.4%となっている。

一方、「どちらかといえば不満」(7.1%)・「不満」(2.6%)をあわせた『不満層』は9.7%となっている。

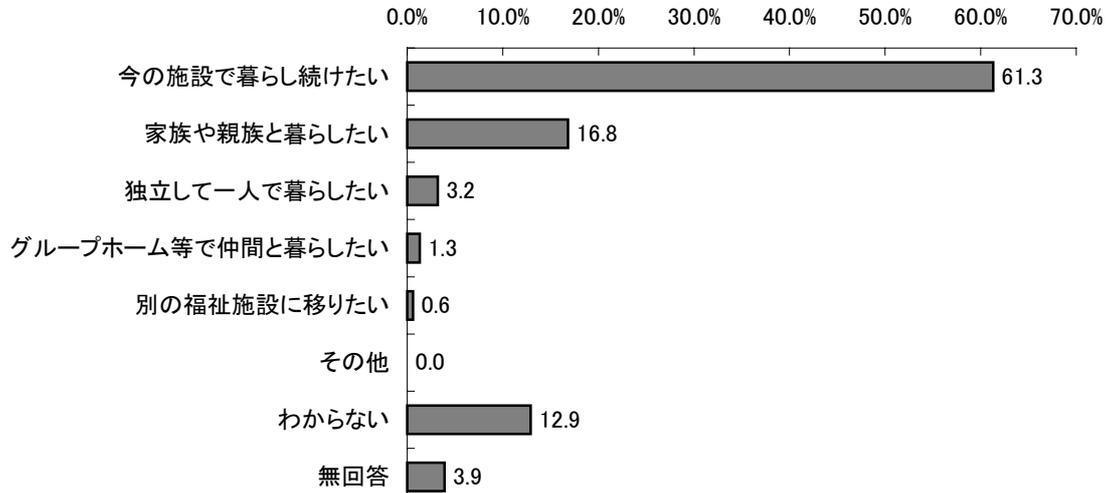
【図表 3-1-28 入所施設別 福祉施設入所者の満足度】(%)

	調査数「n」 (人)	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わからない	無 回 答	
全 体	155	35.5	41.9	7.1	2.6	9.7	3.2	
入 所 施 設 別	身体障害者療護施設	16	31.3	37.5	6.3	6.3	18.8	-
	身体障害者更生施設	3	33.3	66.7	-	-	-	-
	身体障害者授産施設	6	33.3	66.7	-	-	-	-
	身体障害者福祉ホーム	1	-	100.0	-	-	-	-
	身体障害児のための入所施設	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	介護保険施設	83	31.3	44.6	8.4	2.4	10.8	2.4
	その他の高齢者向け施設	21	47.6	47.6	4.8	-	-	-
	その他	13	46.2	23.1	-	-	23.1	7.7
無回答	9	44.4	11.1	11.1	11.1	-	22.2	

(5) 福祉施設入所者が希望する将来の暮らし方

問14 あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-29 福祉施設入所者が希望する将来の暮らし方】(n=155)



福祉施設入所者が希望する将来の暮らし方は、「今この施設で暮らし続けたい」(61.3%)が6割を超えて最も多く、次いで「家族や親族と暮らしたい」(16.8%)、「わからない」(12.9%)となっている。また、「家族や親族と暮らしたい」「独立して一人で暮らしたい」「グループホーム等で仲間と暮らしたい」をあわせた『地域生活移行希望者』は21.3%となっている。

年齢別にみると、18～64歳では他の年齢層に比べて「独立して一人で暮らしたい」(11.1%)の割合が高い。

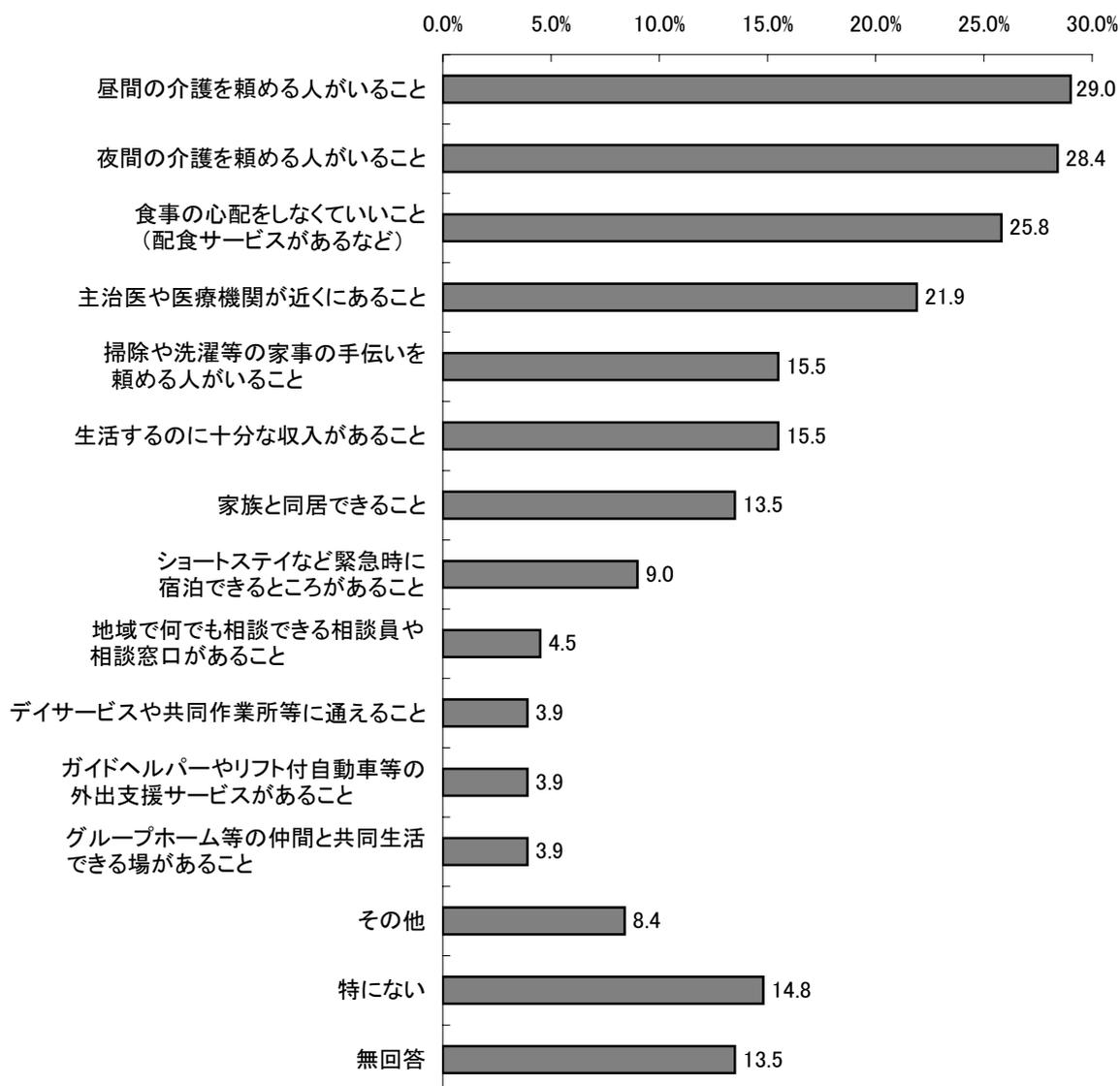
【図表 3-1-30 年齢別・入所施設別 福祉施設入所者が希望する将来の暮らし方】(%)

	調査数「n」(人)	今この施設で暮らし続けたい	家族や親族と暮らしたい	独立して一人で暮らしたい	グループホーム等で仲間と暮らしたい	別の福祉施設に移りたい	その他	わからない	無回答
全体	155	61.3	16.8	3.2	1.3	0.6	-	12.9	3.9
年齢別	17歳以下	3	-	66.7	-	-	-	33.3	-
	18～64歳	36	63.9	11.1	11.1	2.8	-	8.3	2.8
	65歳以上	112	62.5	17.9	0.9	0.9	0.9	12.5	4.5
	無回答	4	50.0	-	-	-	-	50.0	-
入所施設別	身体障害者療護施設	16	50.0	18.8	12.5	-	-	18.8	-
	身体障害者更生施設	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-
	身体障害者授産施設	6	83.3	-	-	-	-	16.7	-
	身体障害者福祉ホーム	1	-	-	-	-	-	100.0	-
	身体障害児のための入所施設	3	-	66.7	-	-	-	33.3	-
	介護保険施設	83	60.2	20.5	1.2	1.2	1.2	13.3	2.4
	その他の高齢者向け施設	21	76.2	14.3	4.8	-	-	-	4.8
	その他	13	69.2	-	-	-	-	23.1	7.7
無回答	9	55.6	11.1	-	11.1	-	-	22.2	

(6) 福祉施設入所者が地域生活に移行するために必要な条件

問15 あなたは、どのような条件を整えば、自宅や地域で生活できると思いますか。(〇は3つまで)

【図表 3-1-31 福祉施設入所者が地域生活に移行するために必要な条件】(n=155)



福祉施設入所者が自宅や地域で生活するために必要な条件は、「昼間の介護を頼める人がいること」(29.0%)が最も多く、次いで「夜間の介護を頼める人がいること」(28.4%)、「食事の心配をしなくていいこと(配食サービスがあるなど)」(25.8%)、「主治医や医療機関が近くにあること」(21.9%)となっている。

障害の程度別にみると、最重度の1級では「昼間の介護を頼める人がいること」(37.3%)や「夜間の介護を頼める人がいること」(38.8%)などの在宅介護支援に関する項目の割合が高い。一方、3・4級の中重度層では、他に比べて「家族と同居できること」(3級:26.7%、4級:40.0%)の割合が高い。

【図表 3-1-32 障害の程度別・入所施設別 福祉施設入所者が地域生活に移行するために必要な条件】
(%)

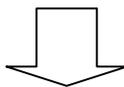
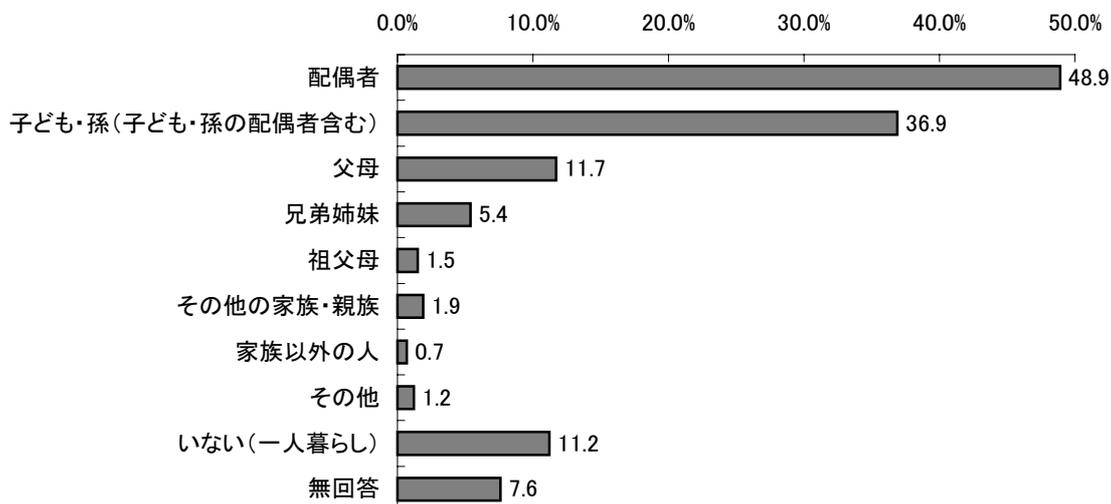
	調査数「n」 (人)	が 屋間の 介護を 頼める 人	が 夜間の 介護を 頼める 人	食 事 の 心 配 を し な く て す い が あ る こ と (配 食 サ ー ビ ス)	主 治 医 や 医 療 機 関 が 近 く に あ る こ と	掃 除 や 洗 濯 等 の 人 が 事 い る こ と	入 居 す る こ と に 十 分 な 収 入 が あ る こ と	家 族 と 同 居 で き る こ と	
全 体	155	29.0	28.4	25.8	21.9	15.5	15.5	13.5	
障害の程度別	1級	67	37.3	38.8	14.9	23.9	11.9	13.4	10.4
	2級	44	20.5	18.2	36.4	20.5	11.4	13.6	9.1
	3級	15	33.3	33.3	26.7	13.3	33.3	26.7	26.7
	4級	10	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	30.0	40.0
	5級	6	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	-
	6級	5	40.0	20.0	60.0	40.0	60.0	-	20.0
	無回答	8	25.0	25.0	37.5	25.0	-	12.5	12.5
入所施設別	身体障害者療護施設	16	50.0	50.0	18.8	31.3	12.5	12.5	6.3
	身体障害者更生施設	3	-	-	-	33.3	-	33.3	-
	身体障害者授産施設	6	16.7	16.7	83.3	50.0	33.3	50.0	-
	身体障害者福祉ホーム	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-
	身体障害児のための入所施設	3	100.0	-	-	-	-	33.3	-
	介護保険施設	83	31.3	30.1	15.7	19.3	10.8	8.4	14.5
	その他の高齢者向け施設	21	14.3	23.8	61.9	23.8	38.1	23.8	23.8
	その他	13	23.1	23.1	46.2	7.7	15.4	30.8	23.1
無回答	9	11.1	22.2	-	22.2	11.1	-	-	

	調査数「n」 (人)	シ ョ ー ル に あ る こ と	急 ぎ に 宿 泊 で き る こ と	地 域 で も 相 談 が き る こ と	デ イ サ ー ビ ス を 受 け ら れ る こ と	援 助 サ ー ビ ス が あ る こ と	ガ イ ド 自 動 車 が あ る こ と	グ ル ー プ ホ ー ム 等 の 仲 介 が あ る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	155	9.0	4.5	4.5	3.9	3.9	3.9	8.4	14.8	13.5	
障害の程度別	1級	67	11.9	4.5	4.5	4.5	4.5	3.0	9.0	11.9	14.9
	2級	44	11.4	4.5	-	6.8	6.8	6.8	15.9	18.2	
	3級	15	-	6.7	6.7	-	-	13.3	13.3	6.7	
	4級	10	-	-	-	-	-	-	40.0	-	
	5級	6	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3	16.7	
	6級	5	-	-	20.0	-	-	-	-	-	
	無回答	8	-	-	12.5	-	12.5	25.0	-	12.5	
入所施設別	身体障害者療護施設	16	12.5	6.3	-	18.8	-	-	6.3	12.5	
	身体障害者更生施設	3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	
	身体障害者授産施設	6	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	
	身体障害者福祉ホーム	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	身体障害児のための入所施設	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	
	介護保険施設	83	6.0	2.4	2.4	3.6	2.4	13.3	19.3	14.5	
	その他の高齢者向け施設	21	4.8	4.8	4.8	-	9.5	-	4.8	4.8	
	その他	13	7.7	7.7	7.7	-	7.7	7.7	23.1	7.7	
無回答	9	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	11.1	44.4		

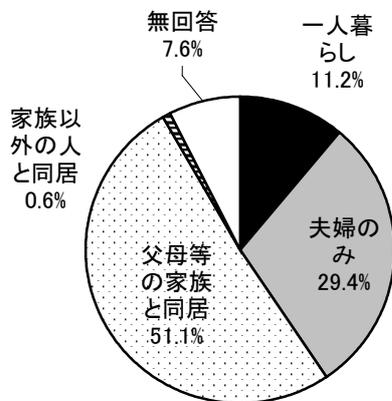
(7) 在宅生活者の同居家族

問16から問19は、福祉施設以外のところで生活されている方のみお答えください。
 問16 あなたは、現在、どなたと同居していますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-33 在宅生活者の同居家族】(n=1,681)



【図表 3-1-34 在宅生活者の家族構成】(n=1,681)



在宅生活者の同居家族は、「配偶者」(48.9%)が最も多く、次いで「子ども・孫(子ども・孫の配偶者含む)」(36.9%)、「父母」(11.7%)、「いない(一人暮らし)」(11.2%)となっている。

同居家族をもとに家族構成を整理すると、「父母等の家族と同居」(51.1%)が半数を占めて最も多く、次いで「夫婦のみ」(29.4%)、「一人暮らし」(11.2%)となっている。

性別にみると、「一人暮らし」の割合は男性(8.1%)より女性(14.1%)で高く、「夫婦のみ」の割合は女性(23.4%)より男性(35.2%)で高い。

年齢別にみると、すべての年齢層で「父母等の家族と同居」が最も多いが、その割合は加齢とともに低下し、50歳代以上では6割以下となり、かわって「夫婦のみ」の割合が高まっている。

【図表 3-1-35 性別・年齢別 在宅生活者の同居家族】（％）

	調査数「□」 （人）	配偶者	子ども・孫（子ども・孫の配偶者含む）	父母	兄弟姉妹	祖父母	その他の家族・親族	家族以外の人	その他	いない（一人暮らし）	無回答	
全体	1,681	48.9	36.9	11.7	5.4	1.5	1.9	0.7	1.2	11.2	7.6	
性別	男性	836	60.3	35.5	13.2	4.8	1.7	1.3	0.8	1.1	8.1	6.3
	女性	817	37.3	38.9	10.5	6.1	1.3	2.4	0.5	1.3	14.1	8.7
	無回答	28	46.4	21.4	3.6	-	-	3.6	-	-	21.4	14.3
年齢別	17歳以下	59	-	-	96.6	50.8	16.9	1.7	-	-	-	3.4
	18～29歳	33	21.2	3.0	75.8	39.4	18.2	9.1	3.0	-	-	3.0
	30～39歳	58	43.1	34.5	51.7	12.1	6.9	1.7	-	1.7	10.3	1.7
	40～49歳	68	54.4	50.0	36.8	7.4	1.5	2.9	1.5	1.5	8.8	-
	50～59歳	230	57.4	36.5	19.6	5.7	0.4	2.2	0.4	-	13.9	6.5
	60～64歳	172	60.5	33.7	5.2	2.9	1.2	2.9	-	1.7	11.0	7.0
	65歳以上	1,024	49.2	40.4	0.5	1.6	0.1	1.4	0.8	1.5	11.6	8.6
	無回答	37	35.1	27.0	2.7	2.7	-	2.7	-	-	18.9	24.3

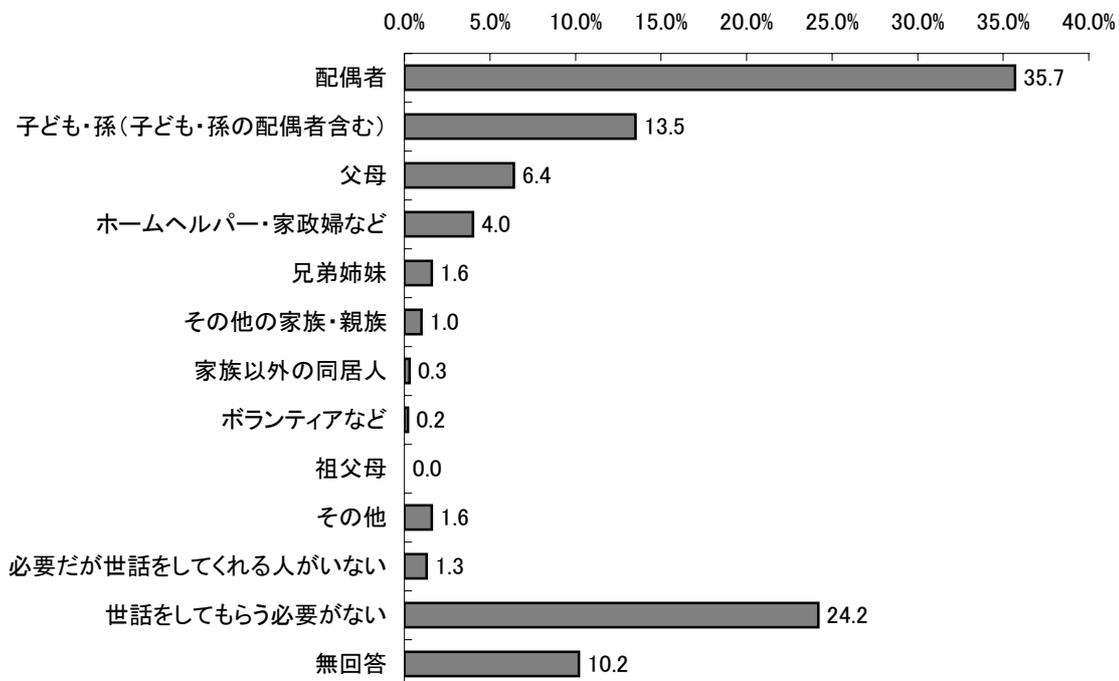
【図表 3-1-36 性別・年齢別 在宅生活者の家族構成】（％）

	調査数「□」 （人）	一人暮らし	夫婦のみ	父母等の家族と同居	家族以外の人と同居	無回答	
全体	1,681	11.2	29.4	51.1	0.6	7.6	
性別	男性	836	8.1	35.2	49.6	0.7	6.3
	女性	817	14.1	23.4	53.4	0.5	8.7
	無回答	28	21.4	35.7	28.6	-	14.3
年齢別	17歳以下	59	-	-	96.6	-	3.4
	18～29歳	33	-	9.1	84.8	3.0	3.0
	30～39歳	58	10.3	6.9	81.0	-	1.7
	40～49歳	68	8.8	10.3	79.4	1.5	-
	50～59歳	230	13.9	25.2	53.9	0.4	6.5
	60～64歳	172	11.0	39.0	43.0	-	7.0
	65歳以上	1,024	11.6	34.0	45.1	0.7	8.6
	無回答	37	18.9	21.6	35.1	-	24.3

(8) 在宅生活者の主な介助者

問17 あなたは身の回りの世話を、主にどなたにしてもらっていますか。(〇は1つだけ)

【図表 3-1-37 在宅生活者の主な介助者】(n=1,681)



在宅生活者の主な介助者は、「配偶者」(35.7%)が最も多く、次いで「世話をしてもらう必要がない」(24.2%)、「子ども・孫(子ども・孫の配偶者含む)」(13.5%)となっている。

性別にみると、男性では「配偶者」(50.6%)が最も多いが、女性では「世話をしてもらう必要がない」(29.7%)が最も多く、次いで「子ども・孫(子ども・孫の配偶者含む)」(20.1%)、「配偶者」(20.0%)となっている。

年齢別にみると、17歳以下では「父母」(89.8%)が9割を占めて最も多い。18歳～20歳代になると「父母」(39.4%)と「世話をしてもらう必要がない」(39.4%)が同率で最も多くなり、30～50歳代では「世話をしてもらう必要がない」が最も多くなっている。60歳代以上になると「配偶者」が最も多く、4割前後を占めている。

【図表 3-1-38 性別・年齢別 在宅生活者の主な介助者】（％）

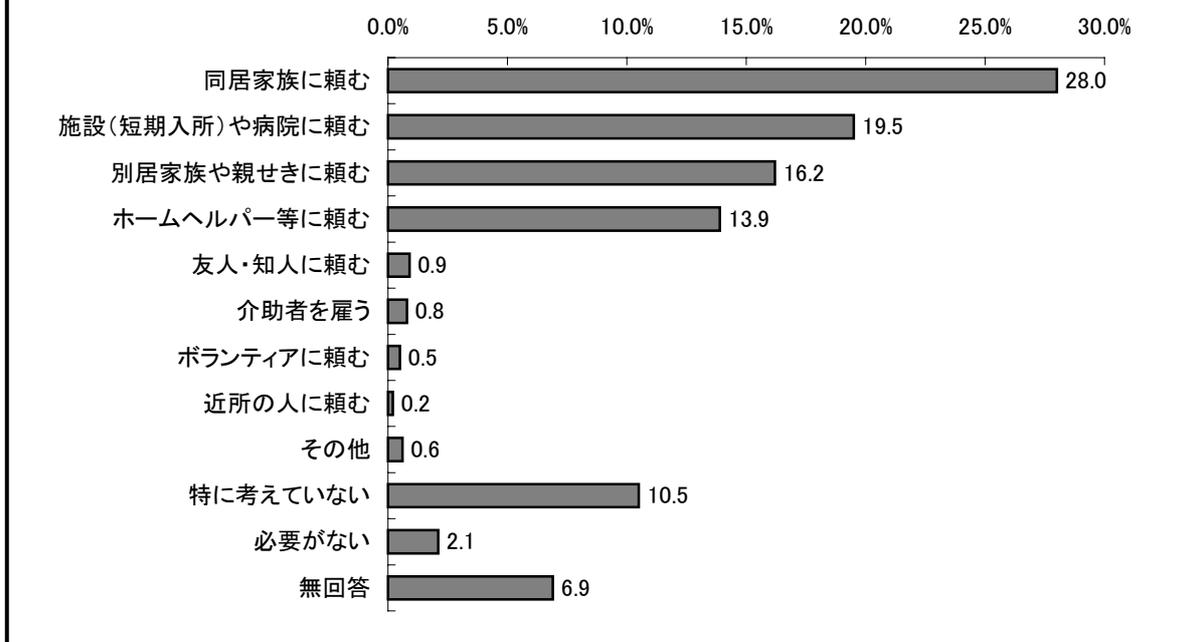
		調査数「n」（人）	配偶者	子ども・孫（子ども・孫の配偶者含む）	父母	ホームヘルパー・家政婦など	兄弟姉妹	その他の家族・親族
全体		1,681	35.7	13.5	6.4	4.0	1.6	1.0
性別	男性	836	50.6	7.1	7.7	2.4	1.2	0.4
	女性	817	20.0	20.1	5.3	5.5	2.1	1.6
	無回答	28	50.0	14.3	3.6	7.1	-	3.6
年齢別	17歳以下	59	-	-	89.8	-	-	-
	18～29歳	33	18.2	-	39.4	-	-	-
	30～39歳	58	19.0	-	31.0	5.2	-	-
	40～49歳	68	20.6	1.5	19.1	1.5	-	1.5
	50～59歳	230	34.8	3.9	3.5	3.9	3.0	1.3
	60～64歳	172	45.9	7.0	-	3.5	2.9	-
	65歳以上	1,024	38.6	19.5	0.2	4.4	1.4	1.2
	無回答	37	40.5	13.5	2.7	8.1	2.7	2.7

		調査数「n」（人）	家族以外の同居人	ボランティアなど	祖父母	その他	必要だが世話をしてくれない人がいない	世話をしてもらわない必要	無回答
全体		1,681	0.3	0.2	-	1.6	1.3	24.2	10.2
性別	男性	836	0.4	0.1	-	1.3	1.7	19.4	7.9
	女性	817	0.2	0.2	-	2.0	1.0	29.7	12.4
	無回答	28	-	-	-	-	-	3.6	17.9
年齢別	17歳以下	59	-	-	-	-	-	6.8	3.4
	18～29歳	33	-	-	-	-	-	39.4	3.0
	30～39歳	58	-	-	-	-	1.7	39.7	3.4
	40～49歳	68	1.5	-	-	1.5	1.5	51.5	-
	50～59歳	230	0.4	-	-	1.7	2.6	37.8	7.0
	60～64歳	172	-	-	-	3.5	1.7	25.6	9.9
	65歳以上	1,024	0.3	0.3	-	1.6	1.1	19.4	12.1
	無回答	37	-	-	-	-	-	2.7	27.0

(9) 在宅生活者の主な介助者が介助できなくなった場合の対処方法

問17-1 (問17で1～9のいずれかを選んだ方のみお答えください) 身の回りの世話をしている方が、万一病気や事故などで、一時的にお世話をすることができなくなったとした場合、どうしますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-39 在宅生活者の主な介助者が介助できなくなった場合の対処方法】(n=1,054)



在宅生活者の主な介助者が介助できなくなった場合の対処方法は、「同居家族に頼む」(28.0%)が最も多く、次いで「施設(短期入所)や病院に頼む」(19.5%)、「別居家族や親せきに頼む」(16.2%)、「ホームヘルパー等に頼む」(13.9%)となっている。

家族構成別にみると、一人暮らしでは、他に比べて「ホームヘルパー等に頼む」(40.0%)や「友人・知人に頼む」(8.0%)の割合が高い。

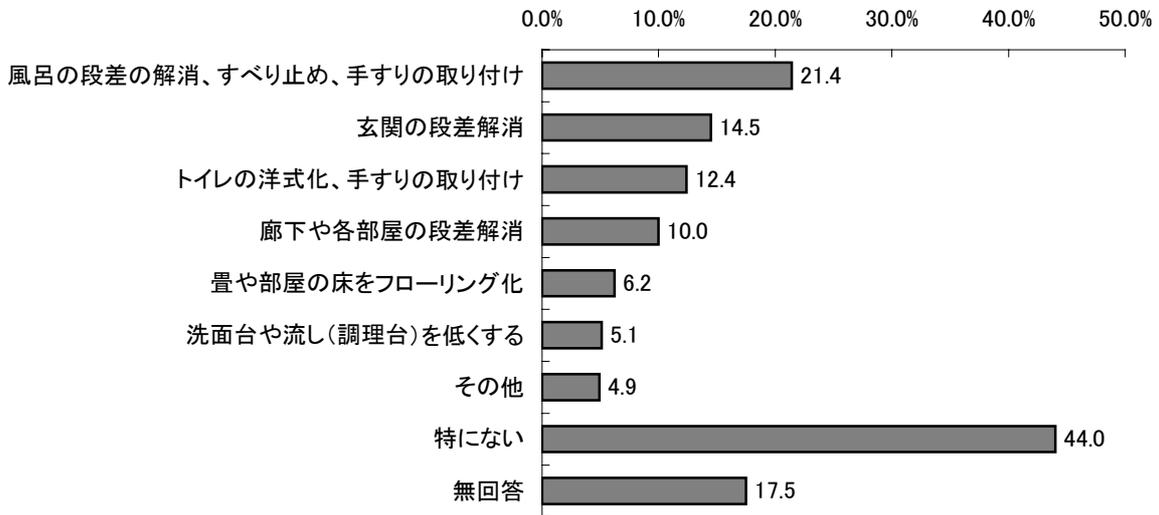
【図表 3-1-40 家族構成別 在宅生活者の主な介助者が介助できなくなった場合の対処方法】(%)

	調査数「n」(人)	同居家族に頼む	施設(短期入所)や病院に頼む	別居家族や親せきに頼む	ホームヘルパー等に頼む	友人・知人に頼む	介助者を雇う	ボランティアに頼む	近所の人に頼む	その他	特に考えていない	必要がない	無回答
全体	1,054	28.0	19.5	16.2	13.9	0.9	0.8	0.5	0.2	0.6	10.5	2.1	6.9
家族構成別													
一人暮らし	75	-	13.3	14.7	40.0	8.0	-	1.3	-	-	10.7	-	12.0
夫婦のみ	373	15.0	17.7	22.8	18.0	0.3	1.1	0.5	0.5	0.3	14.2	2.4	7.2
父母等の家族と同居	580	41.0	21.4	12.1	7.9	0.3	0.7	0.2	-	0.7	8.3	2.1	5.3
家族以外の人と同居	6	-	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-
無回答	20	5.0	20.0	20.0	10.0	-	-	5.0	-	-	5.0	5.0	30.0

(10) 住まいの改造希望

問18 現在の住まいで、使い勝手が悪いところや、改造したい(してほしい)ところがありますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-41 住まいの改造希望】(n=1,681)



現在の住まいで改造したいところについては「特にない」(44.0%)が最も多く、次いで「風呂の段差の解消、すべり止め、手すりの取り付け」(21.4%)、「玄関の段差解消」(14.5%)となっている。

障害の部位別にみると、肢体不自由では、他に比べて、全般的に改造意向が高い。

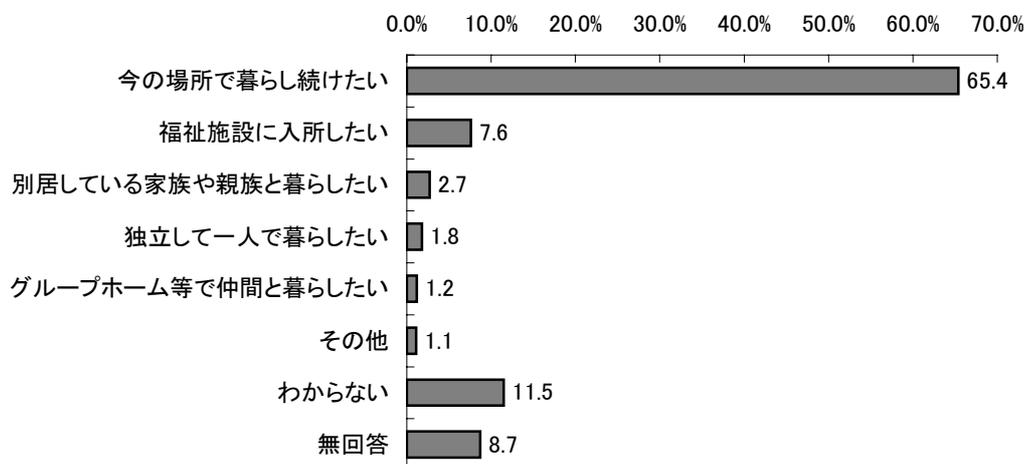
【図表 3-1-42 障害の部位別 住まいの改造希望】(%)

	調査数「n」(人)	風呂の段差の解消、すべり止め、手すりの取り付け	玄関の段差解消	トイレの洋式化、手すりの取り付け	廊下や各部屋の段差解消	畳や部屋の床をフローリング化	洗面台や流し(調理台)を低くする	その他	特にない	無回答
全体	1,681	21.4	14.5	12.4	10.0	6.2	5.1	4.9	44.0	17.5
障害の部位別										
視覚	133	18.0	6.0	13.5	7.5	1.5	3.0	5.3	46.6	18.0
聴覚・平衡機能	192	21.4	12.5	12.5	7.8	5.2	4.7	5.2	49.0	18.2
音声・言語・そしゃく機能	30	10.0	-	13.3	3.3	10.0	-	-	43.3	30.0
肢体不自由	733	23.7	18.7	14.2	12.6	7.9	7.2	7.1	40.4	14.2
内部障害	449	19.2	12.0	9.1	8.0	5.1	3.6	2.4	49.7	18.9
その他	84	27.4	19.0	11.9	10.7	8.3	4.8	2.4	40.5	15.5
無回答	60	15.0	8.3	11.7	8.3	3.3	-	-	30.0	40.0

(11) 在宅生活者が希望する将来の暮らし方

問19 あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-43 在宅生活者が希望する将来の暮らし方】(n=1,681)



在宅生活者が希望する将来の暮らし方は、「今この場所で暮らし続けたい」(65.4%)が6割を超えて最も多く、次いで「わからない」(11.5%)となっている。

「今この場所で暮らし続けたい」「独立して一人で暮らしたい」「別居している家族や親族と暮らしたい」「グループホーム等で仲間と暮らしたい」をあわせると、自宅や地域で生活したいと考えている人が71.1%を占めており、これに対して福祉施設入所希望者(「福祉施設に入所したい」)は7.6%となっている。

年齢別にみると、18~29歳では「わからない」(39.4%)が最も多いが、その他の年齢層では「今この場所で暮らし続けたい」が最も多く、その割合は加齢とともに高まり、65歳以上では69.3%となっている。また、20歳代以下では他の年齢層に比べて「独立して一人で暮らしたい」の割合が高く、特に18~29歳では30.3%と高い。

家族構成別にみると、一人暮らしでは他に比べて福祉施設入所希望者の割合が高く、13.2%となっている。

【図表 3-1-44 年齢別・家族構成別 在宅生活者が希望する将来の暮らし方】(%)

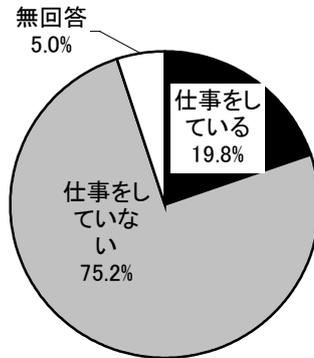
	調査数「n」 (人)	今この 場所 で暮 らし 続 け	福 祉 施 設 に 入 所 し た い	別 居 し て 暮 ら し た い 家 族 や 親	独 立 し て 一 人 で 暮 ら し	グ ル ー プ ホ ー ム 等 で 仲	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,681	65.4	7.6	2.7	1.8	1.2	1.1	11.5	8.7
年 齢 別	17歳以下	59	37.3	5.1	1.7	13.6	3.4	30.5	5.1
	18~29歳	33	18.2	-	-	30.3	3.0	39.4	6.1
	30~39歳	58	55.2	5.2	-	1.7	-	29.3	6.9
	40~49歳	68	61.8	4.4	4.4	4.4	-	20.6	4.4
	50~59歳	230	65.7	6.1	1.3	1.3	2.6	13.9	7.8
	60~64歳	172	67.4	6.4	2.3	0.6	1.2	12.8	8.1
	65歳以上	1,024	69.3	8.9	3.0	0.5	0.9	7.4	9.0
無回答	37	56.8	5.4	8.1	-	-	2.7	27.0	
家 族 構 成 別	一人暮らし	189	53.4	13.2	4.8	-	2.1	18.5	6.3
	夫婦のみ	495	72.7	8.3	4.8	0.6	1.0	8.9	2.6
	父母等の家族と同居	859	71.0	6.5	1.2	3.1	1.2	12.5	3.5
	家族以外の人と同居	10	40.0	10.0	-	-	-	10.0	10.0
	無回答	128	19.5	3.1	1.6	0.8	0.8	3.1	70.3

3. 就労について

(1) 就労状況

問20 あなたは現在仕事をしていますか。

【図表 3-1-45 就労状況】(n=1,890)



回答者の19.8%は現在仕事をしている。

仕事をしている人の割合を性別にみると、女性(12.2%)より男性(27.4%)で高い。年齢別にみると、30歳代(57.8%)・40歳代(57.5%)で高く、半数を超えている。

障害の程度別にみると、概ね障害の程度が軽いほど仕事をしている人の割合も高く、4～6級ではそれぞれ3割弱～3割程度が仕事をしている(4級:26.3%、5級:30.1%、6級:26.6%)。

障害の部位別にみると、音声・言語・そしゃく機能は、他の障害に比べて、仕事をしている人の割合が26.3%とやや高い。

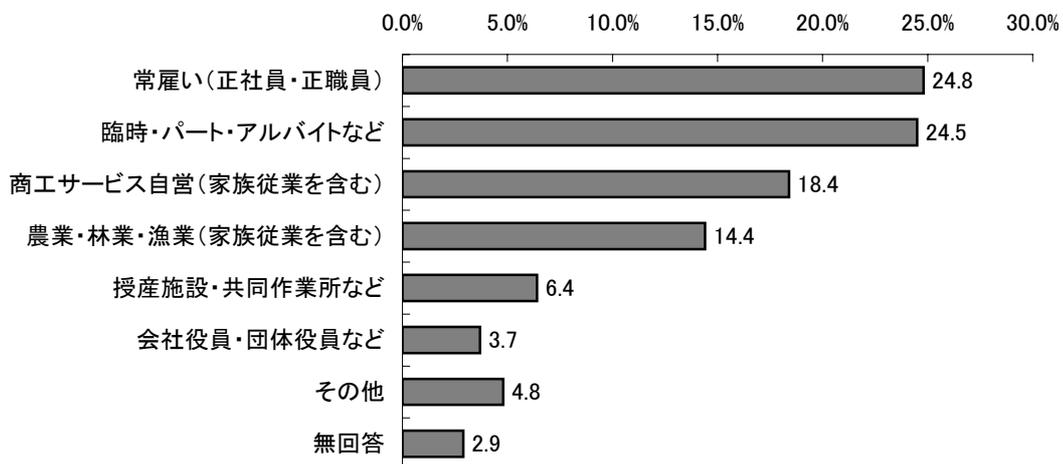
【図表 3-1-46 性別・年齢別・障害の程度別・障害の部位別 就労状況】(%)

		(調査人数)「n」	仕事をしている	仕事をしていない	無回答
全体		1,890	19.8	75.2	5.0
性別	男性	912	27.4	69.5	3.1
	女性	940	12.2	81.7	6.1
	無回答	38	26.3	50.0	23.7
年齢別	17歳以下	63	-	96.8	3.2
	18～29歳	40	37.5	57.5	5.0
	30～39歳	64	57.8	40.6	1.6
	40～49歳	73	57.5	41.1	1.4
	50～59歳	242	43.8	54.1	2.1
	60～64歳	185	30.8	67.0	2.2
	65歳以上	1,174	9.3	84.8	5.9
	無回答	49	18.4	61.2	20.4
障害の程度別	1級	548	13.9	80.7	5.5
	2級	344	15.1	81.4	3.5
	3級	288	21.9	74.3	3.8
	4級	334	26.3	68.6	5.1
	5級	153	30.1	64.1	5.9
	6級	139	26.6	71.9	1.4
	無回答	84	15.5	69.0	15.5
障害の部位別	視覚	144	20.8	76.4	2.8
	聴覚・平衡機能	218	21.1	74.8	4.1
	音声・言語・そしゃく機能	38	26.3	68.4	5.3
	肢体不自由	848	19.2	76.8	4.0
	内部障害	468	20.7	75.9	3.4
	その他	95	21.1	70.5	8.4
無回答	79	11.4	62.0	26.6	

(2) 仕事の種類

問20-1 (仕事をしている方のみお答えください) あなたはどのような仕事をしていますか。(〇は1つだけ)

【図表 3-1-47 仕事の種類】(n=375)



仕事の種類は、「常雇い（正社員・正職員）」（24.8%）と「臨時・パート・アルバイトなど」（24.5%）が多く、次いで「商工サービス自営（家族従業を含む）」（18.4%）となっている。

性別にみると、男性では「常雇い（正社員・正職員）」（28.8%）が最も多く、女性では「臨時・パート・アルバイトなど」（43.5%）が最も多い。

障害の程度別にみると、障害の程度が最も軽い6級では、「農業・林業・漁業（家族従業を含む）」の割合が高く、32.4%を占めている。

障害の部位別にみると、視覚では「商工サービス自営（家族従業を含む）」（36.7%）、音声・言語・そしゃく機能では「授産施設・共同作業所など」（40.0%）、内部障害では「常雇い（正社員・正職員）」（33.0%）の割合が他に比べて高い。

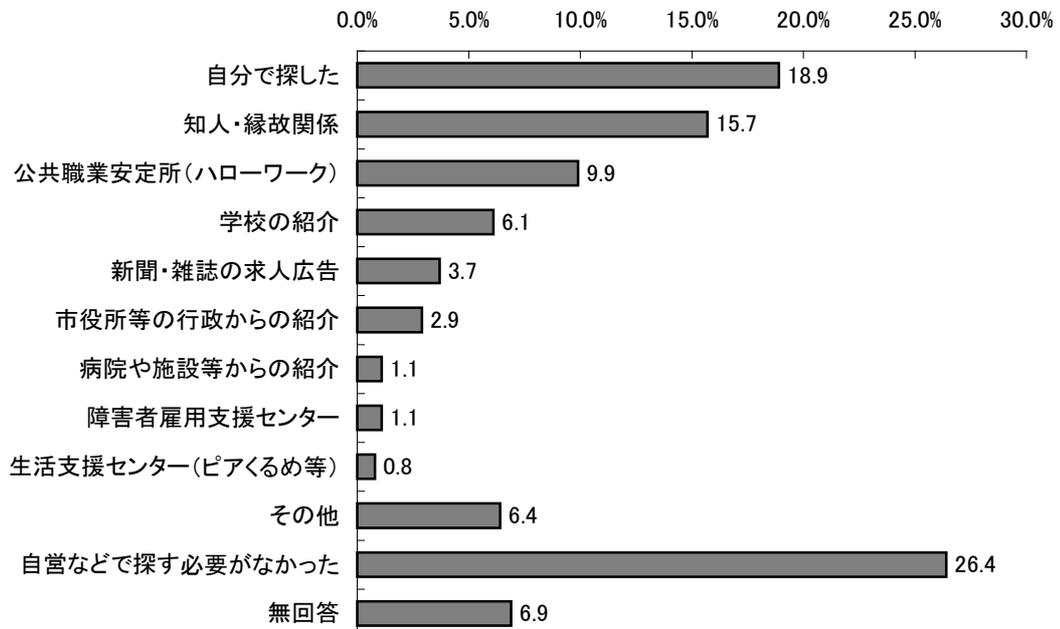
【図表 3-1-48 性別・障害の程度別・障害の部位別 仕事の種類】(%)

	調査数「 <input type="checkbox"/> 」(人)	仕事の種類 (%)								
		常雇い(正社員・正職員)	臨時・パート・アルバイトなど	商工サービス自営(家族従業を含む)	農業・林業・漁業(家族従業を含む)	授産施設・共同作業所など	会社役員・団体役員など	その他	無回答	
全体	375	24.8	24.5	18.4	14.4	6.4	3.7	4.8	2.9	
性別	男性	250	28.8	16.0	20.8	16.4	6.8	3.6	4.8	2.8
	女性	115	15.7	43.5	13.9	9.6	6.1	4.3	5.2	1.7
	無回答	10	30.0	20.0	10.0	20.0	-	-	-	20.0
障害の程度別	1級	76	28.9	19.7	22.4	6.6	3.9	9.2	2.6	
	2級	52	13.5	30.8	15.4	5.8	23.1	1.9	7.7	1.9
	3級	63	30.2	20.6	19.0	12.7	7.9	3.2	4.8	1.6
	4級	88	27.3	27.3	19.3	17.0	-	5.7	1.1	2.3
	5級	46	28.3	21.7	21.7	15.2	2.2	2.2	4.3	4.3
	6級	37	18.9	29.7	8.1	32.4	-	5.4	2.7	2.7
	無回答	13	7.7	23.1	15.4	30.8	7.7	-	-	15.4
障害の部位別	視覚	30	16.7	16.7	36.7	10.0	3.3	-	16.7	-
	聴覚・平衡機能	46	30.4	30.4	8.7	15.2	4.3	2.2	4.3	4.3
	音声・言語・そしゃく機能	10	-	10.0	20.0	10.0	40.0	-	-	20.0
	肢体不自由	163	21.5	23.9	17.8	17.8	9.2	3.7	3.1	3.1
	内部障害	97	33.0	24.7	20.6	10.3	-	6.2	5.2	-
	その他	20	30.0	30.0	15.0	10.0	-	5.0	5.0	5.0
	無回答	9	11.1	33.3	-	22.2	22.2	-	-	11.1

(3) 仕事を見つけた方法

問20-2 (仕事をしている方のみお答えください) 仕事はどのような方法で見つけましたか。(〇は1つだけ)

【図表 3-1-49 仕事を見つけた方法】(n=375)



仕事を見つけた方法は、「自営などで探す必要がなかった」(26.4%)が最も多く、次いで「自分で探した」(18.9%)、「知人・縁故関係」(15.7%)、「公共職業安定所(ハローワーク)」(9.9%)となっている。

障害の部位別にみると、視覚では「学校の紹介」(13.3%)、音声・言語・そしゃく機能では「病院や施設等からの紹介」(10.0%)や「生活支援センター(ピアくるめ等)」(10.0%)などの割合が、他に比べてやや高い。

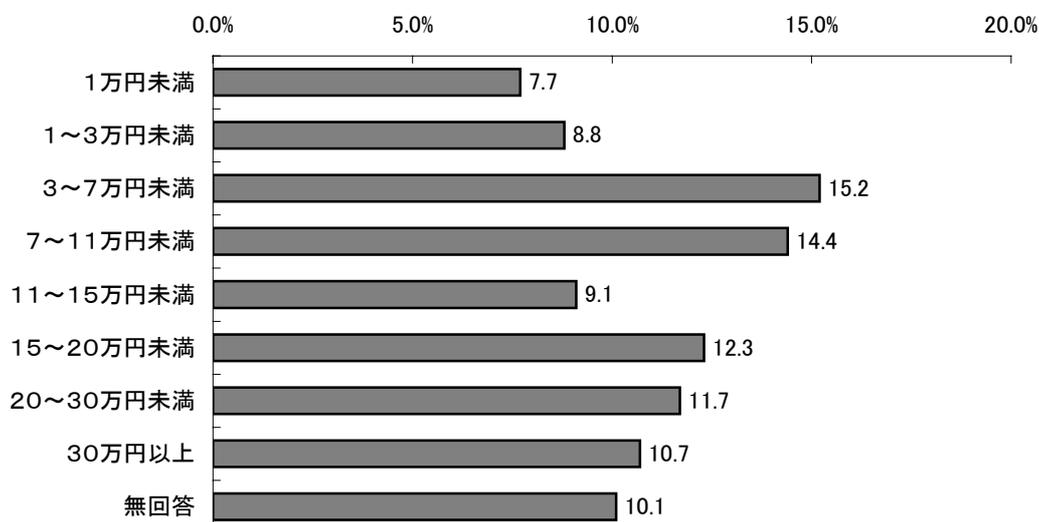
【図表 3-1-50 障害の部位別 仕事を見つけた方法】(%)

	調査数「n」(人)	自分で探した	知人・縁故関係	公共職業安定所(ハローワーク)	学校の紹介	新聞・雑誌の求人広告	市役所等の行政からの紹介	病院や施設等からの紹介	障害者雇用支援センター	生活支援センター(ピアくるめ等)	その他	自営などで探す必要がなかった	無回答	
全体	375	18.9	15.7	9.9	6.1	3.7	2.9	1.1	1.1	0.8	6.4	26.4	6.9	
障害の部位別	視覚	30	13.3	10.0	10.0	13.3	3.3	-	3.3	-	3.3	33.3	10.0	
	聴覚・平衡機能	46	28.3	15.2	15.2	4.3	2.2	-	2.2	-	6.5	19.6	6.5	
	音声・言語・そしゃく機能	10	10.0	-	-	-	-	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	30.0	10.0
	肢体不自由	163	14.1	15.3	11.7	4.9	3.7	4.3	1.2	1.2	1.2	6.1	28.8	7.4
	内部障害	97	22.7	18.6	8.2	6.2	5.2	2.1	-	-	-	8.2	26.8	2.1
	その他	20	35.0	20.0	-	15.0	-	-	-	-	-	5.0	20.0	5.0
無回答	9	11.1	22.2	-	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-	44.4	

(4) 月収

問20-3 (仕事をしている方のみお答えください) あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらくらいですか。(〇は1つだけ)

【図表 3-1-51 月収】(n=375)



仕事で得る月収は、「3~7万円未満」(15.2%)が最も多く、次いで「7~11万円未満」(14.4%)、「15~20万円未満」(12.3%)となっており、全体の7割弱(67.5%)が月収20万円未満である。

仕事の種類別にみると、常雇いでは「20~30万円未満」(31.2%)が最も多く、全体の8割弱(78.5%)が15万円以上となっている。臨時・パート・アルバイトなどでは、「7~11万円未満」(32.6%)が最も多く、3~11万円未満の層が全体の6割(59.8%)を占めている。授産施設・共同作業所などでは、「1万円未満」が最も多く、70.8%となっている。

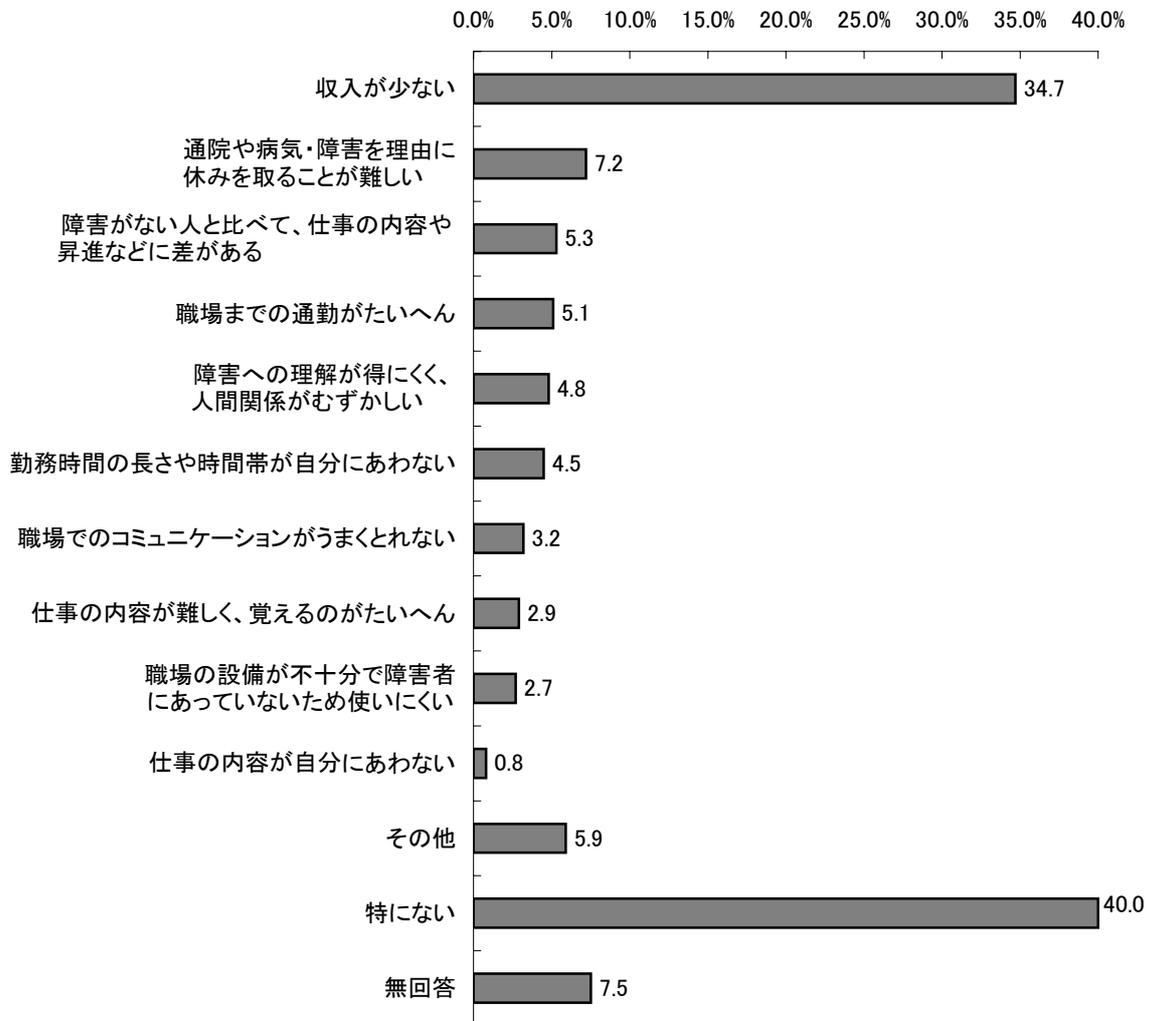
【図表 3-1-52 仕事の種類別 月収】(%)

仕事の種類別	調査数「n」(人)	1万円未満	1~3万円未満	3~7万円未満	7~11万円未満	11~15万円未満	15~20万円未満	20~30万円未満	30万円以上	無回答
全体	375	7.7	8.8	15.2	14.4	9.1	12.3	11.7	10.7	10.1
農業・林業・漁業(家族従業員を含む)	54	3.7	20.4	24.1	5.6	1.9	3.7	1.9	7.4	31.5
商工サービス自営(家族従業員を含む)	69	4.3	5.8	11.6	18.8	10.1	20.3	15.9	7.2	5.8
会社役員・団体役員など	14	-	-	7.1	7.1	-	28.6	14.3	42.9	-
常雇い(正社員・正職員)	93	-	-	2.2	5.4	12.9	21.5	31.2	25.8	1.1
臨時・パート・アルバイトなど	92	5.4	12.0	27.2	32.6	13.0	5.4	1.1	-	3.3
授産施設・共同作業所など	24	70.8	4.2	4.2	-	4.2	-	-	-	16.7
その他	18	-	33.3	38.9	11.1	5.6	-	-	5.6	5.6
無回答	11	18.2	-	-	-	-	9.1	-	-	72.7

(5) 仕事上の悩みや困っていること

問20-4 (仕事をしている方のみお答えください) 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-53 仕事上の悩みや困っていること】(n=375)



仕事上の悩みや困っていることは、「特にない」(40.0%)が最も多く、次いで「収入が少ない」(34.7%)となっている。

障害の程度別にみると、最重度の1級では、他に比べて「通院や病気・障害を理由に休みを取ることが難しい」(14.5%)や「勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない」(11.8%)、「職場までの通勤がたいへん」(11.8%)などの勤務時間や通勤等に関する項目の割合が高い。

障害の部位別にみると、聴覚・平衡機能では「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(13.0%)や「障害への理解が得にくく、人間関係がむずかしい」(13.0%)、「障害がない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある」(10.9%)の割合が高く、内部障害では「通院や病気・障害を理由に休みを取ることが難しい」(12.4%)や「勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない」(12.4%)の割合が高い。

仕事の種類別にみると、常雇いでは、「通院や病気・障害を理由に休みを取ることが難しい」(12.9%)や「障害がない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある」(11.8%)等の割合が高く、臨時・パート・アルバイトなどでは、「収入が少ない」(45.7%)の割合が高い。また、授産施設・共同作業所などでは、他に比べて「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(16.7%)や「仕事の内容が自分にあわない」(8.3%)などの割合が高い。

第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

【図表 3-1-54 障害の程度別・障害の部位別・仕事の種類別 仕事上の悩みや困っていること】(%)

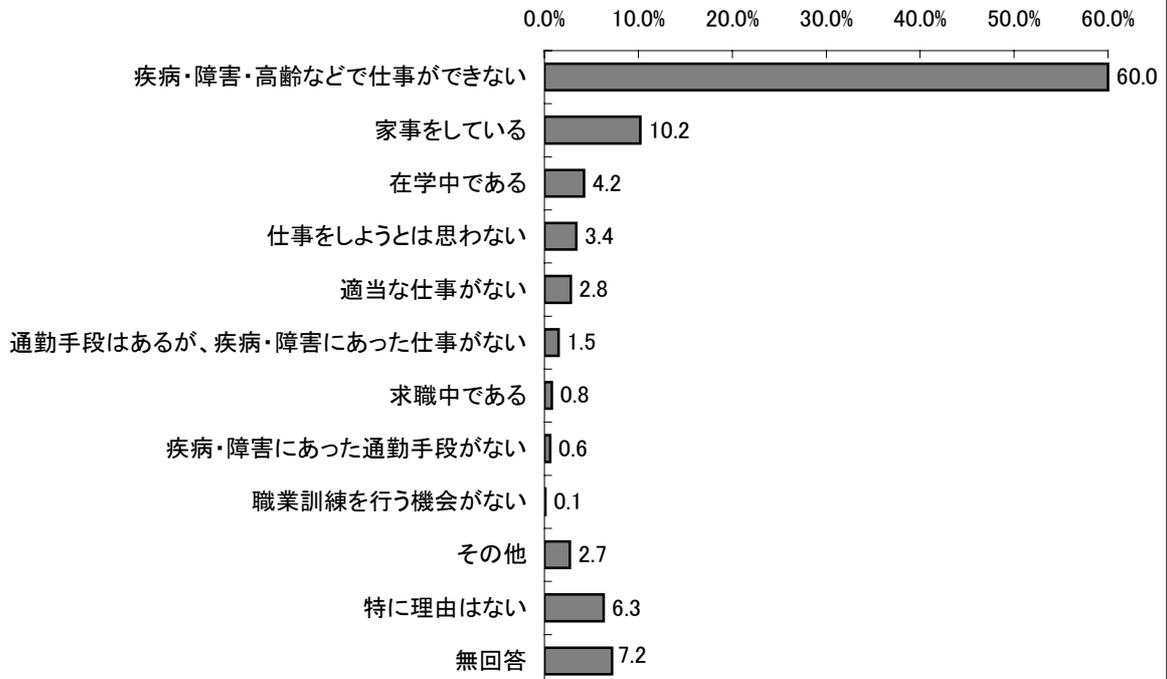
	調査数「n」 (人)	収入が 少ない	難 し い 休 み を 取 る こ と が	通 院 や 病 気 ・ 障 害 を 理 由 に	障 害 が な い 人 と 比 べ て 差 が あ る こ と が	職 場 ま で の 通 勤 が た い へ ん	障 害 へ の 理 解 が 得 ず に か く し い 人 間 関 係 が	勤 務 時 間 の 長 さ や 時 間 に あ わ な い
全 体	375	34.7	7.2	5.3	5.1	4.8	4.5	
障害の程度別	1級	76	38.2	14.5	7.9	11.8	3.9	11.8
	2級	52	50.0	3.8	3.8	5.8	9.6	-
	3級	63	31.7	6.3	6.3	4.8	6.3	1.6
	4級	88	31.8	9.1	3.4	2.3	5.7	4.5
	5級	46	32.6	4.3	4.3	2.2	-	4.3
	6級	37	24.3	-	5.4	-	2.7	2.7
	無回答	13	23.1	-	7.7	7.7	-	-
障害の部位別	視覚	30	40.0	3.3	-	6.7	-	3.3
	聴覚・平衡機能	46	34.8	4.3	10.9	4.3	13.0	-
	音声・言語・そしゃく機能	10	40.0	-	-	-	-	-
	肢体不自由	163	35.6	7.4	4.9	4.9	4.3	2.5
	内部障害	97	34.0	12.4	4.1	5.2	5.2	12.4
	その他	20	25.0	-	10.0	5.0	-	-
	無回答	9	22.2	-	11.1	11.1	-	-
仕事の種類別	農業・林業・漁業（家族従業を含む）	54	35.2	1.9	3.7	-	1.9	1.9
	商工サービス自営（家族従業を含む）	69	37.7	2.9	-	1.4	-	-
	会社役員・団体役員など	14	14.3	-	-	-	14.3	7.1
	常雇い（正社員・正職員）	93	22.6	12.9	11.8	8.6	10.8	10.8
	臨時・パート・アルバイトなど	92	45.7	13.0	7.6	9.8	4.3	4.3
	授産施設・共同作業所など	24	37.5	-	-	4.2	-	-
	その他	18	44.4	-	-	-	5.6	5.6
	無回答	11	27.3	-	-	-	-	-

	調査数「n」 (人)	職 場 で の コ ミ ュ ニ ケ シ ヨ ン が た い へ ん	仕 事 の 内 容 が た い へ ん	障 害 者 に あ つ て い な い た め に 設 備 が 不 十 分 で あ る	職 場 の 設 備 が 自 分 に あ わ な い	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全 体	375	3.2	2.9	2.7	0.8	5.9	40.0	7.5	
障害の程度別	1級	76	5.3	2.6	2.6	1.3	5.3	28.9	5.3
	2級	52	7.7	3.8	1.9	1.9	5.8	26.9	7.7
	3級	63	4.8	6.3	4.8	1.6	4.8	42.9	1.6
	4級	88	-	1.1	2.3	-	10.2	43.2	8.0
	5級	46	-	2.2	4.3	-	2.2	54.3	6.5
	6級	37	2.7	2.7	-	-	5.4	51.4	13.5
	無回答	13	-	-	-	-	-	38.5	30.8
障害の部位別	視覚	30	-	3.3	-	-	6.7	36.7	6.7
	聴覚・平衡機能	46	13.0	2.2	2.2	-	8.7	32.6	8.7
	音声・言語・そしゃく機能	10	10.0	10.0	-	20.0	-	40.0	10.0
	肢体不自由	163	1.2	1.8	4.9	0.6	5.5	41.7	7.4
	内部障害	97	1.0	3.1	1.0	-	7.2	41.2	4.1
	その他	20	5.0	10.0	-	-	-	50.0	10.0
	無回答	9	11.1	-	-	-	-	22.2	33.3
仕事の種類別	農業・林業・漁業（家族従業を含む）	54	-	1.9	-	-	7.4	35.2	22.2
	商工サービス自営（家族従業を含む）	69	1.4	5.8	4.3	-	4.3	44.9	2.9
	会社役員・団体役員など	14	-	-	-	-	7.1	71.4	7.1
	常雇い（正社員・正職員）	93	3.2	2.2	4.3	1.1	3.2	43.0	1.1
	臨時・パート・アルバイトなど	92	4.3	2.2	3.3	-	7.6	32.6	4.3
	授産施設・共同作業所など	24	16.7	8.3	-	8.3	-	29.2	16.7
	その他	18	-	-	-	-	16.7	44.4	5.6
	無回答	11	-	-	-	-	9.1	45.5	27.3

(6) 仕事をしていない理由

問20-5 (仕事をしていない方のみお答えください) 仕事をしていないのは、主にどのような理由によりますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-55 仕事をしていない理由】(n=1,421)



仕事をしていない理由は、「疾病・障害・高齢などで仕事ができない」(60.0%)が6割を占めて最も多く、次いで「家事をしている」(10.2%)となっている。

性別にみると、女性は男性に比べて「家事をしている」(16.3%)の割合が高い。

年齢別にみると、20歳代以下では「在学中である」が最も多く、30歳代以上ではすべての年齢層において「疾病・障害・高齢などで仕事ができない」が最も多い。なお、30・40歳代では他の年齢層に比べて「適当な仕事がない」(30歳代：11.5%、40歳代：16.7%)や「通勤手段はあるが、疾病・障害にあった仕事がない」(30歳代：11.5%、40歳代：6.7%)の割合が高い。

第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

【図表3-1-56 性別・年齢別・障害の部位別 仕事をしていない理由】(%)

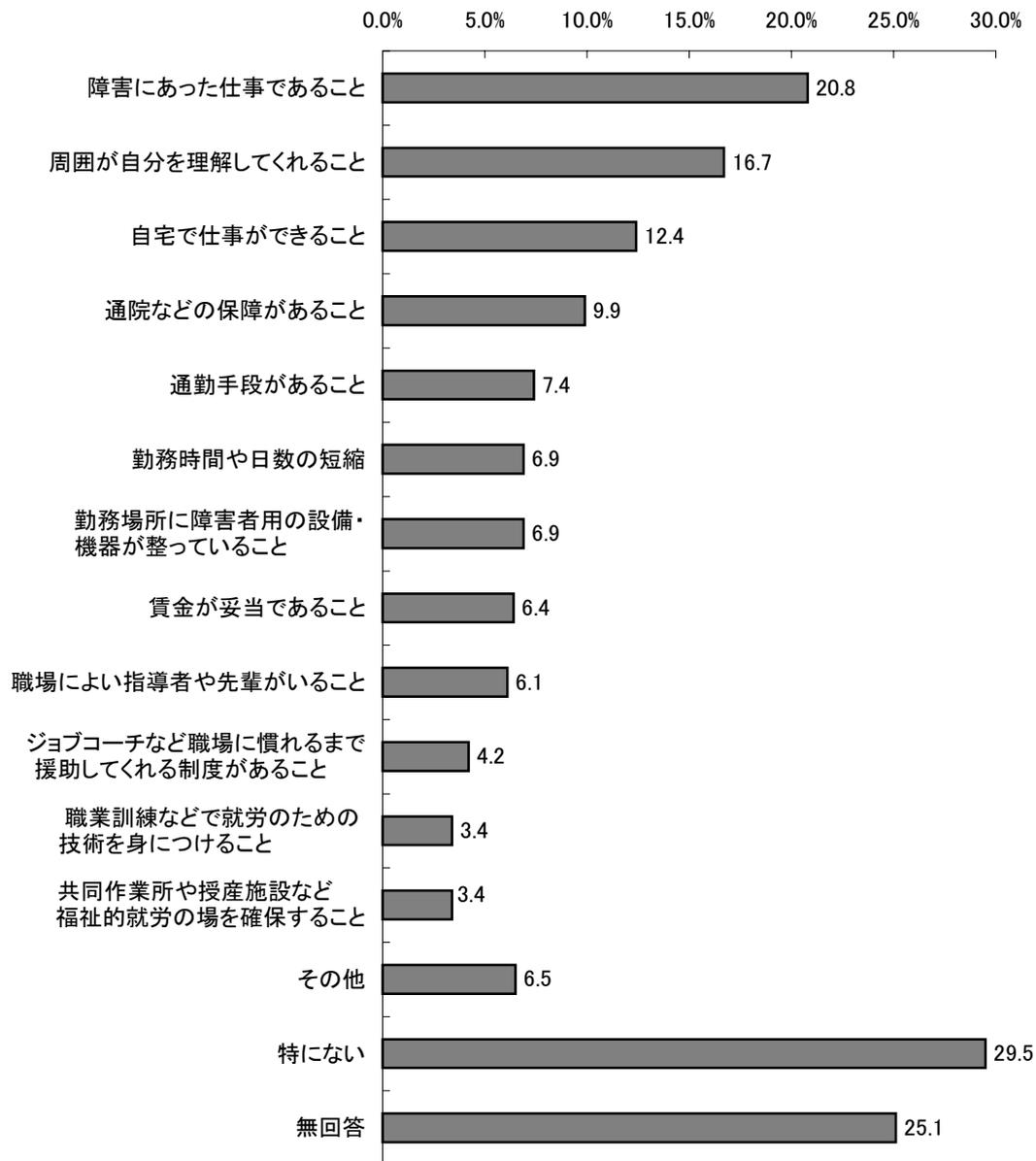
	調査数「n」 (人)	で疾病・障害・高齢などで仕事ができない	家事をしている	在学中である	仕事をしようとは思わない	適当な仕事がない	病・障害はあるが、仕事がない	通勤手段はあるが、仕事がない
全体	1,421	60.0	10.2	4.2	3.4	2.8	1.5	
性別								
男性	634	61.7	2.8	4.4	4.3	4.3	1.9	
女性	768	58.7	16.3	4.0	2.6	1.6	1.3	
無回答	19	57.9	10.5	-	10.5	5.3	-	
年齢別								
17歳以下	61	-	-	80.3	-	-	-	
18～29歳	23	26.1	4.3	39.1	-	4.3	4.3	
30～39歳	26	61.5	3.8	-	-	11.5	11.5	
40～49歳	30	30.0	23.3	-	6.7	16.7	6.7	
50～59歳	131	57.3	14.5	-	2.3	6.1	5.3	
60～64歳	124	58.1	12.9	-	5.6	5.6	3.2	
65歳以上	996	65.9	10.0	0.1	3.3	1.5	0.5	
無回答	30	63.3	3.3	-	13.3	3.3	-	
障害の部位別								
視覚	110	72.7	5.5	0.9	2.7	1.8	2.7	
聴覚・平衡機能	163	58.9	12.3	4.3	3.7	3.7	0.6	
音声・言語・そしゃく機能	26	57.7	7.7	-	7.7	3.8	-	
肢体不自由	651	61.1	9.1	6.3	3.5	2.3	1.2	
内部障害	355	54.6	13.5	2.3	3.1	3.9	2.8	
その他	67	58.2	11.9	1.5	3.0	-	-	
無回答	49	63.3	4.1	2.0	4.1	4.1	-	

	調査数「n」 (人)	求職中である	勤病手段・障害にあつた通	ない職業訓練を行う機会が	その他	特に理由はない	無回答
全体	1,421	0.8	0.6	0.1	2.7	6.3	7.2
性別							
男性	634	0.8	0.3	0.2	3.8	7.7	7.9
女性	768	0.8	0.9	0.1	2.0	5.1	6.6
無回答	19	5.3	-	-	-	5.3	5.3
年齢別							
17歳以下	61	-	-	-	16.4	1.6	1.6
18～29歳	23	4.3	-	-	13.0	-	4.3
30～39歳	26	-	-	-	7.7	3.8	-
40～49歳	30	3.3	3.3	-	3.3	-	6.7
50～59歳	131	5.3	1.5	1.5	2.3	2.3	1.5
60～64歳	124	-	1.6	-	1.6	2.4	8.9
65歳以上	996	0.2	0.4	-	1.7	8.1	8.2
無回答	30	3.3	-	-	3.3	-	10.0
障害の部位別							
視覚	110	1.8	-	0.9	1.8	1.8	7.3
聴覚・平衡機能	163	0.6	0.6	0.6	2.5	8.0	4.3
音声・言語・そしゃく機能	26	-	-	-	7.7	11.5	3.8
肢体不自由	651	1.1	0.6	-	2.6	4.6	7.5
内部障害	355	0.3	0.8	-	2.8	9.0	6.8
その他	67	-	1.5	-	3.0	10.4	10.4
無回答	49	2.0	-	-	4.1	4.1	12.2

(7) 仕事をする上で必要な条件整備

問21 (仕事をしている方もしていない方もお答えください)あなたが仕事をするうえで、どのような条件整備が必要ですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-57 仕事をする上で必要な条件整備】(n=1,890)



仕事をする上で必要な条件整備は、「特にない」(29.5%)が最も多いが、具体的な内容では「障害にあった仕事であること」(20.8%)が最も多く、次いで「周囲が自分を理解してくれること」(16.7%)、「自宅で仕事ができること」(12.4%)となっている。

障害の程度別にみると、1・2級の重度障害者では、他に比べて「通院などの保障があること」(1級:12.0%、2級:10.5%)や「障害にあった仕事であること」(1級:22.3%、2級:25.9%)、「勤務場所に障害者用の設備・機器が整っていること」(1級:8.8%、2級:8.7%)の割合がやや高い。

障害の部位別にみると、聴覚・平衡機能では、他の障害に比べて「周囲が自分を理解してくれること」(23.4%)の割合が高く、内部障害では「勤務時間や日数の短縮」(12.0%)や「通院などの保障があること」(13.9%)の割合が高い。肢体不自由では、「障害にあった仕事であること」(25.4%)や「勤務場所に障害者用の設備・機器が整っていること」(10.1%)、「周囲が自分を理解してくれること」(19.0%)などの割合が高い。

第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

就労状況別にみると、現在仕事をしている人は、仕事をしていない人に比べて「賃金が妥当であること」（11.5%）や「周囲が自分を理解してくれること」（22.4%）、「特にない」（35.2%）などの割合が高い。

【図表 3-1-58 障害の程度別・障害の部位別・就労状況別 仕事をする上で必要な条件整備】（%）

	調査数「n」（人）	障害にあった仕事であること	周囲が自分を理解してくれること	自宅で仕事ができること	通院などの保障があること	通勤手段があること	勤務時間や日数の短縮	勤務場所に障害者用の設備・機器が整っていること
全体	1,890	20.8	16.7	12.4	9.9	7.4	6.9	6.9
障害の程度別	1級	548	22.3	17.7	12.6	8.2	8.2	8.8
	2級	344	25.9	19.8	11.6	10.5	9.0	8.7
	3級	288	19.1	16.3	11.5	9.4	6.9	4.9
	4級	334	18.3	16.2	14.7	9.9	7.8	9.3
	5級	153	17.0	13.7	11.1	9.8	6.5	4.6
	6級	139	20.9	12.2	14.4	3.6	2.2	3.6
	無回答	84	14.3	13.1	8.3	6.0	6.0	6.0
障害の部位別	視覚	144	18.8	11.8	11.8	7.6	4.9	3.5
	聴覚・平衡機能	218	19.7	23.4	10.6	6.0	6.9	4.1
	音声・言語・そしゃく機能	38	15.8	15.8	15.8	-	-	-
	肢体不自由	848	25.4	19.0	14.7	10.5	9.9	6.8
	内部障害	468	17.3	14.5	11.1	13.9	6.2	12.0
	その他	95	15.8	7.4	9.5	6.3	5.3	2.1
	無回答	79	8.9	6.3	3.8	3.8	-	1.3
就労状況別	仕事をしている	375	16.0	22.4	13.3	9.3	6.4	9.1
	仕事をしていない	1,421	23.4	16.0	12.9	10.7	8.2	6.8
	無回答	94	1.1	3.2	1.1	-	-	-

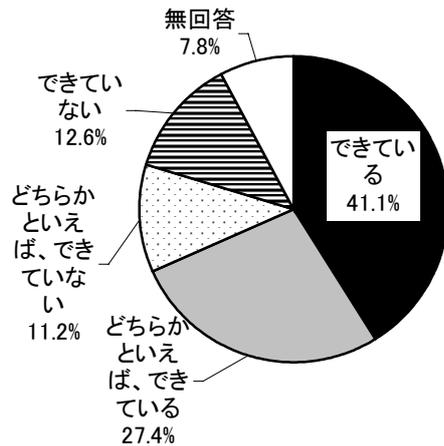
	調査数「n」（人）	賃金が妥当であること	職場にいること 指導者や先輩がよいこと	ジョブコーチなど職場に慣れるまで援助すること	職業訓練などで身につけるための技術など	確保すること 福祉的授産施設	共同作業所や授産施設	その他	特にない	無回答
全体	1,890	6.4	6.1	4.2	3.4	3.4	6.5	29.5	25.1	
障害の程度別	1級	548	6.8	6.8	5.3	3.8	3.8	7.7	26.6	27.4
	2級	344	5.2	5.8	4.9	4.1	4.9	7.8	25.3	26.2
	3級	288	7.3	5.6	4.2	2.1	2.8	5.2	31.3	22.6
	4級	334	8.1	7.2	3.3	3.6	2.4	5.4	33.8	20.7
	5級	153	6.5	5.2	3.9	3.3	1.3	5.2	32.0	26.1
	6級	139	2.9	5.0	2.2	3.6	2.9	4.3	38.8	18.0
	無回答	84	4.8	4.8	2.4	1.2	4.8	7.1	22.6	41.7
障害の部位別	視覚	144	4.2	2.1	0.7	4.2	1.4	9.7	35.4	25.7
	聴覚・平衡機能	218	6.0	9.2	6.9	4.1	4.1	6.0	29.4	25.7
	音声・言語・そしゃく機能	38	2.6	5.3	5.3	5.3	7.9	-	26.3	34.2
	肢体不自由	848	7.3	7.5	6.4	3.9	4.7	6.1	27.9	22.6
	内部障害	468	7.3	5.3	1.3	3.0	1.3	5.8	32.1	22.6
	その他	95	4.2	1.1	2.1	-	2.1	11.6	31.6	28.4
	無回答	79	1.3	1.3	-	-	2.5	6.3	20.3	54.4
就労状況別	仕事をしている	375	11.5	9.3	1.9	4.3	2.4	1.6	35.2	10.4
	仕事をしていない	1,421	5.4	5.6	5.1	3.4	3.8	8.2	29.9	24.5
	無回答	94	1.1	1.1	-	-	1.1	-	1.1	92.6

4. 外出について

(1) 外出の状況

問22 あなたは、ふだん、外出したいと思うところに、外出できていますか。※家族やガイドヘルパー等のつきそい（外出支援）が必要な方は、つきそいがある状態としてお答えください。（○は1つだけ）

【図表 3-1-59 外出の状況】(n=1,890)



外出したいと思うところに外出できているかという問に対しては、「できている」(41.1%)との回答が最も多く、次いで「どちらかといえば、できている」(27.4%)をあわせると、希望どおりに外出できている人が全体の7割(68.5%)を占めている。一方、「どちらかといえば、できていない」(11.2%)・「できていない」(12.6%)をあわせた、希望どおりに外出できていない人は23.8%となっている。

障害の程度別にみると、希望どおりに外出できていない人の割合（「どちらかといえば、できていない」「できていない」の合計）は、1級(28.1%)・2級(34.3%)の重度障害者で高く、それぞれ3割前後を占めている。

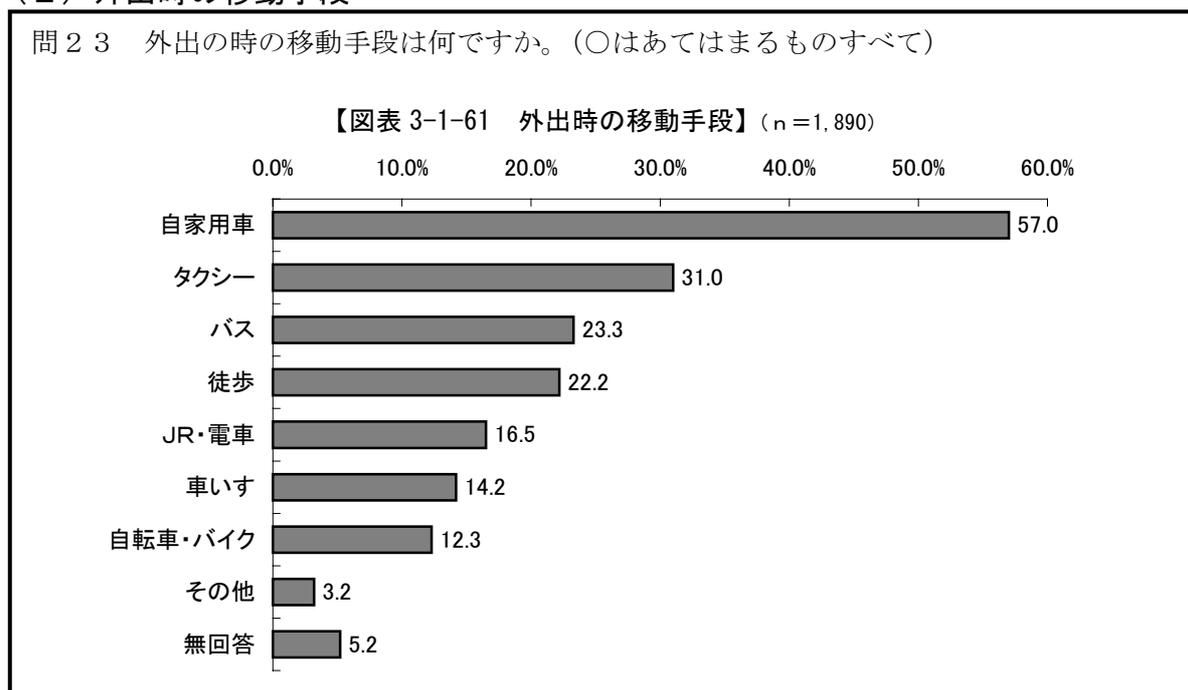
障害の部位別にみると、希望どおりに外出できていない人の割合は、肢体不自由(29.3%)、視覚(27.1%)、音声・言語・そしゃく機能(26.3%)の順で高い。

【図表 3-1-60 障害の程度別・障害の部位別 外出の状況】(%)

	調査数「n」(人)	できている	どちらかといえば、できている	どちらかといえば、できていない	できていない	無回答	
全体	1,890	41.1	27.4	11.2	12.6	7.8	
障害の程度別	1級	548	36.1	29.0	12.2	15.9	6.8
	2級	344	28.5	31.1	15.4	18.9	6.1
	3級	288	46.9	27.1	10.1	9.4	6.6
	4級	334	51.8	25.1	8.4	6.0	8.7
	5級	153	50.3	21.6	7.8	9.8	10.5
	6級	139	51.8	26.6	10.1	5.0	6.5
	無回答	84	28.6	22.6	9.5	20.2	19.0
障害の部位別	視覚	144	35.4	29.2	13.9	13.2	8.3
	聴覚・平衡機能	218	49.5	27.5	8.3	8.3	6.4
	音声・言語・そしゃく機能	38	36.8	21.1	7.9	18.4	15.8
	肢体不自由	848	35.7	28.8	13.6	15.7	6.3
	内部障害	468	51.9	28.2	7.1	7.7	5.1
	その他	95	36.8	23.2	14.7	11.6	13.7
	無回答	79	29.1	11.4	10.1	17.7	31.6

(2) 外出時の移動手段

問23 外出の時の移動手段は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



外出時の移動手段では、「自家用車」(57.0%)が最も多く、次いで「タクシー」(31.0%)、「バス」(23.3%)、「徒歩」(22.2%)となっている。

障害の程度別にみると、すべての等級において「自家用車」が最も多いが、1・2級の重度障害者では、他に比べて「タクシー」(1級:33.6%、2級:36.6%)や「車いす」(1級:24.5%、2級:20.9%)の割合が高い。

障害の部位別にみても、すべての障害において「自家用車」が最も多いが、視覚や聴覚・平衡機能、内部障害などでは、他の障害に比べて「バス」や「JR・電車」などの公共交通機関や「徒歩」等の割合が高い。

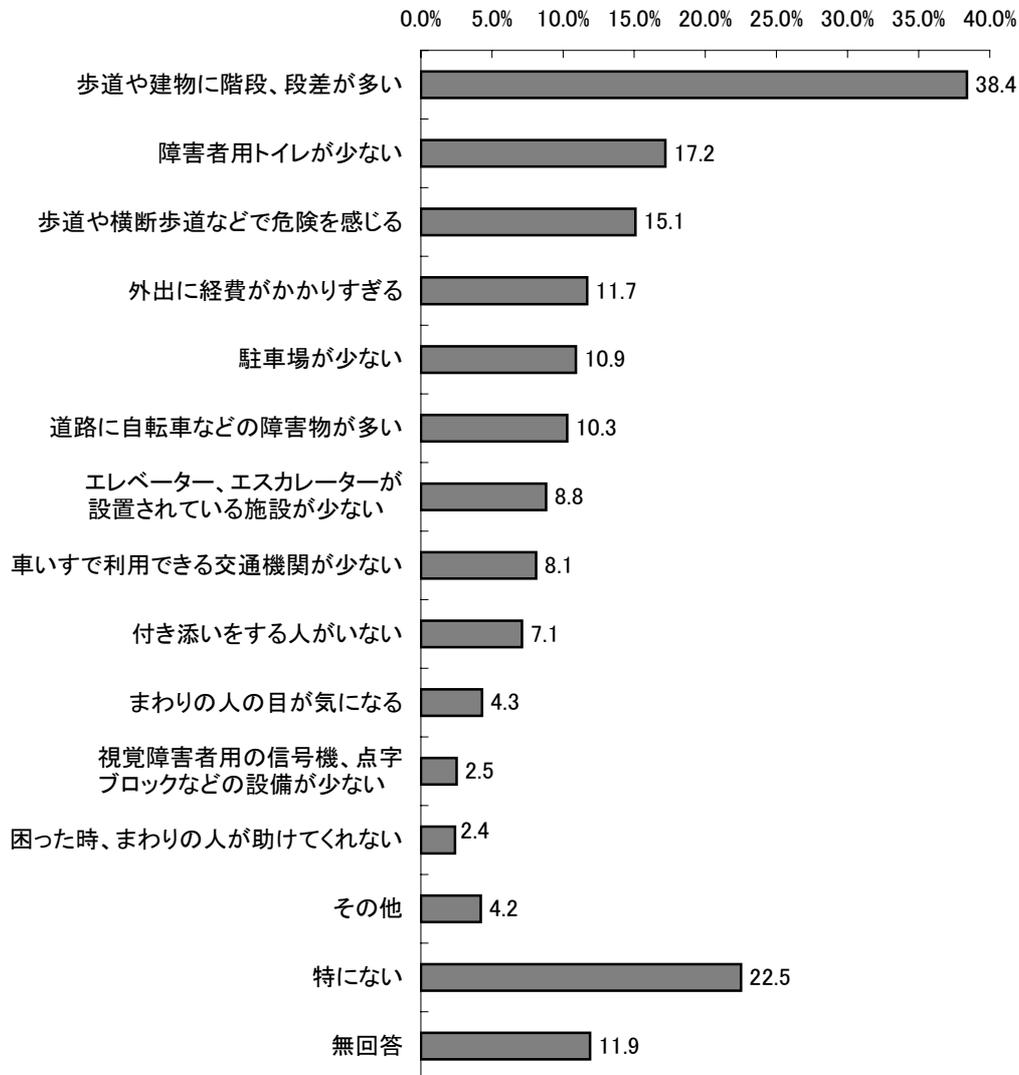
【図表 3-1-62 障害の程度別・障害の部位別 外出時の移動手段】(%)

	調査数 「〇」 (人)	自家用車	タクシー	バス	徒歩	JR・電車	車いす	自転車・バイク	その他	無回答	
全体	1,890	57.0	31.0	23.3	22.2	16.5	14.2	12.3	3.2	5.2	
障害の程度別	1級	548	52.9	33.6	21.0	20.4	15.9	24.5	7.7	5.5	7.3
	2級	344	56.4	36.6	18.3	17.7	12.5	20.9	7.3	2.9	4.1
	3級	288	60.1	27.8	27.1	27.4	19.1	5.9	16.0	2.4	4.2
	4級	334	61.1	29.6	26.9	23.7	18.0	5.7	17.7	1.2	3.0
	5級	153	64.7	24.8	20.9	21.6	18.3	7.8	17.0	2.6	4.6
	6級	139	56.1	26.6	35.3	29.5	21.6	5.8	19.4	2.2	1.4
	無回答	84	47.6	25.0	15.5	17.9	10.7	8.3	9.5	2.4	15.5
障害の部位別	視覚	144	47.2	42.4	34.7	30.6	20.8	7.6	9.0	4.2	3.5
	聴覚・平衡機能	218	50.5	25.2	33.9	35.8	25.2	8.7	22.0	2.8	4.1
	音声・言語・そしゃく機能	38	39.5	13.2	23.7	10.5	5.3	10.5	18.4	-	18.4
	肢体不自由	848	58.5	30.5	17.0	17.6	12.1	21.6	9.2	4.1	4.8
	内部障害	468	64.1	33.8	29.5	27.1	22.4	6.8	15.8	1.7	2.8
	その他	95	57.9	31.6	16.8	10.5	12.6	10.5	7.4	4.2	5.3
	無回答	79	43.0	21.5	11.4	10.1	6.3	12.7	7.6	1.3	22.8

(3) 外出時に不便や困難を感じること

問24 外出するとき、あなたはどのようなことに不便や困難を感じる人が多いですか。
(○は3つまで)

【図表 3-1-63 外出時に不便や困難を感じること】(n=1,890)



外出時に不便や困難を感じることは、「歩道や建物に階段、段差が多い」(38.4%)が最も多く、次いで「障害者用トイレが少ない」(17.2%)、「歩道や横断歩道などで危険を感じる」(15.1%)となっている。また、「特にない」も22.5%を占めている。

障害の程度別にみると、重度の肢体不自由等が多い2級では、他に比べて「歩道や建物に階段、段差が多い」(45.3%)や「障害者用トイレが少ない」(25.3%)、「歩道や横断歩道などで危険を感じる」(18.9%)などのハード面について不便や困難を感じている人の割合が高い。

障害の部位別にみると、視覚では、他に比べて「歩道や建物に階段、段差が多い」(52.1%)や「歩道や横断歩道などで危険を感じる」(31.9%)、「道路に自転車などの障害物が多い」(26.4%)、「視覚障害者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない」(22.9%)の割合が高い。また、肢体不自由では、他に比べて「歩道や建物に階段、段差が多い」(45.9%)や「障害者用トイレが少ない」(25.6%)などの割合が高い。

第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

【図表 3-1-64 障害の程度別・障害の部位別 外出時に不便や困難を感じる事】(%)

	調査数「n」 (人)	歩道や建物の階段、段差が多い	障害者用トイレが少ない	歩道や横断歩道などで危険を感じる	外出に経費がかかりすぎる	駐車場が少ない	道路に自転車などの障害物が多い	エレベーター、エスカレーターが設置されていない	
全体	1,890	38.4	17.2	15.1	11.7	10.9	10.3	8.8	
障害の程度別	1級	548	38.3	15.0	14.6	10.0	11.1	12.6	9.3
	2級	344	45.3	25.3	18.9	13.1	9.3	8.4	11.9
	3級	288	34.7	17.7	13.2	13.2	11.5	10.1	9.7
	4級	334	40.4	16.8	16.5	13.8	11.7	9.6	9.3
	5級	153	34.6	16.3	11.8	7.2	13.7	11.1	7.2
	6級	139	35.3	8.6	14.4	11.5	12.9	10.8	2.9
	無回答	84	27.4	15.5	10.7	11.9	2.4	4.8	1.2
障害の部位別	視覚	144	52.1	10.4	31.9	13.2	2.1	26.4	2.1
	聴覚・平衡機能	218	21.6	6.0	19.3	7.8	6.4	11.5	6.4
	音声・言語・そしゃく機能	38	18.4	21.1	7.9	5.3	10.5	5.3	7.9
	肢体不自由	848	45.9	25.6	14.3	12.4	13.4	7.2	11.4
	内部障害	468	31.4	7.3	12.2	11.3	13.0	11.3	7.9
	その他	95	43.2	23.2	12.6	14.7	9.5	8.4	11.6
	無回答	79	25.3	21.5	5.1	13.9	1.3	10.1	2.5

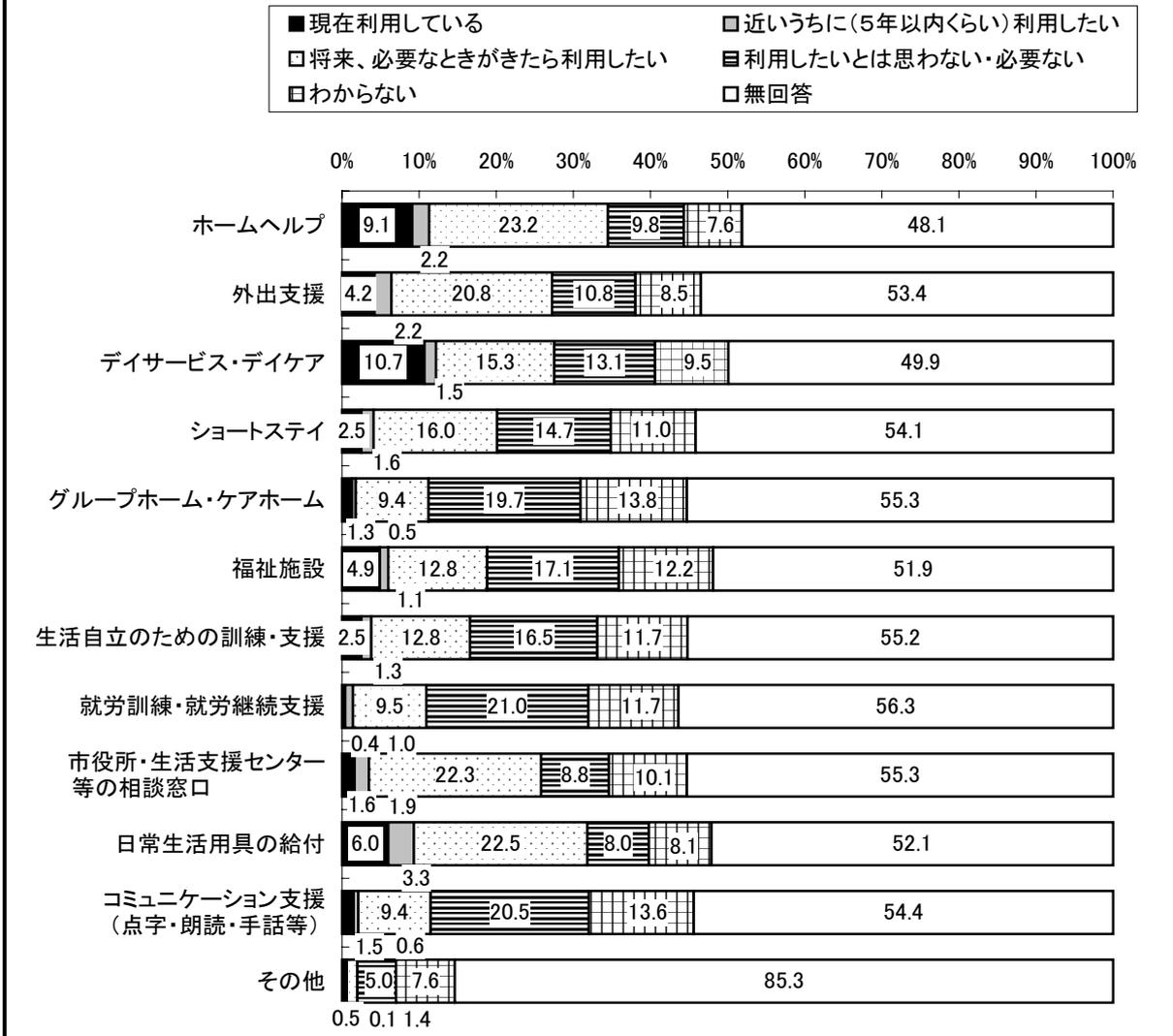
	調査数「n」 (人)	通車機関が利用できない	付き添いをする人がいない	まわりの人の目が気になる	視覚障害者の信号機、点字ブロッケなど設備が少ない	困った時、まわりの人が助けてくれない	その他	特にない	無回答	
全体	1,890	8.1	7.1	4.3	2.5	2.4	4.2	22.5	11.9	
障害の程度別	1級	548	12.8	7.7	3.5	4.4	2.7	4.7	20.1	13.9
	2級	344	10.5	10.2	6.4	3.5	2.6	4.4	14.8	11.3
	3級	288	3.5	6.3	5.6	0.7	1.4	4.2	28.1	9.0
	4級	334	4.2	5.7	3.6	0.9	3.0	3.0	26.0	9.3
	5級	153	6.5	5.2	2.6	1.3	-	3.9	27.5	7.8
	6級	139	3.6	5.0	4.3	0.7	3.6	5.0	27.3	10.8
	無回答	84	9.5	7.1	2.4	3.6	2.4	3.6	19.0	31.0
障害の部位別	視覚	144	3.5	8.3	3.5	22.9	2.8	7.6	10.4	8.3
	聴覚・平衡機能	218	5.0	8.3	5.0	0.9	4.6	6.4	32.6	12.8
	音声・言語・そしゃく機能	38	7.9	-	-	2.6	-	-	39.5	21.1
	肢体不自由	848	11.4	8.7	5.2	0.5	2.2	4.7	15.9	10.3
	内部障害	468	3.6	4.7	1.9	0.9	1.7	2.4	34.6	10.5
	その他	95	11.6	5.3	9.5	1.1	1.1	1.1	20.0	12.6
	無回答	79	11.4	5.1	3.8	2.5	3.8	2.5	10.1	36.7

5. 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの利用状況・利用意向

問25 ①～⑫の福祉サービスについて、あてはまるものにそれぞれ1つだけ○をつけてください。①～④のサービスで「1(現在利用している)」または「2(近いうちに[5年以内くらい]利用したい)」に○をつけた方は、利用している、または利用したいと思うサービス日数や時間数を記入してください。

【図表 3-1-65 福祉サービスの利用状況・利用意向】(n=1,890)



現在実施されている、もしくは、今後、障害者自立支援法により新たに導入される予定の福祉サービスについて、利用状況と利用意向をたずねたが、いずれも半数前後が無回答であった。

利用意向(「近いうちに(5年以内くらい)利用したい」+「将来、必要なときがきたら利用したい」)は、「日常生活用具の給付」(25.8%)や「ホームヘルプ」(25.4%)、「市役所・生活支援センター等の相談窓口」(24.1%)、「外出支援」(23.1%)等の現在実施されている生活支援関連サービスで高い。

一方、「グループホーム・ケアホーム」や「福祉施設」などの施設・居住系サービスや、「生活自立のための訓練・支援」や「就労訓練・就労継続支援」等の未実施サービスについては、「利用したいとは思わない・必要ない」や「わからない」の割合が高い。

第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

年齢別にみると、17歳以下は、他の年齢層に比べて全般的に利用意向が高く、特に「市役所・生活支援センター等の相談窓口」（60.3%）や「就労訓練・就労継続支援」（44.4%）、「外出支援」（44.4%）などで高い。18歳～50歳代では「市役所・生活支援センター等の相談窓口」や「日常生活用具の給付」の利用意向が高く、60歳代以上では「ホームヘルプ」や「日常生活用具の給付」の利用意向が高い。

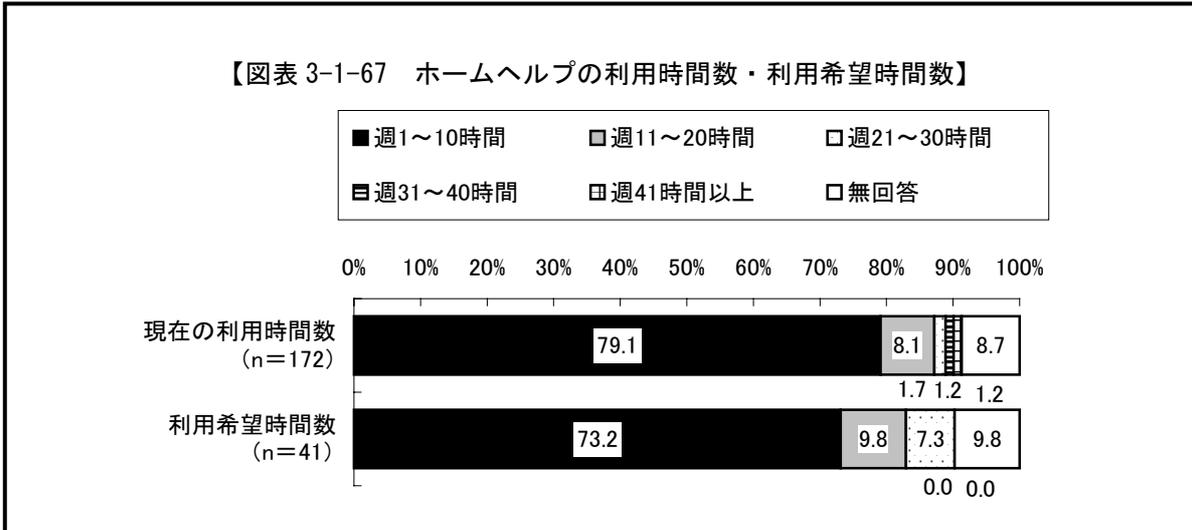
障害の部位別にみると、肢体不自由では、他の障害に比べて全般的に利用意向が高い。また、内部障害では他の障害に比べて「ホームヘルプ」（30.3%）や「デイサービス・デイケア」（20.5%）などの利用意向が高い。

【図表 3-1-66 年齢別・障害の部位別 福祉サービスの利用意向（「近いうちに（5年以内くらい）利用したい」「将来、必要なときがきたら利用したい」の合計値）】（%）

	調査数「n」 （人）	ホームヘルプ	外出支援	デイサービス・デイケア	ショートステイ	グループホーム・ケア	福祉施設	
全体	1,890	25.4	23.1	16.8	17.7	9.9	13.9	
年齢別	17歳以下	63	39.7	44.4	41.3	36.5	25.4	22.2
	18～29歳	40	25.0	20.0	12.5	5.0	12.5	5.0
	30～39歳	64	23.4	23.4	25.0	23.4	12.5	23.4
	40～49歳	73	34.2	34.2	28.8	21.9	15.1	13.7
	50～59歳	242	36.0	36.0	28.1	23.6	14.5	16.5
	60～64歳	185	29.7	26.5	17.3	18.9	14.1	16.8
	65歳以上	1,174	21.9	18.6	12.5	15.3	7.2	12.4
無回答	49	12.2	12.2	6.1	12.2	4.1	10.2	
障害の部位別	視覚	144	25.0	26.4	18.1	20.8	13.9	16.0
	聴覚・平衡機能	218	20.2	16.5	12.4	10.6	8.3	12.8
	音声・言語・そしゃく機能	38	21.1	18.4	10.5	13.2	7.9	7.9
	肢体不自由	848	26.7	26.2	17.8	20.3	11.2	15.6
	内部障害	468	30.3	23.1	20.5	18.4	9.4	14.3
	その他	95	17.9	16.8	8.4	10.5	4.2	6.3
無回答	79	8.9	11.4	7.6	10.1	3.8	5.1	

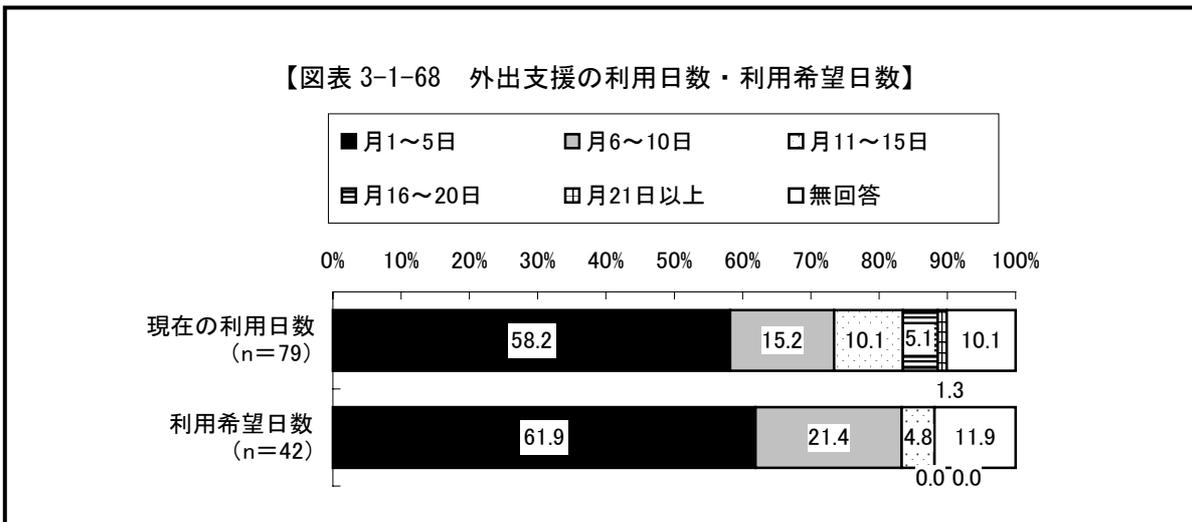
	調査数「n」 （人）	生活自立のための訓練・支援	就労訓練・就労継続支援	市役所・生活支援センター等の相談窓口	日常生活用具の給付	コミュニケーション支援（点字・ケイション・手話等）	その他	無回答	
全体	1,890	14.1	10.5	24.1	25.8	9.9	1.5	55.3	
年齢別	17歳以下	63	41.3	44.4	60.3	39.7	20.6	4.8	25.4
	18～29歳	40	17.5	27.5	40.0	37.5	10.0	2.5	45.0
	30～39歳	64	25.0	34.4	34.4	34.4	20.3	3.1	48.4
	40～49歳	73	27.4	34.2	47.9	49.3	19.2	2.7	38.4
	50～59歳	242	23.1	20.2	38.0	39.3	13.6	0.4	40.1
	60～64歳	185	18.9	14.1	24.9	27.6	10.3	0.5	50.3
	65歳以上	1,174	8.9	3.2	17.1	20.0	7.6	1.4	61.9
無回答	49	4.1	2.0	12.2	18.4	6.1	4.1	71.4	
障害の部位別	視覚	144	11.8	9.7	22.2	27.1	16.7	-	50.0
	聴覚・平衡機能	218	10.1	9.2	19.7	22.9	12.8	0.9	58.3
	音声・言語・そしゃく機能	38	5.3	5.3	18.4	23.7	7.9	7.9	65.8
	肢体不自由	848	17.0	12.3	27.1	29.2	9.2	1.4	52.1
	内部障害	468	15.0	10.3	26.9	24.1	9.4	2.1	54.9
	その他	95	6.3	7.4	11.6	17.9	4.2	-	64.2
無回答	79	6.3	5.1	8.9	15.2	8.9	1.3	77.2	

(2) ホームヘルプの利用状況・利用意向



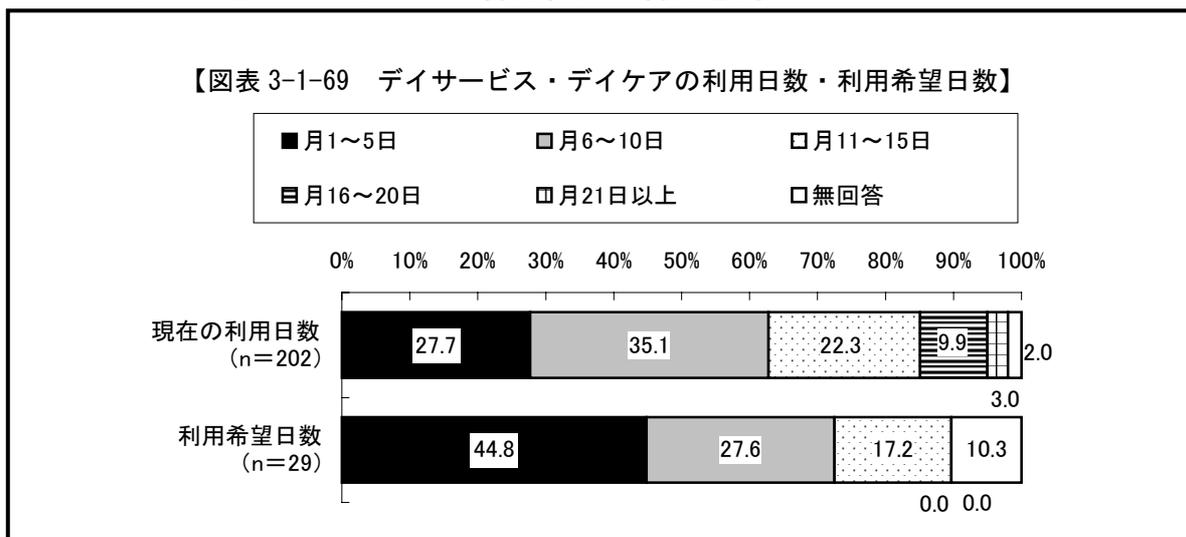
ホームヘルプ利用者の現在の利用時間数は、「週1~10時間」(79.1%)が最も多く、利用希望者の希望時間数でも「週1~10時間」(73.2%)が最も多い。

(3) 外出支援の利用状況・利用意向



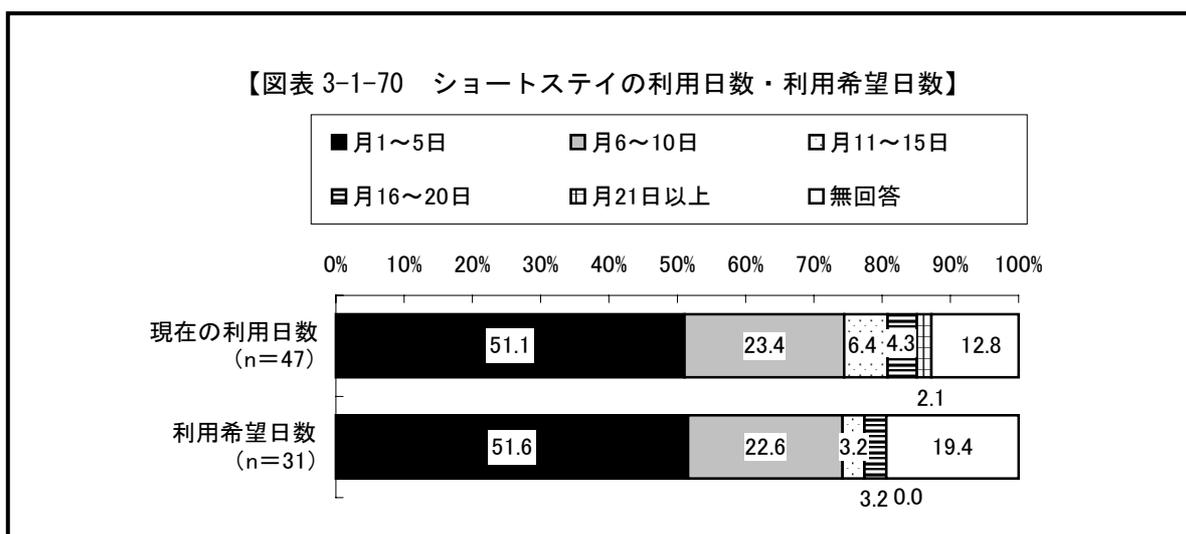
外出支援利用者の現在の利用日数は、「月1~5日」(58.2%)が最も多く、利用希望者の希望日数でも「月1~5日」(61.9%)が最も多い。

(4) デイサービス・デイケアの利用状況・利用意向



通所サービス利用者の現在の利用日数は、「月6～10日」(35.1%)が最も多く、次いで「月1～5日」(27.7%)となっている。利用希望者の希望日数では「月1～5日」(44.8%)が最も多い。

(5) ショートステイの利用状況・利用意向



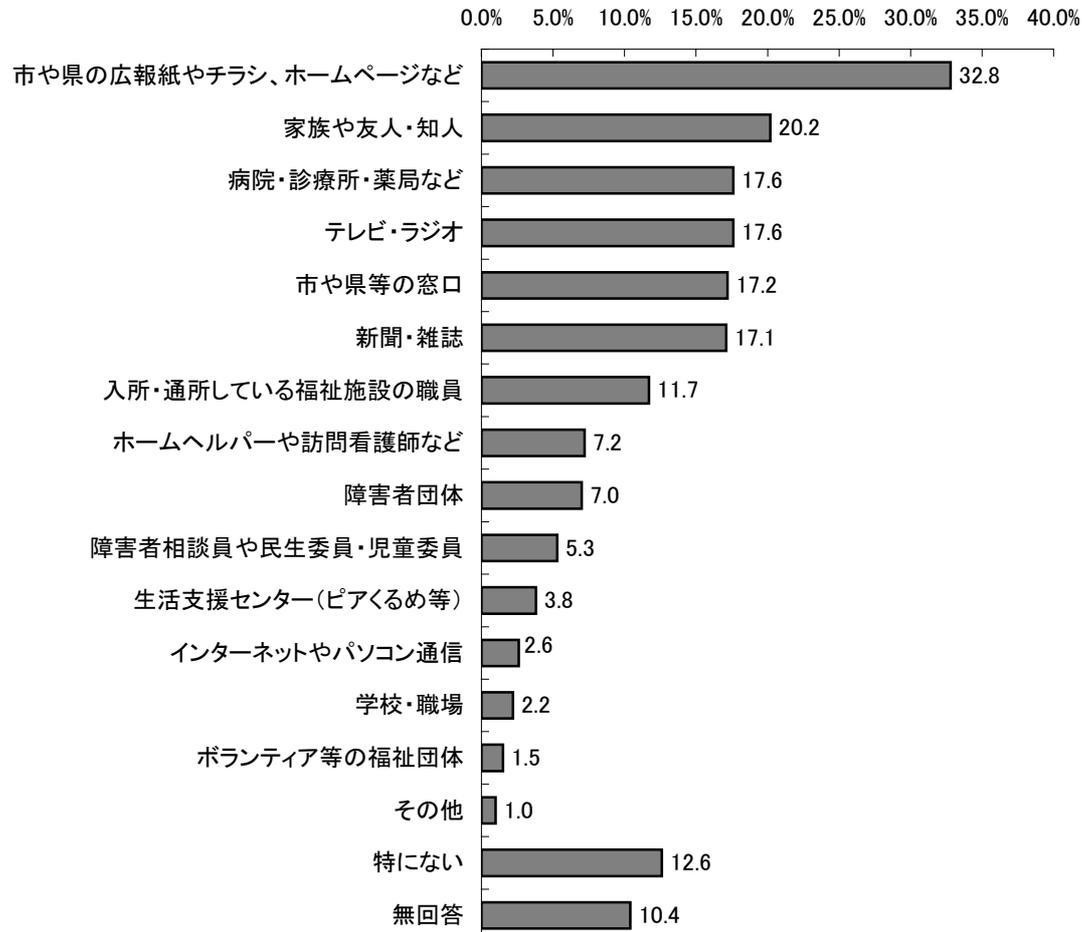
ショートステイ利用者の現在の利用日数は、「月1～5日」(51.1%)が最も多く、利用希望者の希望日数でも「月1～5日」(51.6%)が最も多い。

6. 情報収集について

(1) 福祉に関する情報入手先

問26 福祉サービスや福祉制度の情報をどこから得ていますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-71 福祉に関する情報入手先】(n=1,890)



福祉サービスや福祉制度に関する情報の入手先は、「市や県の広報紙やチラシ、ホームページなど」(32.8%)が最も多く、次いで「家族や友人・知人」(20.2%)、「病院・診療所・薬局など」(17.6%)、「テレビ・ラジオ」(17.6%)となっている。

年齢別にみると、30歳代以下では「家族や友人・知人」が最も多いが、40歳代以上では「市や県の広報紙やチラシ、ホームページなど」が最も多い。また、「生活支援センター(ピアくるめ等)」や「障害者団体」の割合は30・40歳代などで高く、「インターネットやパソコン通信」に割合は18歳～30歳代で高い。

障害の部位別にみると、すべての障害で「市や県の広報紙やチラシ、ホームページなど」が最も多いが、視覚では他の障害に比べて「家族や友人・知人」(29.2%)の割合が高く、肢体不自由では「入所・通所している福祉施設の職員」(16.6%)や「ホームヘルパーや訪問看護師など」(9.9%)の割合が高い。また、内部障害では他の障害に比べて「病院・診療所・薬局など」(25.0%)の割合が高い。

第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

【図表 3-1-72 年齢別・障害の部位別 福祉に関する情報入手先】（％）

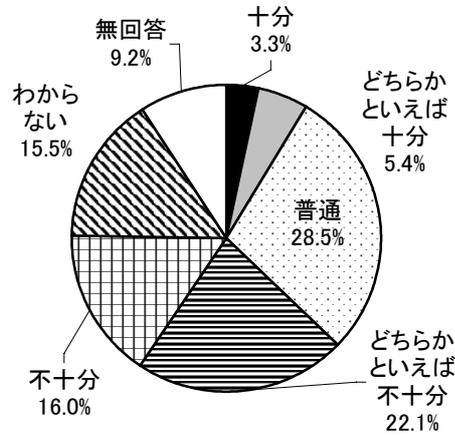
	調査数「n」（人）	市や県の広報紙やチラシ、ホームページなど	家族や友人・知人	病院・診療所・薬局など	テレビ・ラジオ	市や県等の窓口	新聞・雑誌	入所・通所している福祉施設の職員	ホームヘルパーや訪問看護師など	
全 体	1,890	32.8	20.2	17.6	17.6	17.2	17.1	11.7	7.2	
年齢別	17歳以下	63	30.2	50.8	28.6	3.2	30.2	15.9	20.6	9.5
	18～29歳	40	32.5	45.0	17.5	20.0	20.0	22.5	10.0	-
	30～39歳	64	21.9	28.1	7.8	10.9	20.3	12.5	10.9	1.6
	40～49歳	73	45.2	15.1	21.9	16.4	23.3	20.5	8.2	2.7
	50～59歳	242	39.7	14.0	16.1	18.2	17.4	18.2	6.6	3.7
	60～64歳	185	36.2	20.5	15.1	19.5	16.2	21.6	5.4	5.4
	65歳以上	1,174	31.4	19.2	18.1	18.6	16.0	16.4	13.6	9.0
無回答	49	16.3	12.2	14.3	10.2	18.4	8.2	10.2	6.1	
障害の部位別	視覚	144	33.3	29.2	10.4	19.4	16.7	11.8	10.4	5.6
	聴覚・平衡機能	218	28.0	22.5	11.5	14.7	17.9	20.2	8.7	2.8
	音声・言語・そしゃく機能	38	26.3	7.9	10.5	15.8	13.2	21.1	7.9	7.9
	肢体不自由	848	34.3	21.3	16.7	17.8	16.6	17.3	16.6	9.9
	内部障害	468	37.2	17.5	25.0	18.4	20.5	18.8	4.9	4.5
	その他	95	29.5	13.7	14.7	21.1	12.6	14.7	12.6	6.3
無回答	79	8.9	15.2	20.3	11.4	11.4	6.3	10.1	11.4	

	調査数「n」（人）	障害者団体	障害者相談員や民生委員・児童委員	生活支援センター（ピアくるめ等）	インターネットやパソコン通信	学校・職場	ボランティア等の福祉団体	その他	特にない	無回答	
全 体	1,890	7.0	5.3	3.8	2.6	2.2	1.5	1.0	12.6	10.4	
年齢別	17歳以下	63	12.7	-	4.8	6.3	30.2	-	1.6	4.8	3.2
	18～29歳	40	5.0	5.0	7.5	20.0	12.5	5.0	2.5	22.5	-
	30～39歳	64	12.5	6.3	12.5	10.9	4.7	-	-	25.0	-
	40～49歳	73	12.3	-	9.6	8.2	5.5	-	1.4	16.4	1.4
	50～59歳	242	9.5	2.9	2.5	3.7	2.1	2.1	1.2	18.6	6.2
	60～64歳	185	8.1	4.3	2.7	2.7	1.1	1.1	-	16.2	8.6
	65歳以上	1,174	5.5	6.6	3.3	0.9	0.3	1.5	1.0	9.9	12.9
無回答	49	6.1	4.1	2.0	2.0	-	4.1	-	14.3	22.4	
障害の部位別	視覚	144	9.7	4.2	4.2	2.1	1.4	2.1	2.8	11.1	9.0
	聴覚・平衡機能	218	6.9	6.9	4.1	3.7	3.7	1.8	0.5	17.0	12.8
	音声・言語・そしゃく機能	38	5.3	-	5.3	2.6	2.6	5.3	-	10.5	21.1
	肢体不自由	848	5.8	5.9	4.4	3.2	2.0	1.4	1.3	12.4	8.7
	内部障害	468	9.4	4.3	2.4	1.7	2.6	0.6	0.2	12.2	8.8
	その他	95	5.3	6.3	5.3	2.1	1.1	1.1	1.1	14.7	11.6
無回答	79	3.8	5.1	2.5	1.3	1.3	5.1	-	6.3	27.8	

(2) 福祉に関する情報の入手状況

問27 福祉に関する情報を十分に入手できていますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-73 福祉に関する情報の入手状況】(n=1,890)



福祉に関する情報を十分に入手できているかについては、「普通」(28.5%)が最も多く、次いで「どちらかといえば不十分」(22.1%)、「不十分」(16.0%)となっている。情報が十分に入手できていないと感じている人(「どちらかといえば不十分」+「不十分」)は38.1%と4割弱を占めており、情報を十分に入手できていると感じている人(「十分」+「どちらかといえば十分」)の8.7%を大きく上回っている。

年齢別にみると、情報が十分に入手できていないと感じている人(「どちらかといえば不十分」+「不十分」)の割合は、17歳以下(66.6%)や30歳代(57.9%)で6割前後と高く、特に「不十分」がそれぞれ3割を超えて高い(17歳以下:33.3%、30歳代:31.3%)。

障害の部位別にみると、情報が十分に入手できていないと感じている人(「どちらかといえば不十分」+「不十分」)の割合は、視覚(43.1%)や肢体不自由(40.7%)で高く、4割を超えている。

【図表 3-1-74 年齢別・障害の部位別 福祉に関する情報の入手状況】(%)

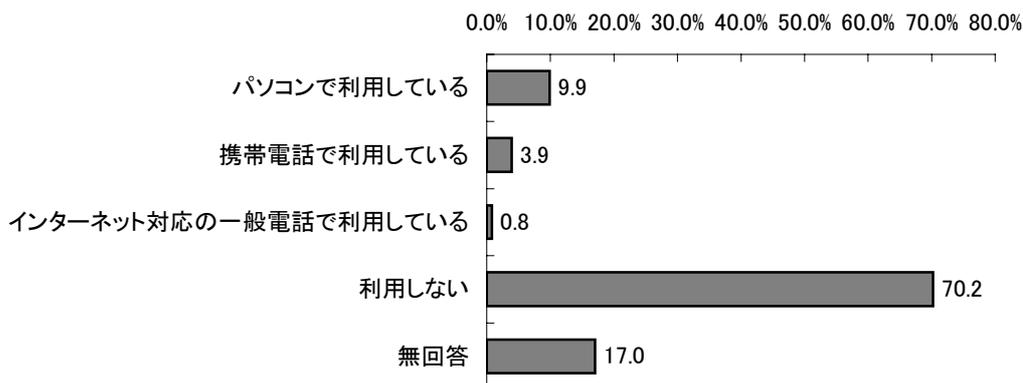
	調査数「n」 (人)	十分	どちらか といえば 十分	普通	分 ど ち ら か と い え ば 不 十 分	不 十 分	わ か ら な い	無 回 答	
全 体	1,890	3.3	5.4	28.5	22.1	16.0	15.5	9.2	
年 齢 別	17歳以下	63	1.6	1.6	19.0	33.3	33.3	7.9	3.2
	18～29歳	40	-	12.5	27.5	17.5	27.5	15.0	-
	30～39歳	64	1.6	3.1	25.0	26.6	31.3	12.5	-
	40～49歳	73	1.4	8.2	26.0	23.3	24.7	13.7	2.7
	50～59歳	242	1.7	3.3	24.4	27.3	17.8	20.7	5.0
	60～64歳	185	1.6	4.3	25.4	26.5	18.4	15.7	8.1
	65歳以上	1,174	4.3	5.8	30.8	20.0	12.7	15.1	11.2
	無回答	49	2.0	10.2	26.5	10.2	14.3	16.3	20.4
障 害 の 部 位 別	視覚	144	2.8	2.1	28.5	25.7	17.4	16.0	7.6
	聴覚・平衡機能	218	4.6	5.0	26.6	18.8	13.8	21.1	10.1
	音声・言語・そしゃく機能	38	2.6	5.3	26.3	21.1	7.9	21.1	15.8
	肢体不自由	848	2.5	5.7	28.8	22.3	18.4	14.9	7.5
	内部障害	468	3.8	6.0	29.9	24.1	14.3	13.9	7.9
	その他	95	6.3	6.3	27.4	18.9	11.6	17.9	11.6
	無回答	79	2.5	6.3	25.3	13.9	13.9	10.1	27.8

(3) インターネットの利用状況・利用内容

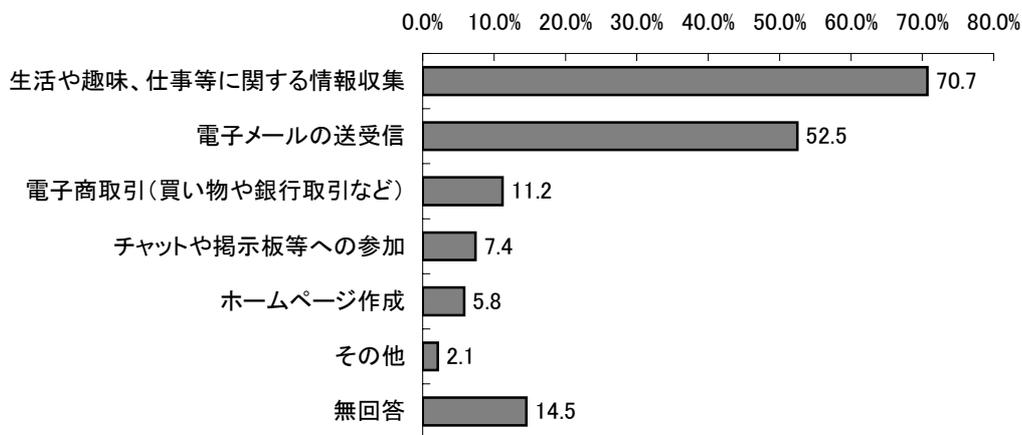
問28 家庭や職場などでインターネットを利用することがありますか。(○はあてはまるものすべて)

問28-1 (問28で1~3のいずれかを選んだ方のみお答えください) インターネットをどのようなことに利用していますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-75 インターネットの利用状況】(n=1,890)



【図表 3-1-76 インターネットの利用内容】(n=242)



インターネットの利用状況は、「利用しない」(70.2%)が7割を占めて最も多く、次いで「パソコンで利用している」(9.9%)となっている。

また、インターネットの利用内容は、「生活や趣味、仕事等に関する情報収集」(70.7%)が最も多く、次いで「電子メールの送受信」(52.5%)となっている。

年齢別にみると、18~30歳代では「パソコンで利用している」や「携帯電話で利用している」の割合が高く、他の年代に比べてインターネットを利用している人が多いことがわかる。

【図表 3-1-77 年齢別・障害の部位別 インターネットの利用状況】（%）

		調査数「n」 （人）	パソコンで 利用して	携帯電話で 利用して	インターネット 電話で利用対 応	利用しない	無回答
全体		1,890	9.9	3.9	0.8	70.2	17.0
年齢別	17歳以下	63	41.3	6.3	-	50.8	4.8
	18～29歳	40	52.5	20.0	2.5	37.5	-
	30～39歳	64	37.5	20.3	-	48.4	6.3
	40～49歳	73	34.2	11.0	1.4	56.2	4.1
	50～59歳	242	19.0	5.8	-	71.9	6.6
	60～64歳	185	7.0	1.6	-	77.3	14.6
	65歳以上	1,174	2.7	1.9	1.2	73.3	21.3
	無回答	49	-	2.0	-	59.2	38.8
障害の 部位別	視覚	144	5.6	2.8	1.4	79.2	11.8
	聴覚・平衡機能	218	11.5	3.7	0.5	68.8	18.3
	音声・言語・そしゃく機能	38	2.6	-	-	65.8	31.6
	肢体不自由	848	11.3	3.9	1.1	71.3	14.2
	内部障害	468	10.7	4.3	0.4	70.9	15.6
	その他	95	4.2	6.3	1.1	66.3	23.2
	無回答	79	3.8	2.5	1.3	46.8	48.1

【図表 3-1-78 年齢別・障害の部位別 インターネットの利用内容】（%）

		調査数「n」 （人）	生活や趣味、 仕事等に 関する情報 収集	電子 メールの送 受信	電子商取引 （買い物や 銀行取引な ど）	チャットや 掲示板等へ の参加	ホームペ ージ作成	その他	無回答
全体		242	70.7	52.5	11.2	7.4	5.8	2.1	14.5
年齢別	17歳以下	28	78.6	39.3	3.6	10.7	-	3.6	14.3
	18～29歳	25	80.0	64.0	20.0	24.0	12.0	4.0	-
	30～39歳	29	89.7	69.0	13.8	10.3	3.4	-	3.4
	40～49歳	29	86.2	58.6	10.3	3.4	-	-	3.4
	50～59歳	52	78.8	63.5	19.2	1.9	5.8	-	3.8
	60～64歳	15	73.3	66.7	-	6.7	13.3	-	6.7
	65歳以上	63	41.3	31.7	6.3	4.8	7.9	4.8	39.7
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0
障害の 部位別	視覚	13	53.8	61.5	15.4	7.7	-	-	30.8
	聴覚・平衡機能	28	71.4	71.4	7.1	10.7	14.3	-	-
	音声・言語・そしゃく機能	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	肢体不自由	123	71.5	49.6	14.6	7.3	5.7	2.4	17.1
	内部障害	63	71.4	50.8	6.3	7.9	1.6	3.2	11.1
	その他	10	80.0	40.0	10.0	-	10.0	-	10.0
	無回答	4	50.0	25.0	-	-	25.0	-	50.0

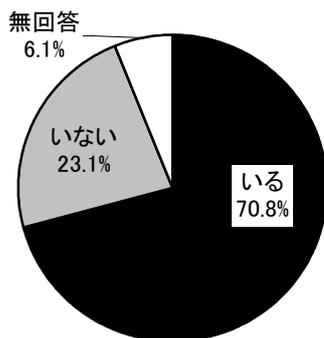
7. 災害対策について

(1) 災害時に頼れる人

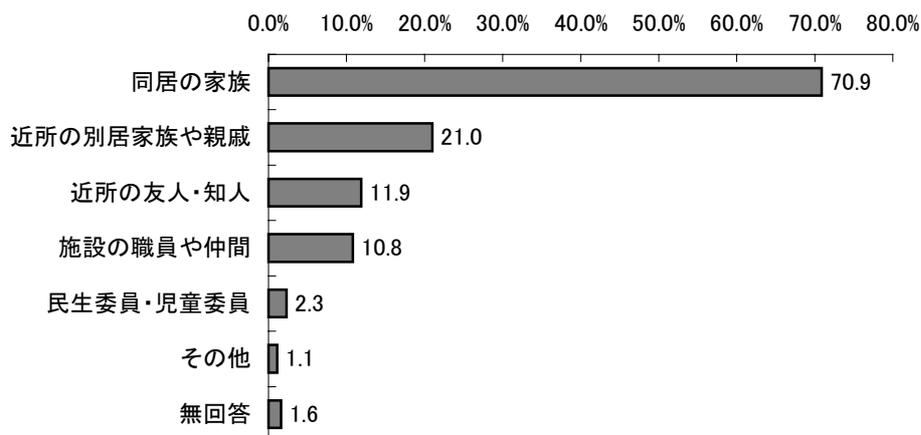
問29 地震や台風等の大きな災害が起きた場合に、安全の確保などで頼れる人が身近にいますか。

問29-1 (問29で「1.いる」と答えた方のみお答えください) それはどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-79 災害時に頼れる人の有無】(n=1,890)



【図表 3-1-80 災害時に頼れる人】(n=1,339)



回答者の7割(70.8%)は災害時に頼れる人がおり、その内訳では「同居の家族」(70.9%)が最も多く、次いで「近所の別居家族や親戚」(21.0%)などの家族・親族が上位を占めている。

在宅生活者の家族構成別にみると、一人暮らしでは、災害時に頼れる人がいない人(48.1%)の割合が高く、いる人(46.0%)を上回っている。

また、具体的に頼れる人では「近所の別居家族や親戚」(52.9%)といった家族・親族のほか、「近所の友人・知人」(40.2%)や「民生委員・児童委員」(16.1%)などの割合が高い。

【図表 3-1-81 家族構成別（在宅生活者のみ） 災害時に頼れる人の有無】（%）

		調査数 「n」 (人)	いる	いない	無回答
全 体		1,681	70.3	24.1	5.7
家 族 構 成 別	一人暮らし	189	46.0	48.1	5.8
	夫婦のみ	495	69.3	26.5	4.2
	父母等の家族と同居	859	77.8	18.5	3.7
	家族以外の人と同居	10	70.0	30.0	-
	無回答	128	59.4	16.4	24.2

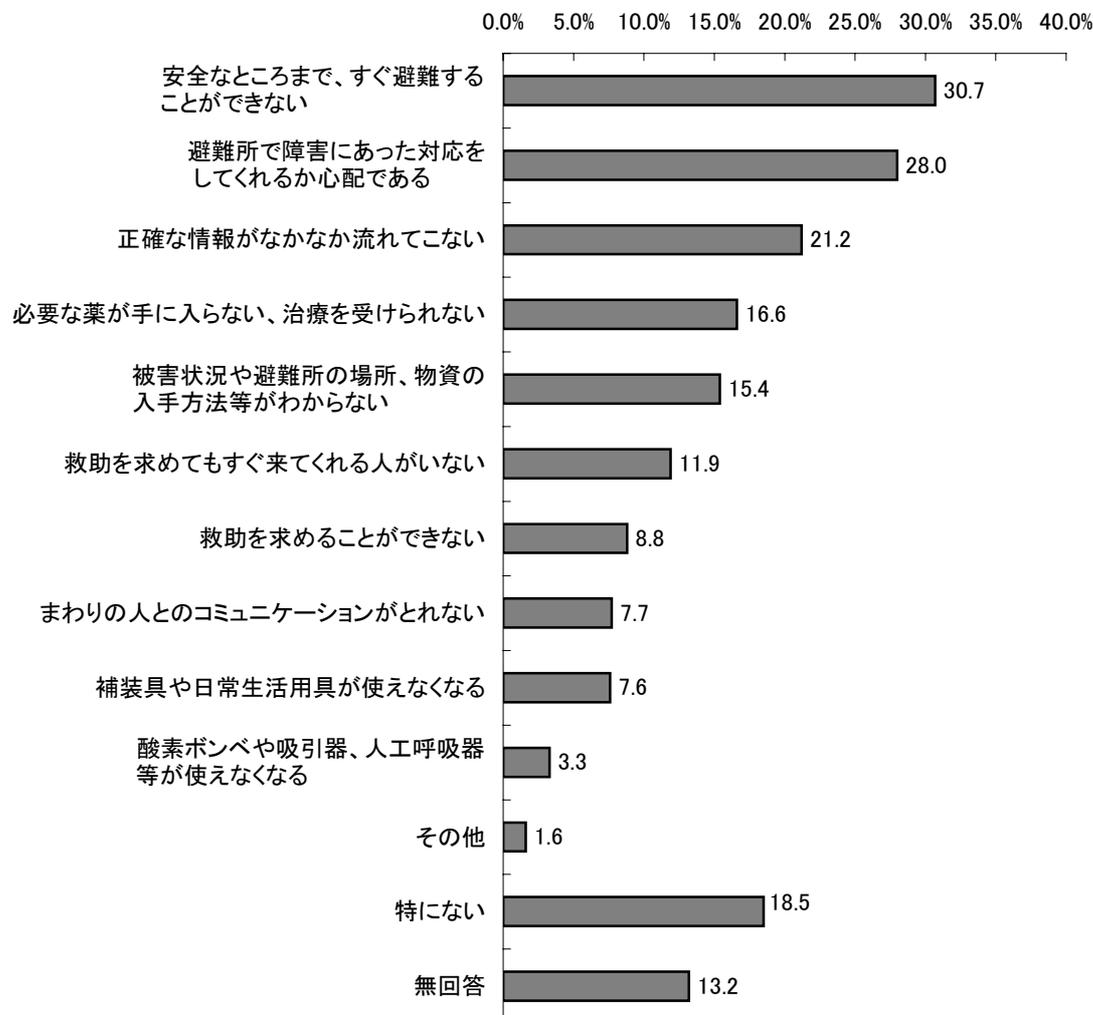
【図表 3-1-82 家族構成別（在宅生活者のみ） 災害時に頼れる人】（%）

		調査数 「n」 (人)	同居の 家族	近所 の別居 家族や 親戚	近所 の友人・ 知人	施設 の職員 や仲間	民生 委員・ 児童 委員	その他	無 回答
全 体		1,181	78.2	22.4	13.4	2.0	2.5	1.3	1.6
家 族 構 成 別	一人暮らし	87	-	52.9	40.2	2.3	16.1	3.4	4.6
	夫婦のみ	343	74.9	27.4	12.2	0.6	2.0	0.6	1.2
	父母等の家族と同居	668	91.0	17.7	11.2	1.2	0.9	0.9	1.5
	家族以外の人と同居	7	42.9	-	14.3	28.6	-	14.3	-
	無回答	76	72.4	7.9	6.6	13.2	3.9	3.9	1.3

(2) 災害時に心配なこと

問30 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(○は3つまで)

【図表 3-1-83 災害時に心配なこと】(n=1,890)



災害が起きた場合に心配なことは、「安全なところまで、すぐ避難することができない」(30.7%)が最も多く、次いで「避難所で障害にあった対応をしてくれるか心配である」(28.0%)、「正確な情報がなかなか流れてこない」(21.2%)となっている。

障害の部位別にみると、視覚や肢体不自由では、他の障害に比べて「安全なところまで、すぐ避難することができない」(視覚：36.8%、肢体不自由：40.6%)の割合が高く、聴覚・平衡機能や音声・言語・そしゃく機能では「まわりの人とのコミュニケーションがとれない」(聴覚・平衡機能：20.2%、音声・言語・そしゃく機能：21.1%)の割合が高い。また、内部障害では「必要な薬が手に入らない、治療を受けられない」(27.6%)の割合が高い。

在宅生活者の家族構成別にみると、一人暮らしでは、他の世帯に比べて「安全なところまで、すぐ避難することができない」(36.5%)や「救助を求めてもすぐ来てくれる人がいない」(25.9%)、「救助を求めることができない」(18.0%)などの割合が高く、避難に関する不安感が特に強いことがわかる。

【図表 3-1-84 障害の部位別・家族構成別（在宅生活者のみ） 災害時に心配なこと】（％）

	調査数「n」（人）	ながい 不安 な 難 す る こ と が で き ず	配 対 で あ る	避 難 所 を し て 障 害 に あ つ た	流 正 れ て こ な い	い い 、 必 要 な 治 療 を 受 け ら れ な	が わ か ら な い	所 、 被 害 状 況 や 入 手 方 法 等	て 救 助 を 求 め て い ま す か
全 体	1,890	30.7	28.0	21.2	16.6	15.4	11.9		
障害の部位別	視覚	144	36.8	22.9	25.0	10.4	18.1	11.8	
	聴覚・平衡機能	218	17.0	24.3	25.2	11.5	18.3	10.6	
	音声・言語・そしゃく機能	38	21.1	15.8	21.1	13.2	5.3	10.5	
	肢体不自由	848	40.6	31.3	17.9	14.6	14.5	13.8	
	内部障害	468	19.7	27.6	25.6	27.6	17.5	9.2	
	その他	95	32.6	30.5	18.9	12.6	10.5	9.5	
家族構成別	無回答	79	19.0	19.0	15.2	5.1	10.1	13.9	
	一人暮らし	189	36.5	26.5	16.4	18.0	17.5	25.9	
	夫婦のみ	495	31.5	31.9	23.6	17.6	14.7	11.7	
	父母等の家族と同居	859	29.1	28.2	22.9	17.8	17.1	9.3	
	家族以外の人と同居	10	20.0	20.0	40.0	-	10.0	10.0	
無回答	128	21.1	14.8	17.2	8.6	10.9	8.6		

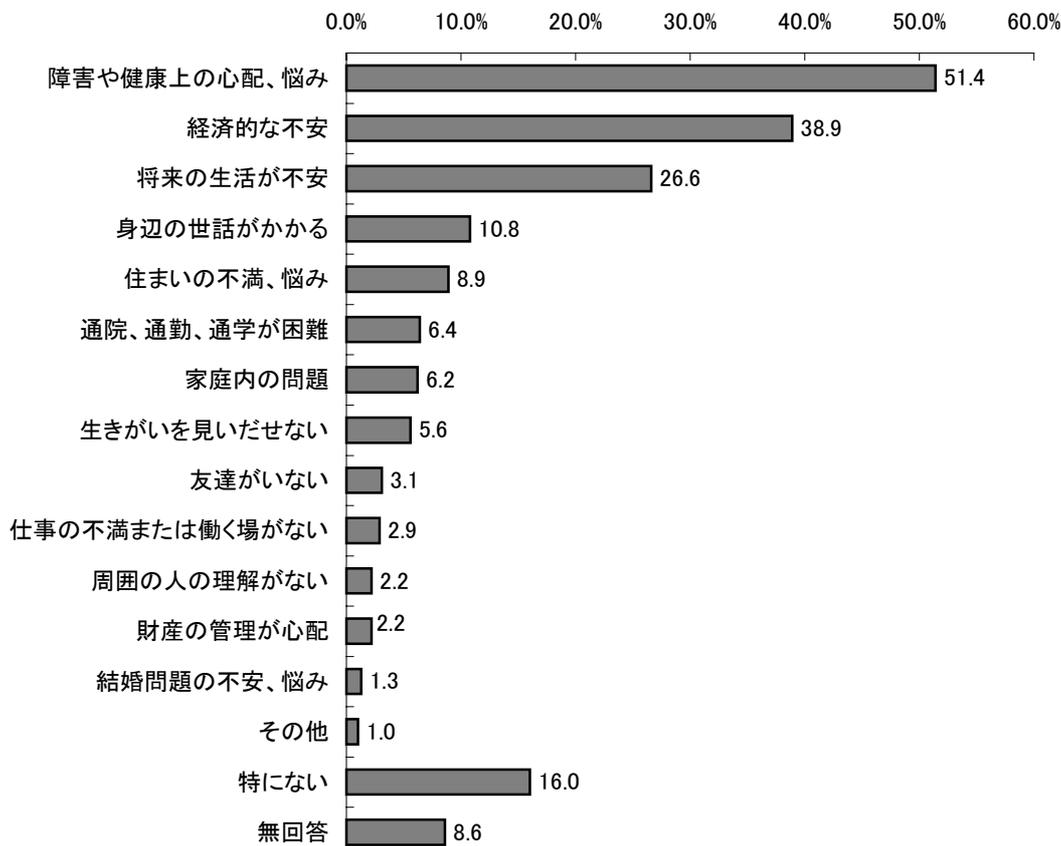
	調査数「n」（人）	き 救 助 を 求 め る こ と が で き ず	い ニ ケ わ り シ の ヨ ン と の コ ミ ユ ニ テ	が 補 装 具 や 日 常 生 活 用 具 が 使 え な く な る	く 人 工 呼 吸 器 等 が 使 え な い	酸 素 ボ ン ベ や 吸 引 器 、 そ の 他	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	1,890	8.8	7.7	7.6	3.3	1.6	18.5	13.2	
障害の部位別	視覚	144	11.1	4.9	2.1	-	2.1	23.6	13.9
	聴覚・平衡機能	218	9.2	20.2	9.2	0.5	4.1	22.0	11.9
	音声・言語・そしゃく機能	38	10.5	21.1	10.5	5.3	-	15.8	18.4
	肢体不自由	848	10.0	6.3	9.2	2.1	0.8	18.2	11.2
	内部障害	468	5.8	4.9	6.6	8.1	2.4	18.2	10.7
	その他	95	9.5	4.2	4.2	2.1	1.1	16.8	20.0
家族構成別	無回答	79	6.3	8.9	3.8	2.5	-	8.9	40.5
	一人暮らし	189	18.0	7.9	5.3	2.1	2.6	14.3	12.7
	夫婦のみ	495	6.7	5.9	7.9	3.4	1.2	17.6	11.5
	父母等の家族と同居	859	8.0	8.3	7.2	3.8	1.6	21.2	10.0
	家族以外の人と同居	10	10.0	-	-	-	10.0	20.0	20.0
無回答	128	3.1	3.9	6.3	1.6	0.8	18.0	33.6	

8. 生活全般について

(1) 困っていることや将来に対する不安・悩み

問3 1 現在の生活の中で困っていることや、将来に対する不安・悩みなどがありますか。
(○は3つまで)

【図表 3-1-85 困っていることや将来に対する不安・悩み】(n=1,890)



現在の生活の中で困っていることや将来に対する不安・悩みは、「障害や健康上の心配、悩み」(51.4%)が最も多く、次いで「経済的な不安」(38.9%)、「将来の生活が不安」(26.6%)となっている。

年齢別にみても、すべての年齢層で「経済的な不安」「障害や健康上の心配、悩み」「将来の生活が不安」の3項目が上位を占めているが、30歳代以下では40歳代以上に比べて「仕事の不満または働く場がない」や「結婚問題の不安、悩み」の割合が高くなっている。また、50歳代では「住まいの不満、悩み」(13.2%)の割合が高く、1割を超えている。

障害の程度別にみると、いずれの場合においても「障害や健康上の心配、悩み」が最も多いが、この割合は重度障害者で特に高い(1級:54.9%、2級:57.3%)。

障害の部位別にみると、いずれの障害においても「障害や健康上の心配、悩み」が最も多いが、音声・言語・そしゃく機能では、他の障害に比べて「周囲の人の理解がない」(10.5%)の割合が高く、1割を超えている。

【図表 3-1-86 年齢別・障害の程度別・障害の部位別 困っていることや将来に対する不安・悩み (%)】

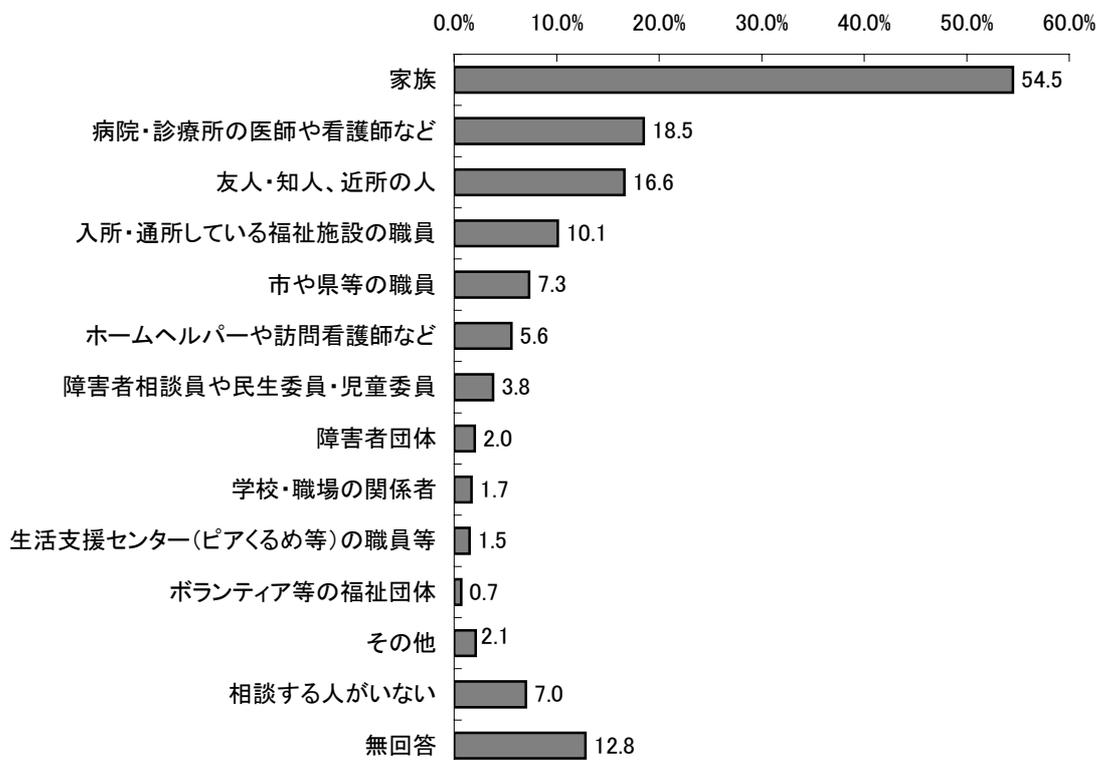
		調査数「n」(人)	障害や健康上の心配、悩み	経済的な不安	将来の生活が不安	身辺の世話がかる	住まいの不満、悩み	通院、通勤、通学が困難	家庭内の問題	生きがいを見いだせない
全体		1,890	51.4	38.9	26.6	10.8	8.9	6.4	6.2	5.6
年齢別	17歳以下	63	47.6	38.1	44.4	17.5	7.9	12.7	1.6	1.6
	18～29歳	40	47.5	45.0	57.5	15.0	7.5	-	2.5	5.0
	30～39歳	64	35.9	59.4	37.5	3.1	9.4	1.6	7.8	6.3
	40～49歳	73	56.2	47.9	31.5	5.5	8.2	2.7	8.2	4.1
	50～59歳	242	62.4	54.1	38.4	5.4	13.2	7.0	5.0	3.7
	60～64歳	185	52.4	57.3	35.1	8.1	9.7	3.2	5.9	9.7
	65歳以上	1,174	50.6	31.7	20.6	12.5	8.2	7.2	6.6	5.6
	無回答	49	32.7	22.4	10.2	12.2	4.1	6.1	10.2	6.1
障害の程度別	1級	548	54.9	41.4	29.4	13.9	8.2	7.5	4.7	6.4
	2級	344	57.3	40.7	28.5	13.4	11.9	7.0	6.1	3.8
	3級	288	49.7	41.3	24.7	7.3	6.9	8.0	6.9	7.3
	4級	334	52.1	35.0	28.1	7.8	10.2	5.4	6.0	4.5
	5級	153	41.8	34.6	20.9	8.5	9.2	4.6	9.2	3.3
	6級	139	44.6	44.6	25.2	9.4	7.9	2.9	7.2	9.4
	無回答	84	35.7	20.2	14.3	10.7	3.6	4.8	8.3	4.8
障害の部位別	視覚	144	54.2	41.0	26.4	8.3	8.3	6.3	7.6	7.6
	聴覚・平衡機能	218	43.6	33.0	28.4	11.9	6.9	3.2	9.6	5.5
	音声・言語・そしゃく機能	38	50.0	34.2	31.6	10.5	2.6	-	2.6	-
	肢体不自由	848	52.9	40.6	28.1	14.0	10.6	8.0	6.6	6.3
	内部障害	468	54.1	42.5	25.6	6.2	7.7	5.6	3.4	6.0
	その他	95	53.7	33.7	22.1	8.4	9.5	7.4	7.4	-
無回答	79	32.9	20.3	15.2	7.6	6.3	5.1	7.6	2.5	

		調査数「n」(人)	友達がいない	仕事的不满または働く場がない	周囲の人の理解がない	財産の管理が心配	結婚問題の不安、悩み	その他	特にな	無回答
全体		1,890	3.1	2.9	2.2	2.2	1.3	1.0	16.0	8.6
年齢別	17歳以下	63	-	9.5	3.2	-	6.3	-	17.5	6.3
	18～29歳	40	2.5	10.0	-	5.0	10.0	2.5	10.0	2.5
	30～39歳	64	3.1	9.4	1.6	-	7.8	1.6	12.5	7.8
	40～49歳	73	1.4	8.2	11.0	2.7	2.7	1.4	12.3	4.1
	50～59歳	242	3.3	7.9	1.7	1.7	1.7	0.4	10.7	3.3
	60～64歳	185	2.7	2.7	2.7	2.2	0.5	0.5	12.4	5.9
	65歳以上	1,174	3.4	0.3	1.7	2.5	0.3	1.2	18.2	9.9
	無回答	49	4.1	8.2	4.1	-	4.1	-	14.3	28.6
障害の程度別	1級	548	2.6	2.2	1.6	1.5	0.9	1.1	12.4	8.8
	2級	344	4.1	2.6	3.2	2.0	0.9	1.2	12.2	6.1
	3級	288	2.8	3.1	2.1	2.8	2.8	1.0	19.8	5.9
	4級	334	4.2	2.7	2.7	3.0	1.2	0.6	17.7	8.4
	5級	153	0.7	3.3	1.3	0.7	0.7	1.3	20.3	13.1
	6級	139	4.3	4.3	2.2	3.6	1.4	0.7	22.3	3.6
	無回答	84	2.4	4.8	2.4	2.4	2.4	1.2	16.7	27.4
障害の部位別	視覚	144	4.9	4.2	2.1	1.4	1.4	0.7	12.5	9.7
	聴覚・平衡機能	218	5.5	2.8	3.2	2.3	2.3	0.5	20.6	6.9
	音声・言語・そしゃく機能	38	2.6	-	10.5	7.9	-	2.6	21.1	2.6
	肢体不自由	848	2.7	3.1	2.4	2.5	1.4	1.3	14.4	6.8
	内部障害	468	2.6	2.8	1.1	1.3	1.1	0.6	17.1	7.1
	その他	95	2.1	-	1.1	2.1	-	-	21.1	14.7
無回答	79	2.5	3.8	2.5	2.5	1.3	2.5	11.4	34.2	

(2) 困っていることや将来に対する不安・悩みの相談先

問3 2 生活の中で困っていることや、将来に対する不安や悩みを誰（どこ）に相談していますか。（○はあてはまるものすべて）

【図表 3-1-87 困っていることや将来に対する不安・悩みの相談先】（n=1,890）



困っていることや将来に対する不安・悩みの相談先は、「家族」（54.5%）が最も多く、次いで「病院・診療所の医師や看護師など」（18.5%）、「友人・知人、近所の人」（16.6%）となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層において「家族」「病院・診療所の医師や看護師など」「友人・知人、近所の人」が上位を占めている。17歳以下では他の年齢層に比べて「入所・通所している福祉施設の職員」（22.2%）や「学校・職場の関係者」（27.0%）の割合が高い。また、18歳～50歳代では「相談する人がいない」が1割を超えている。

在宅生活者の家族構成別にみると、一人暮らしでは、他の世帯に比べて「家族」（28.6%）の割合が低く、「友人・知人、近所の人」（23.3%）や「市や県等の職員」（11.6%）、「ホームヘルパーや訪問看護師など」（11.1%）などの割合が高い。

【図表 3-1-88 年齢別・家族構成別（在宅生活者のみ）

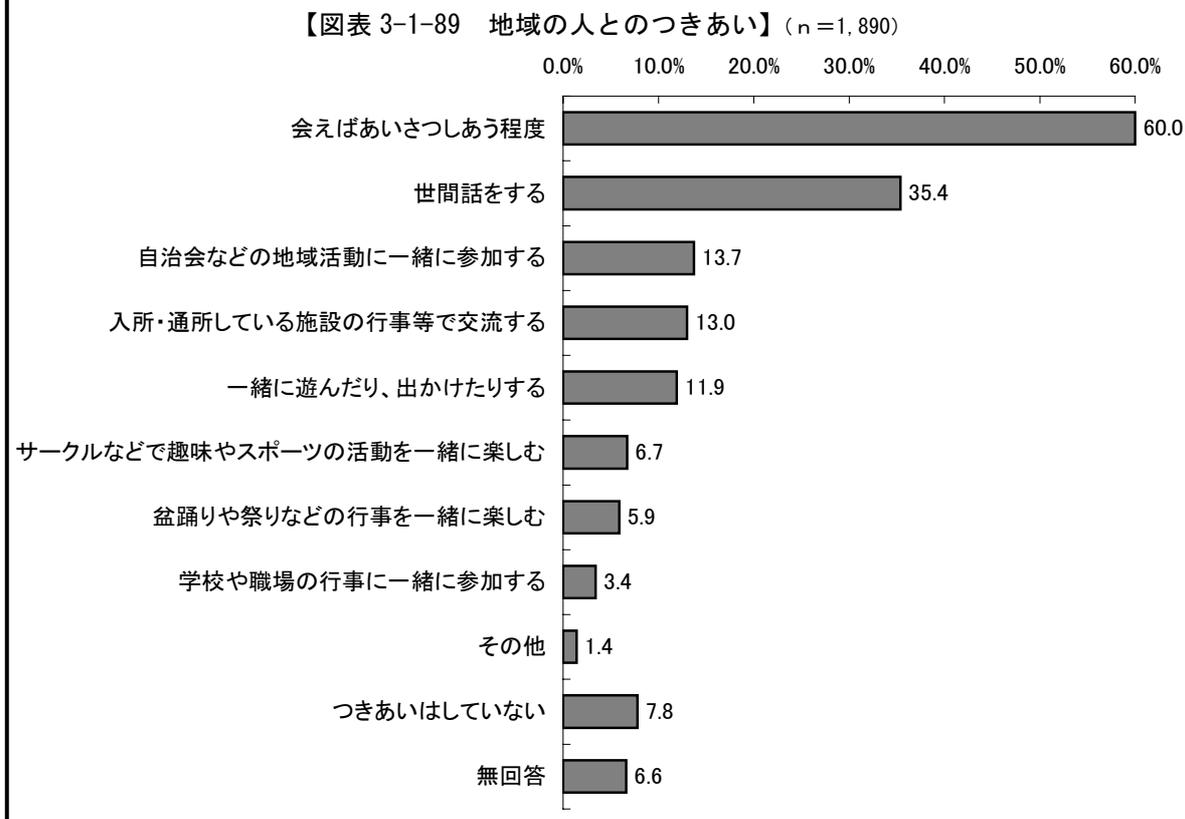
困っていることや将来に対する不安・悩みの相談先】（%）

	調査数「n」（人）	家族	看病院・診療所の医師や看護師など	友人・知人、近所の人	入所・通所している福祉施設の職員	市や県等の職員	ホームヘルパーや訪問看護師など	障害者相談員や民生委員・児童委員	
全体	1,890	54.5	18.5	16.6	10.1	7.3	5.6	3.8	
年齢別	17歳以下	63	58.7	25.4	30.2	22.2	6.3	4.8	-
	18～29歳	40	62.5	17.5	35.0	7.5	2.5	-	2.5
	30～39歳	64	48.4	14.1	28.1	12.5	7.8	4.7	-
	40～49歳	73	45.2	19.2	21.9	8.2	8.2	2.7	-
	50～59歳	242	55.0	14.0	20.2	3.7	7.9	1.7	2.9
	60～64歳	185	55.7	18.4	21.1	6.5	8.1	5.9	1.6
	65歳以上	1,174	55.3	19.5	13.2	11.2	7.3	7.1	4.9
無回答	49	38.8	12.2	6.1	12.2	4.1	-	4.1	
家族構成別	一人暮らし	189	28.6	16.9	23.3	4.8	11.6	11.1	7.9
	夫婦のみ	495	60.4	20.2	16.8	3.6	8.9	6.7	4.2
	父母等の家族と同居	859	63.9	18.6	17.6	7.7	6.4	4.7	2.6
	家族以外の人と同居	10	20.0	20.0	20.0	-	10.0	-	10.0
	無回答	128	35.2	14.8	11.7	4.7	4.7	5.5	2.3

	調査数「n」（人）	障害者団体	学校・職場の関係者	生活支援センター（ピエ）の職員等	ボランティア等の福祉団体	その他	相談する人がいない	無回答	
全体	1,890	2.0	1.7	1.5	0.7	2.1	7.0	12.8	
年齢別	17歳以下	63	3.2	27.0	-	-	1.6	4.8	7.9
	18～29歳	40	2.5	10.0	2.5	-	5.0	17.5	5.0
	30～39歳	64	4.7	4.7	3.1	1.6	1.6	12.5	4.7
	40～49歳	73	4.1	2.7	4.1	1.4	5.5	13.7	2.7
	50～59歳	242	2.1	0.4	0.4	0.4	2.9	11.2	9.1
	60～64歳	185	1.1	1.6	1.6	1.1	0.5	8.6	8.6
	65歳以上	1,174	1.7	0.2	1.4	0.8	2.0	4.9	15.0
無回答	49	4.1	-	2.0	-	-	8.2	32.7	
家族構成別	一人暮らし	189	1.1	0.5	0.5	0.5	3.2	10.6	11.6
	夫婦のみ	495	3.4	0.8	1.6	1.0	1.8	7.1	10.9
	父母等の家族と同居	859	1.7	2.9	1.5	0.3	2.2	6.6	9.9
	家族以外の人と同居	10	-	-	-	-	-	20.0	10.0
	無回答	128	-	0.8	1.6	0.8	3.1	10.2	32.0

(3) 地域の人とのつきあい

問33 あなたは、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。(○はあてはまるものすべて)



地域の人とのつきあいについては、「会えばあいさつしあう程度」(60.0%)が最も多く、次いで「世間話をする」(35.4%)、「自治会などの地域活動と一緒に参加する」(13.7%)、「入所・通所している施設の行事等で交流する」(13.0%)となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層において「会えばあいさつしあう程度」が最も多いが、30歳代以下では「学校や職場の行事と一緒に参加する」、40歳代以上では「自治会などの地域活動と一緒に参加する」の割合が高い。

障害の部位別にみると、聴覚・平衡機能や音声・言語・そしゃく機能では「つきあいはしていない」の割合がやや高く、1割を超えている。

現在の住まい別にみると、福祉施設入所者は、在宅生活者に比べて「入所・通所している施設の行事等で交流する」(50.3%)や「つきあいはしていない」(20.6%)の割合が高い。

【図表 3-1-90 年齢別・障害の部位別・現在の住まい別 地域の人とのつきあい】（%）

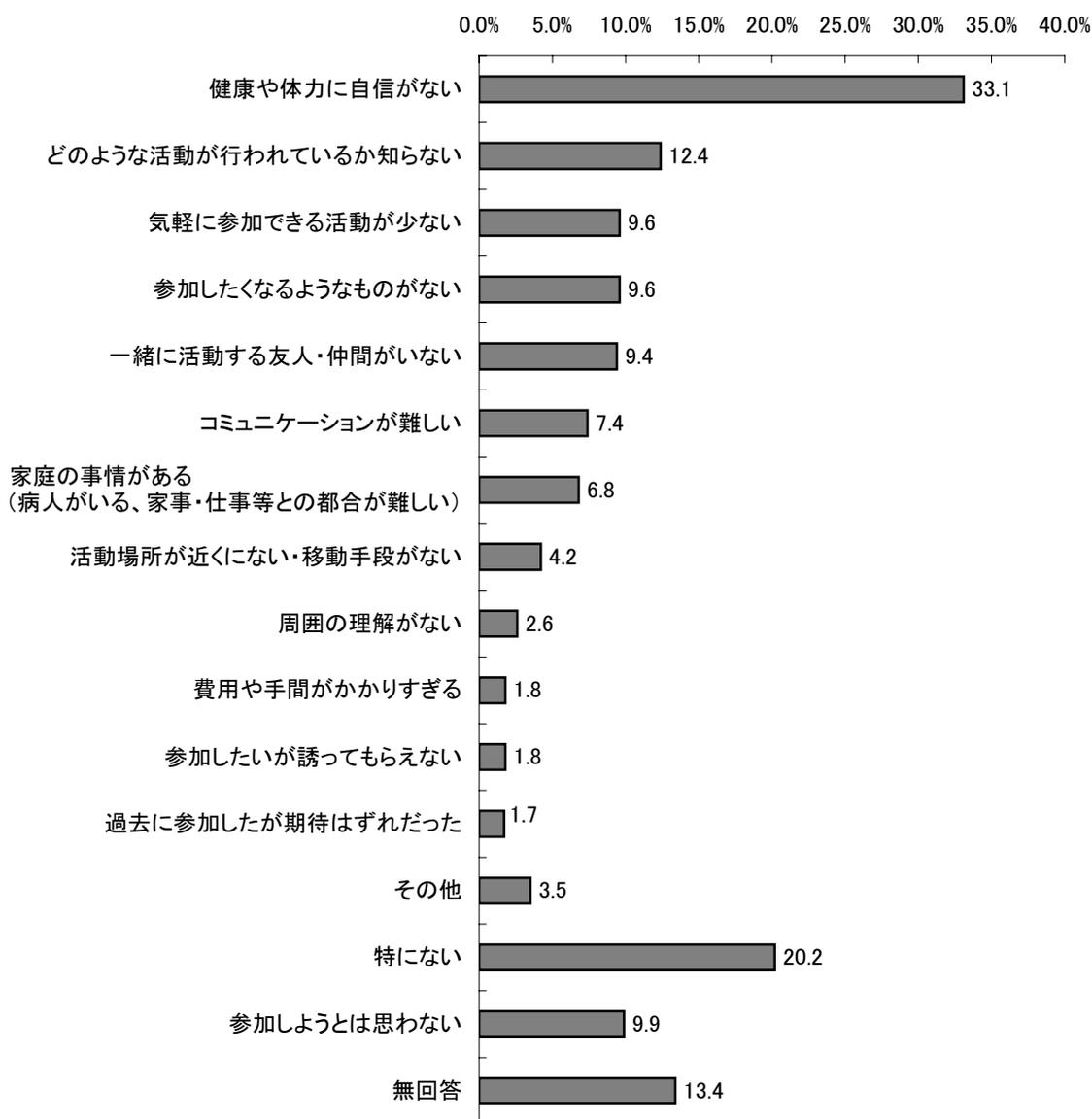
	調査数「n」（人）	会え ばあ いさ つし あ う	世 間 話 を す る	自 治 会 な ど の 地 域 活 動 に 参 加 す る	入 所 ・ 通 所 し て い る 施 設	一 緒 に 遊 ん だ り 、 出 か	
全 体	1,890	60.0	35.4	13.7	13.0	11.9	
年 齢 別	17歳以下	63	60.3	12.7	17.5	11.1	19.0
	18～29歳	40	67.5	10.0	-	7.5	15.0
	30～39歳	64	70.3	21.9	9.4	17.2	10.9
	40～49歳	73	71.2	24.7	20.5	5.5	8.2
	50～59歳	242	71.1	35.5	17.8	7.9	9.5
	60～64歳	185	71.9	38.4	10.3	9.2	11.9
	65歳以上	1,174	55.6	38.8	13.6	15.3	12.6
	無回答	49	28.6	26.5	10.2	10.2	-
障 害 の 部 位 別	視覚	144	62.5	39.6	12.5	9.7	11.8
	聴覚・平衡機能	218	59.2	29.4	12.4	13.3	8.7
	音声・言語・そしゃく機能	38	44.7	23.7	7.9	10.5	7.9
	肢体不自由	848	58.7	36.8	12.6	17.7	11.8
	内部障害	468	67.1	38.5	17.3	6.2	15.8
	その他	95	63.2	33.7	15.8	12.6	7.4
無回答	79	32.9	20.3	10.1	10.1	5.1	
別 住 現 ま 在 の	福祉施設	155	22.6	10.3	2.6	50.3	4.5
	福祉施設以外（持ち家等）	1,681	64.0	38.4	15.1	9.3	12.8
	無回答	54	42.6	16.7	3.7	20.4	3.7

	調査数「n」（人）	にス サ ー ク ル の 活 動 を 趣 味 や 楽 し む	盆 踊 り や 祭 り な ど の 行 事 に 参 加 す る	学 校 や 職 場 の 行 事 に 参 加 す る	そ の 他	つ き あ い は し て い な い	無 回 答	
全 体	1,890	6.7	5.9	3.4	1.4	7.8	6.6	
年 齢 別	17歳以下	63	4.8	15.9	30.2	1.6	6.3	3.2
	18～29歳	40	2.5	5.0	15.0	-	10.0	5.0
	30～39歳	64	7.8	10.9	17.2	-	1.6	1.6
	40～49歳	73	1.4	8.2	13.7	2.7	4.1	2.7
	50～59歳	242	5.0	6.2	3.7	0.8	8.3	2.1
	60～64歳	185	5.4	4.9	1.1	1.1	6.5	3.8
	65歳以上	1,174	7.8	5.4	0.5	1.5	8.2	7.8
	無回答	49	4.1	-	4.1	2.0	14.3	28.6
障 害 の 部 位 別	視覚	144	4.2	5.6	2.1	0.7	9.0	4.9
	聴覚・平衡機能	218	8.3	3.7	3.2	0.9	10.1	6.4
	音声・言語・そしゃく機能	38	7.9	5.3	-	5.3	15.8	15.8
	肢体不自由	848	5.8	5.8	4.5	1.7	8.5	5.8
	内部障害	468	9.2	7.3	2.6	0.4	4.9	4.1
	その他	95	5.3	7.4	4.2	3.2	4.2	5.3
無回答	79	2.5	5.1	1.3	2.5	8.9	31.6	
別 住 現 ま 在 の	福祉施設	155	0.6	3.9	1.3	1.3	20.6	12.9
	福祉施設以外（持ち家等）	1,681	7.4	6.3	3.7	1.4	6.5	5.7
	無回答	54	1.9	-	1.9	-	11.1	18.5

(4) 地域活動に参加するときに妨げとなること

問34 あなたが地域の行事や活動に参加しようとした場合、そのさまたげとなることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-91 地域活動に参加するときに妨げとなること】(n=1,890)



地域の行事や活動に参加するときに妨げとなることは、「健康や体力に自信がない」(33.1%)が最も多く、次いで「どのような活動が行われているか知らない」(12.4%)となっている。また、「特になし」が20.2%、「参加しようとは思わない」が9.9%となっている。

年齢別にみると、「どのような活動が行われているか知らない」の割合は17歳以下(22.2%)や40歳代(23.3%)で高く、2割を超えている。

障害の部位別にみると、聴覚・平衡機能では他の障害に比べて「コミュニケーションが難しい」(17.9%)の割合が高い。

現在の住まい別にみると、福祉施設入所者は、在宅生活者に比べて「参加しようとは思わない」(21.3%)の割合が高い。

【図表 3-1-92 年齢別・障害の部位別・現在の住まい別 地域活動に参加するときに妨げとなること】
(%)

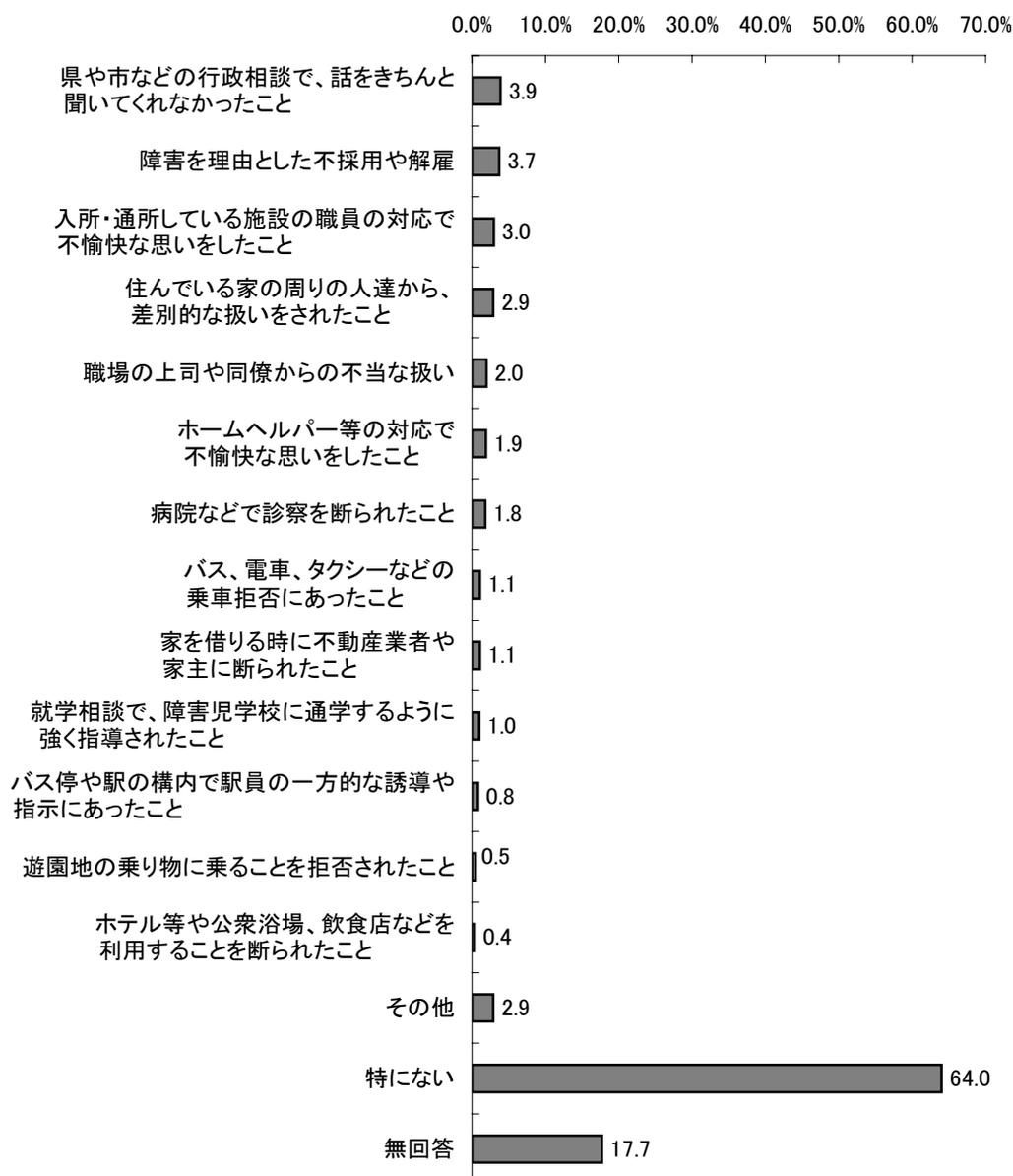
		調査数「n」 (人)	健康や体力に自信がない	どのような活動が行われない	が気軽に参加できる活動が少ない	も参加したくなるようなものがない	仲間がいない	難しいコミュニケーションが	等々の都合が難しい(仕事)	家庭の事情がある(病)	活動場所が近くにない
全体		1,890	33.1	12.4	9.6	9.6	9.4	7.4	6.8	4.2	
年齢別	17歳以下	63	19.0	22.2	19.0	9.5	14.3	20.6	15.9	3.2	
	18～29歳	40	30.0	17.5	7.5	20.0	17.5	17.5	7.5	-	
	30～39歳	64	15.6	12.5	6.3	9.4	12.5	14.1	12.5	1.6	
	40～49歳	73	32.9	23.3	11.0	16.4	15.1	15.1	15.1	5.5	
	50～59歳	242	35.5	19.0	14.9	12.4	12.0	9.1	9.1	5.4	
	60～64歳	185	33.0	18.4	12.4	11.9	15.1	9.2	4.9	5.9	
	65歳以上	1,174	34.7	8.8	7.6	8.1	6.9	4.9	5.1	4.0	
	無回答	49	28.6	10.2	12.2	4.1	8.2	8.2	10.2	4.1	
障害の部位別	視覚	144	27.1	15.3	9.7	6.3	12.5	7.6	5.6	4.2	
	聴覚・平衡機能	218	22.9	9.2	5.0	7.8	11.0	17.9	8.3	3.2	
	音声・言語・そしゃく機能	38	23.7	2.6	5.3	5.3	5.3	7.9	-	2.6	
	肢体不自由	848	36.2	14.7	12.1	11.2	9.8	7.3	7.1	5.4	
	内部障害	468	38.5	11.5	9.6	10.5	9.0	3.2	7.1	3.4	
	その他	95	29.5	6.3	3.2	4.2	2.1	6.3	4.2	2.1	
	無回答	79	16.5	7.6	3.8	6.3	7.6	5.1	6.3	2.5	
別住現在の	福祉施設	155	25.2	9.7	6.5	5.2	5.2	9.0	3.2	7.1	
	福祉施設以外(持ち家等)	1,681	34.3	12.6	10.0	10.2	10.0	7.2	7.3	4.0	
	無回答	54	20.4	13.0	5.6	3.7	1.9	9.3	1.9	1.9	

		調査数「n」 (人)	周囲の理解がない	費用や手間がかかりすぎる	参加したいが誘っても	過去に参加したが期待	その他	特にな	い参加しようとは思わ	無回答
全体		1,890	2.6	1.8	1.8	1.7	3.5	20.2	9.9	13.4
年齢別	17歳以下	63	11.1	1.6	3.2	1.6	4.8	22.2	3.2	3.2
	18～29歳	40	7.5	-	-	2.5	-	25.0	12.5	2.5
	30～39歳	64	3.1	1.6	3.1	1.6	3.1	32.8	6.3	6.3
	40～49歳	73	8.2	2.7	5.5	6.8	2.7	20.5	2.7	5.5
	50～59歳	242	3.3	2.1	1.2	0.4	3.3	20.2	7.4	6.6
	60～64歳	185	2.7	3.2	6.5	2.2	3.8	20.0	6.5	11.4
	65歳以上	1,174	1.4	1.4	0.8	1.5	3.5	19.7	11.8	16.1
	無回答	49	4.1	6.1	4.1	6.1	8.2	12.2	32.7	
障害の部位別	視覚	144	0.7	2.1	2.8	3.5	4.9	16.0	16.0	11.8
	聴覚・平衡機能	218	4.1	1.4	0.5	0.5	4.6	23.4	11.9	11.0
	音声・言語・そしゃく機能	38	-	-	-	-	2.6	23.7	15.8	23.7
	肢体不自由	848	3.5	2.0	2.5	1.7	3.3	18.0	10.4	11.4
	内部障害	468	1.5	1.3	1.7	2.1	2.4	23.7	7.5	10.7
	その他	95	3.2	2.1	-	-	8.4	26.3	7.4	15.8
	無回答	79	-	3.8	-	3.8	1.3	11.4	3.8	51.9
別住現在の	福祉施設	155	2.6	3.2	1.3	-	4.5	16.8	21.3	18.7
	福祉施設以外(持ち家等)	1,681	2.6	1.6	1.9	1.8	3.5	20.7	8.6	12.6
	無回答	54	3.7	3.7	-	3.7	1.9	13.0	20.4	24.1

(5) 差別的な扱いを受けたり、いやな思いをした経験の有無

問35 あなたはこれまでに次のような差別的な扱いを受けたり、いやな思いをしたことがありますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表 3-1-93 差別的な扱いを受けたり、いやな思いをした経験の有無】(n=1,890)



差別的な扱いを受けたり、いやな思いをした経験については「特にない」(64.0%)が6割を超えて最も多いが、具体的な内容では「県や市などの行政相談で、話をきちんと聞いてくれなかったこと」(3.9%)や「障害を理由とした不採用や解雇」(3.7%)、「入所・通所している施設の職員の対応で不愉快な思いをしたこと」(3.0%)などがあがっている。

年齢別にみても、すべての年齢層で「特にない」が最も多いが、いやな思い等をした内容は、17歳以下では「就学相談で、障害児学校に通学するように強く指導されたこと」(17.5%)が最も多く、18歳～50歳代では「障害を理由とした不採用や解雇」が最も多い。

【図表 3-1-94 年齢別・障害の部位別 差別的な扱いを受けたり、いやな思いをした経験の有無】(%)

	調査数「n」 (人)	てく れな かつ たこ と聞 い	県 や市 など の行 政相 談	障 害を 理由 とし た不 採	快 設入 の所 員・ 通所 し て 不 愉	い 人住 を達 さか ら る 家 の 周 り 扱 の	の 職 場 の 上 司 や 同 僚 か ら	た 応 で 不 愉 快 な 思 い を し	ホ ー ム ヘル パー 等 の 対	病 院 な ど で 診 察 を 断 ら	た な ど の 乗 車 拒 否 に あ つ
全 体	1,890	3.9	3.7	3.0	2.9	2.0	1.9	1.8	1.1		
年 齢 別	17歳以下	63	6.3	-	6.3	6.3	-	3.2	6.3	-	
	18～29歳	40	7.5	22.5	2.5	7.5	7.5	-	7.5	2.5	
	30～39歳	64	4.7	20.3	3.1	6.3	9.4	3.1	-	1.6	
	40～49歳	73	8.2	15.1	5.5	4.1	4.1	4.1	5.5	2.7	
	50～59歳	242	4.5	8.3	1.7	3.3	3.7	2.5	1.2	0.8	
	60～64歳	185	7.0	4.3	4.3	3.2	3.8	3.8	2.2	2.2	
	65歳以上	1,174	2.7	0.7	2.5	2.2	0.6	1.2	1.3	0.9	
無回答	49	2.0	2.0	10.2	2.0	6.1	2.0	2.0	-		
障 害 の 部 位 別	視覚	144	2.8	2.8	2.1	4.9	2.1	2.8	-	1.4	
	聴覚・平衡機能	218	3.7	6.4	0.5	4.1	3.7	0.5	0.9	1.4	
	音声・言語・そしゃく機能	38	-	2.6	5.3	-	2.6	-	-	-	
	肢体不自由	848	5.0	2.8	5.0	3.2	1.7	2.7	2.6	1.7	
	内部障害	468	3.6	4.5	0.9	1.7	1.5	1.3	1.3	0.4	
	その他	95	2.1	5.3	1.1	3.2	1.1	-	2.1	-	
無回答	79	-	1.3	5.1	1.3	5.1	1.3	2.5	-		

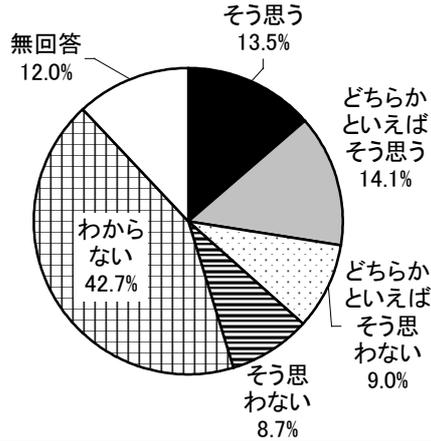
	調査数「n」 (人)	こ と 業 者 や 家 主 に 断 ら れ た 産	家 を 借 り る 時 に 不 動 産	く 校 指 導 に あ つ た こ と	就 学 相 談 す る こ と	示 員 に あ つ た こ と	バ ス 一 停 り の 誘 導 内 で 指 駅	こ 遊 園 地 の 乗 り 物 に 乗 る	こ 飲 食 店 な ど を 利 用 す る	ホ テ ル 等 や 公 衆 浴 場、	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	1,890	1.1	1.0	0.8	0.5	0.4	2.9	64.0	17.7				
年 齢 別	17歳以下	63	1.6	17.5	1.6	3.2	-	14.3	58.7	4.8			
	18～29歳	40	5.0	7.5	2.5	5.0	-	10.0	52.5	-			
	30～39歳	64	-	3.1	3.1	3.1	3.1	4.7	50.0	6.3			
	40～49歳	73	5.5	1.4	4.1	4.1	1.4	9.6	56.2	6.8			
	50～59歳	242	2.5	0.8	1.7	-	0.4	2.9	65.3	10.7			
	60～64歳	185	0.5	-	0.5	-	0.5	2.7	62.7	10.3			
	65歳以上	1,174	0.6	-	0.3	0.1	0.2	1.5	66.9	22.0			
無回答	49	-	-	-	-	-	2.0	38.8	40.8				
障 害 の 部 位 別	視覚	144	2.1	0.7	0.7	-	-	2.8	64.6	18.8			
	聴覚・平衡機能	218	1.8	0.9	0.9	0.5	0.9	1.8	63.8	17.9			
	音声・言語・そしゃく機能	38	-	-	-	-	-	-	68.4	21.1			
	肢体不自由	848	1.3	1.8	0.9	0.8	0.6	4.1	61.6	15.8			
	内部障害	468	0.6	-	0.9	0.4	-	1.5	72.2	15.0			
	その他	95	-	-	-	-	-	2.1	65.3	22.1			
無回答	79	-	1.3	-	-	-	2.5	36.7	45.6				

9. 福祉全般について

(1) ノーマライゼーションのまちづくり

問36 「障害がある人もない人も、ともに生きていくことができる社会こそ普通の社会である。障害がある人も職場で一緒に働いていたり、地域活動やいろいろな催し物とともに参加し、行動できるような社会にすべきである。」という考え方を一般に『ノーマライゼーション』と呼びます。久留米市は、この『ノーマライゼーション』の考え方を活かしたまちづくりをしていると思いますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-95 ノーマライゼーションのまちづくり】(n=1,890)



久留米市がノーマライゼーションを活かしたまちづくりをしているかという問に対しては、「わからない」(42.7%)との回答が最も多い。ノーマライゼーションを活かしたまちづくりをしていると思っている人は27.6%（「そう思う」:13.5%、「どちらかといえばそう思う」:14.1%）、思わない人は17.7%（「どちらかといえばそう思わない」:9.0%、「そう思わない」:8.7%）となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層で「わからない」が最も多いが、概ね年齢が若いほど、ノーマライゼーションを活かしたまちづくりをしているとは思わない人の割合が高く、20歳代以下ではそれぞれ4割前後を占めている（17歳以下：42.8%、18～29歳：37.5%）。

障害の部位別にみると、肢体不自由では、他の障害に比べて、久留米市がノーマライゼーションを活かしたまちづくりをしているとは思わない人の割合が高い（22.1%）。

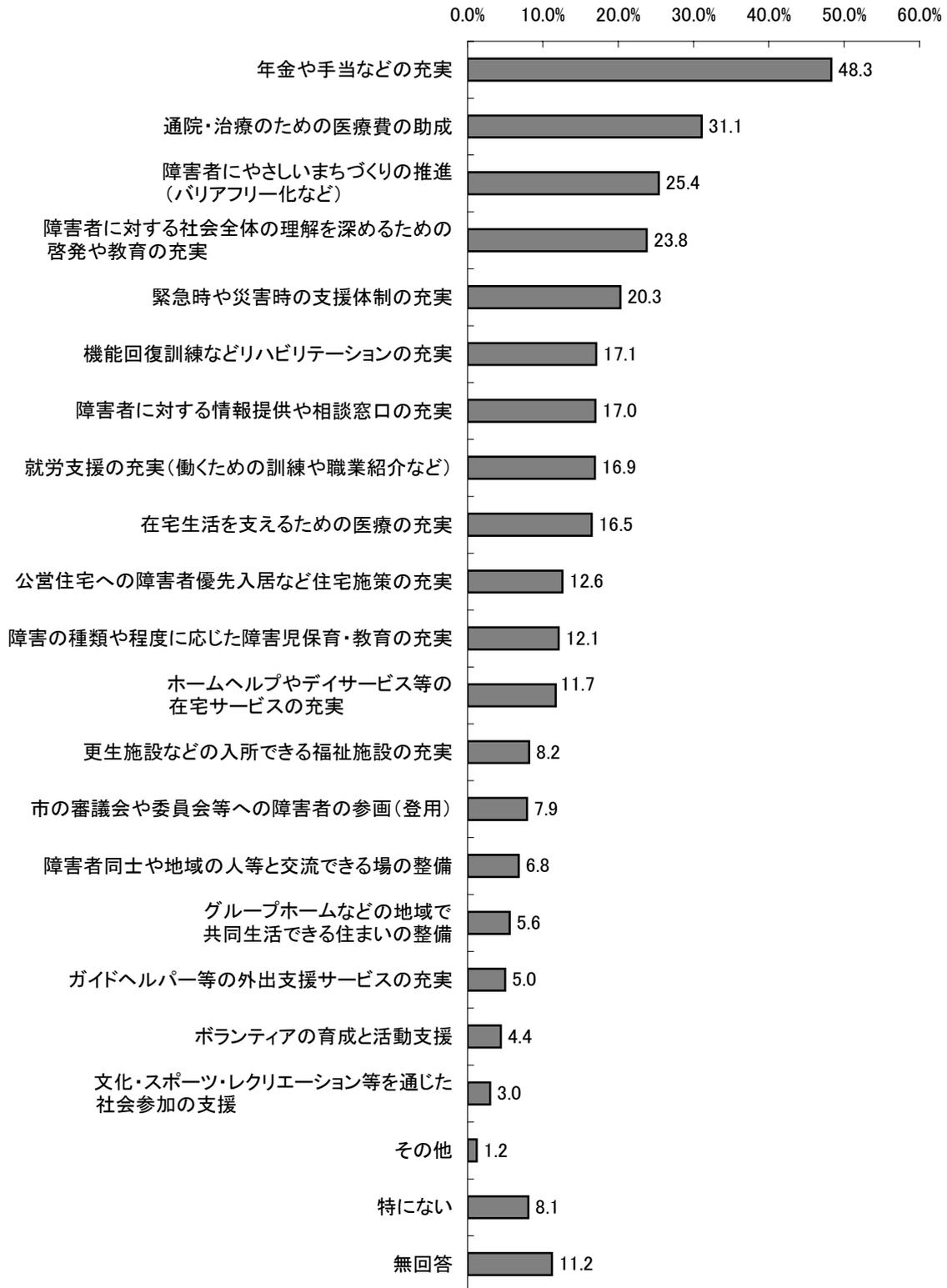
【図表 3-1-96 年齢別・障害の部位別 ノーマライゼーションのまちづくり】(%)

	(調査数「n」)	そう思う	えどばち そば そうか 思とうい	なえど いばち そら うか 思とわい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答	
全 体	1,890	13.5	14.1	9.0	8.7	42.7	12.0	
年 齢 別	17歳以下	63	3.2	22.2	19.0	23.8	28.6	3.2
	18～29歳	40	12.5	12.5	22.5	15.0	37.5	-
	30～39歳	64	17.2	9.4	12.5	12.5	46.9	1.6
	40～49歳	73	8.2	21.9	9.6	16.4	38.4	5.5
	50～59歳	242	9.1	16.1	11.2	11.6	45.5	6.6
	60～64歳	185	12.4	15.1	8.6	9.2	45.9	8.6
	65歳以上	1,174	15.5	13.2	7.7	6.3	42.8	14.5
無回答	49	10.2	6.1	4.1	8.2	36.7	34.7	
障 害 の 部 位 別	視覚	144	16.7	15.3	6.3	9.0	41.0	11.8
	聴覚・平衡機能	218	12.4	15.1	7.8	6.9	45.9	11.9
	音声・言語・そしゃく機能	38	18.4	13.2	-	-	50.0	18.4
	肢体不自由	848	12.1	14.6	11.8	10.3	42.3	8.8
	内部障害	468	15.4	14.5	7.3	8.3	41.7	12.8
	その他	95	15.8	11.6	5.3	5.3	50.5	11.6
	無回答	79	10.1	3.8	7.6	6.3	34.2	38.0

(2) 障害者福祉施策として重点的に進めるべきこと

問37 今後、障害がある人の自立と福祉の向上のための支援として、久留米市はどのようなことを重点的に進めるべきだと考えますか。(〇は5つまで)

【図表 3-1-97 障害者福祉施策として重点的に進めるべきこと】(n=1,890)



第3章 調査結果[身体障害者（児）調査]

障害者福祉施策として久留米市が重点的に進めるべきことは、「年金や手当などの充実」（48.3%）が最も多く、次いで「通院・治療のための医療費の助成」（31.1%）、「障害者にやさしいまちづくりの推進（バリアフリー化など）」（25.4%）、「障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実」（23.8%）となっている。

年齢別にみると、「就労支援の充実（働くための訓練や職業紹介など）」は40歳代以下の年齢層で割合が高く、それぞれ3割を超えている。また、「公営住宅への障害者優先入居など住宅施策の充実」や「障害者に対する情報提供や相談窓口の充実」、「緊急時や災害時の支援体制の充実」は30～50歳代で他の年齢層に比べて割合が高い。

障害の部位別にみると、肢体不自由では、他の障害に比べて「就労支援の充実（働くための訓練や職業紹介など）」（19.3%）や「機能回復訓練などリハビリテーションの充実」（24.5%）、「障害者にやさしいまちづくりの推進（バリアフリー化など）」（28.8%）などの割合が高い。

現在の住まい別にみると、福祉施設入所者は、在宅生活者に比べて「グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備」（11.6%）や「更生施設などの入所できる福祉施設の充実」（23.2%）などの施設やその他の居住系サービスに関する項目の割合が高い。

ノーマライゼーションを活かしたまちづくりに対する評価別にみると、久留米市がノーマライゼーションを活かしたまちづくりをしているとは思わない人は、そう思う人に比べて「年金や手当などの充実」（59.7%）や「障害者にやさしいまちづくりの推進（バリアフリー化など）」（37.9%）、「障害者に対する情報提供や相談窓口の充実」（24.5%）などの割合が高い。

【図表 3-1-98 年齢別・障害の部位別・現在の住まい別・ノーマライゼーションに対する評価別
障害者福祉施策として重点的に進めるべきこと】（%）

		調査数「人」 (人)	年金や手当などの充実	通院・治療のための医療費の助成	障害者に対するやさしいまちづくりの推進（バリアフリー化など）	障害者に対する教育の充実	緊急時や災害時の支援体制の充実	機能回復訓練などの充実	障害者に対する情報提供
全体		1,890	48.3	31.1	25.4	23.8	20.3	17.1	17.0
年齢別	17歳以下	63	44.4	25.4	38.1	27.0	20.6	31.7	23.8
	18～29歳	40	57.5	30.0	50.0	40.0	20.0	30.0	17.5
	30～39歳	64	57.8	34.4	31.3	25.0	28.1	4.7	34.4
	40～49歳	73	53.4	30.1	42.5	37.0	28.8	12.3	32.9
	50～59歳	242	59.5	35.5	29.3	26.0	26.9	16.5	25.2
	60～64歳	185	58.9	36.2	29.7	23.2	20.0	17.8	20.5
	65歳以上	1,174	43.7	29.9	21.6	22.0	18.2	16.8	12.9
	無回答	49	38.8	24.5	12.2	18.4	16.3	20.4	8.2
障害の部位別	視覚	144	42.4	27.1	27.1	26.4	20.8	6.9	13.2
	聴覚・平衡機能	218	42.7	26.1	24.3	24.8	21.1	9.2	19.3
	音声・言語・そしゃく機能	38	55.3	36.8	5.3	26.3	7.9	15.8	7.9
	肢体不自由	848	48.9	30.9	28.8	22.9	22.1	24.5	17.7
	内部障害	468	52.6	35.9	23.1	25.2	19.7	12.2	19.0
	その他	95	48.4	32.6	23.2	25.3	16.8	16.8	14.7
	無回答	79	38.0	21.5	16.5	13.9	12.7	8.9	6.3
別住現 ま在 いの	福祉施設	155	47.7	30.3	30.3	29.0	18.7	27.7	12.3
	福祉施設以外（持ち家等）	1,681	48.9	31.6	25.5	23.5	20.8	16.4	17.5
	無回答	54	29.6	16.7	9.3	16.7	11.1	9.3	14.8
価 対 シ ノ ゼ ー シ ョ ン に 対 す る ノ ー マ ライ ゼ ー シ ョ ン を 活 か し た ま ち づ く り に 対 す る 評 価	思う	522	53.8	37.0	28.2	36.0	23.2	23.0	19.0
	思わない	335	59.7	33.7	37.9	26.3	26.6	23.6	24.5
	わからない	807	46.7	31.7	23.5	18.8	19.6	14.5	16.5
	無回答	226	23.9	11.5	7.5	9.3	7.1	3.5	3.5

第3章 調査結果[身体障害者(児)調査]

	調査数「n」 (人)	就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介など)	在宅生活を支えるための医療の充実	先入居など住宅施策の充実	公営住宅への障害者の優先	障害の種類や程度に応じた障害児保育・教育の充実	ホームヘルプやデイサービス等の在宅サービス	更生施設などの入所できる福祉施設の充実	市の審議会や委員会等への障害者の参画(登用)
全体	1,890	16.9	16.5	12.6	12.1	11.7	8.2	7.9	
年齢別	17歳以下	63	34.9	7.9	7.9	55.6	22.2	14.3	12.7
	18～29歳	40	37.5	17.5	12.5	30.0	2.5	15.0	5.0
	30～39歳	64	40.6	10.9	25.0	10.9	9.4	12.5	6.3
	40～49歳	73	34.2	11.0	20.5	13.7	6.8	6.8	15.1
	50～59歳	242	29.8	14.5	23.1	12.4	6.6	7.4	10.7
	60～64歳	185	17.8	14.1	14.1	11.9	9.7	10.3	10.8
	65歳以上	1,174	10.2	18.4	9.2	9.5	13.5	7.5	6.4
障害の部位別	無回答	49	12.2	16.3	14.3	4.1	6.1	4.1	8.2
	視覚	144	13.9	16.0	12.5	16.0	11.8	4.9	9.0
	聴覚・平衡機能	218	13.8	12.8	8.3	9.6	10.1	7.8	6.4
	音声・言語・そしゃく機能	38	2.6	15.8	5.3	5.3	13.2	7.9	2.6
	肢体不自由	848	19.3	17.9	13.0	11.6	14.0	9.6	8.3
	内部障害	468	18.2	17.1	14.3	13.2	10.0	7.5	7.7
	その他	95	8.4	15.8	11.6	17.9	6.3	8.4	10.5
別住現在の	無回答	79	13.9	10.1	15.2	7.6	6.3	5.1	7.6
	福祉施設	155	12.9	14.8	6.5	9.7	11.6	23.2	6.5
	福祉施設以外(持ち家等)	1,681	17.5	17.1	13.2	12.5	11.9	6.8	8.3
個別するに	無回答	54	7.4	3.7	11.1	7.4	5.6	9.3	1.9
	思う	522	21.3	18.4	14.4	18.0	12.3	10.7	10.2
	思わない	335	28.1	19.1	17.3	16.7	16.7	10.7	14.9
	わからない	807	13.3	16.9	11.5	8.9	10.9	7.3	5.0
無回答	226	3.1	7.1	5.3	3.1	5.8	1.8	3.1	

	調査数「n」 (人)	障害者と交流できる地域の整備	住まいの共同生活などの整備	グループホームなどの整備	ガイドヘルパー等の充実	ボランティアの育成と活動支援	文化・スポーツ・レジャー・社会参加の支援	その他	特になし	無回答
全体	1,890	6.8	5.6	5.0	4.4	3.0	1.2	8.1	11.2	
年齢別	17歳以下	63	12.7	9.5	6.3	7.9	1.6	3.2	-	7.9
	18～29歳	40	15.0	2.5	10.0	12.5	5.0	-	5.0	-
	30～39歳	64	9.4	3.1	4.7	6.3	6.3	6.3	3.1	1.6
	40～49歳	73	2.7	2.7	6.8	6.8	4.1	-	5.5	4.1
	50～59歳	242	6.2	5.8	5.8	2.5	5.8	0.8	4.5	5.0
	60～64歳	185	5.4	8.6	4.9	5.4	3.8	2.2	4.9	5.9
	65歳以上	1,174	6.7	5.3	4.5	3.9	2.0	0.9	10.4	14.1
障害の部位別	無回答	49	4.1	4.1	4.1	6.1	4.1	2.0	6.1	30.6
	視覚	144	7.6	5.6	9.7	4.9	2.1	1.4	10.4	11.8
	聴覚・平衡機能	218	8.3	7.8	3.2	6.4	7.8	1.8	11.5	12.8
	音声・言語・そしゃく機能	38	2.6	2.6	5.3	5.3	5.3	2.6	7.9	7.9
	肢体不自由	848	7.1	5.8	6.3	4.1	2.2	1.3	7.1	8.7
	内部障害	468	5.8	4.7	3.0	4.1	3.0	0.6	8.1	10.5
	その他	95	4.2	4.2	2.1	4.2	-	1.1	7.4	13.7
別住現在の	無回答	79	8.9	5.1	2.5	3.8	2.5	1.3	6.3	35.4
	福祉施設	155	5.2	11.6	6.5	8.4	2.6	0.6	9.7	8.4
	福祉施設以外(持ち家等)	1,681	7.1	5.1	5.0	4.2	3.1	1.3	7.9	10.6
個別するに	無回答	54	1.9	1.9	-	1.9	1.9	-	9.3	37.0
	思う	522	8.0	5.2	5.4	4.0	5.2	0.8	5.2	4.2
	思わない	335	11.0	9.3	7.5	7.2	4.2	2.4	2.1	1.5
	わからない	807	5.2	5.3	4.7	4.5	1.6	1.1	12.8	7.9
無回答	226	3.1	1.8	1.3	1.3	1.3	0.9	7.1	53.5	

10. 障害児の保育・教育等について

以降は、障害のある17歳以下の児童（63人）の生活状況や保育・教育に関する状況等について、その保護者に対して行った質問である。

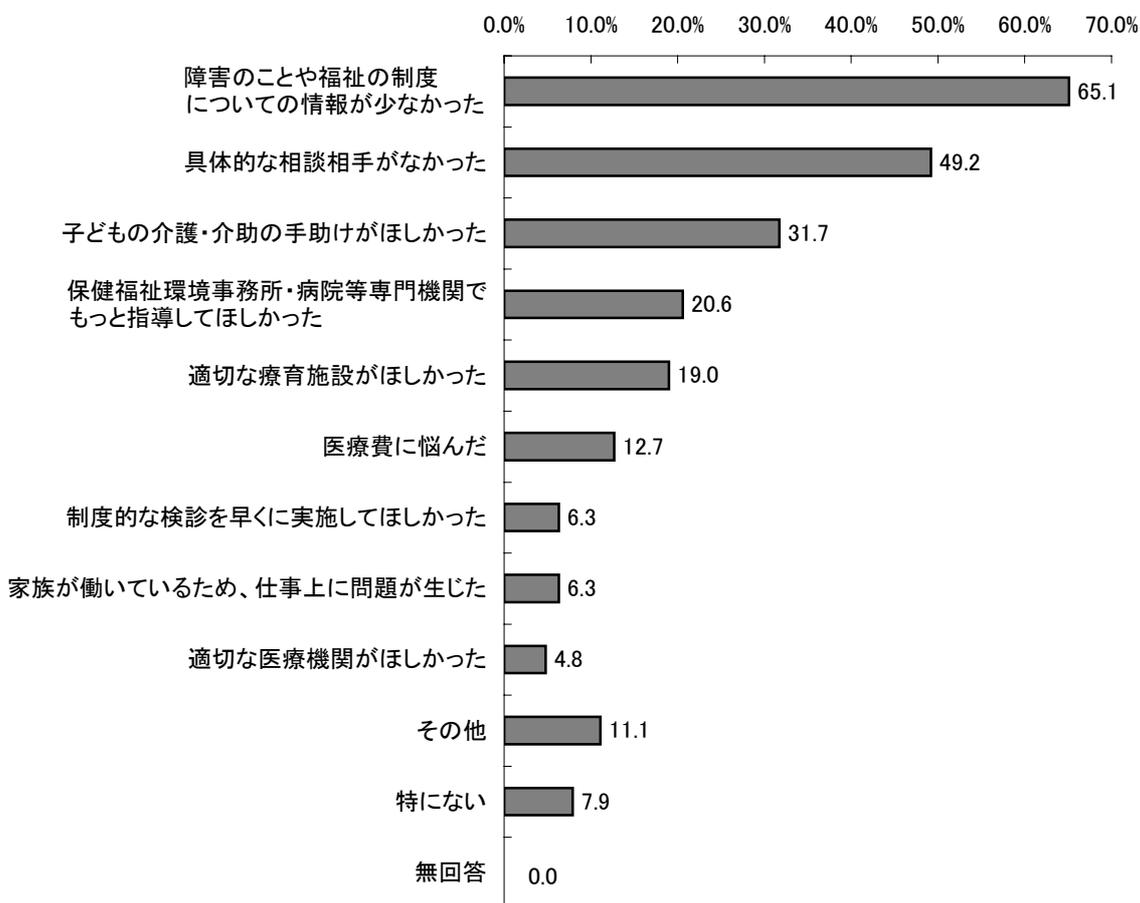
対象となる障害児は、1・2級の重度障害（69.9%）、障害部位別で見ると肢体不自由（71.4%）が大半を占めている。【「1.基本属性」の年齢別分析参照】

（1）障害の診断・判定

問38 お子さんの障害について、どこで診断・判定を受けてはつきりしたことがわかりましたか。（○は1つだけ）

問39 お子さんの障害の状況について、診断・判定を受けた頃、ご家族の皆さんには、どんな苦勞、悩み、不安がありましたか。（○は3つまで）

【図表 3-1-99 障害の診断・判定を受けた当時の苦勞や悩み】（n=63）



障害のある17歳以下の児童（63人）が障害の判定・診断を受けた場所は、1人だけが「肢体不自由児施設」で、その他の62人は「病院・医院」である。

障害の診断・判定を受けた当時の苦勞や悩みは、「障害のことや福祉の制度についての情報が少なかった」（65.1%）が最も多く、次いで「具体的な相談相手がなかった」（49.2%）、「子どもの介護・介助の手助けがほしかった」（31.7%）となっている。

【図表 3-1-100 障害の発症時期別 障害の診断・判定を受けた当時の苦労や悩み】（%）

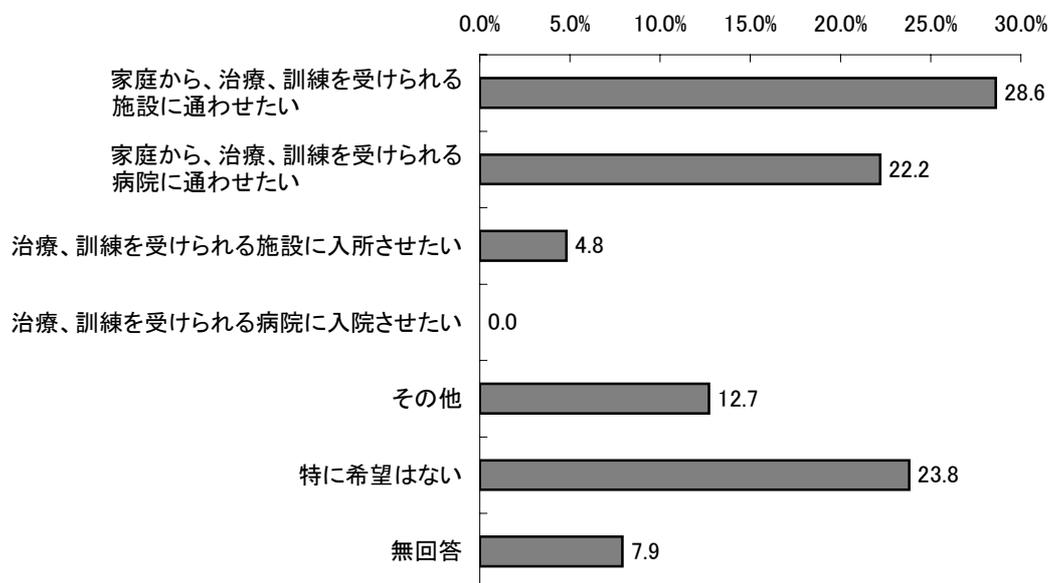
		調査数「n」（人）	障害の発症時期別の情報が少なかつたこと	具体的な相談相手がない	子どもがほしかつた	保健福祉環境事務所・と病院等専門機関でかつた	適切な療育施設がほしかつた	医療費に悩んだ
全体		63	65.1	49.2	31.7	20.6	19.0	12.7
別障害の発症時期	2歳以下	58	67.2	50.0	31.0	20.7	20.7	13.8
	3～5歳	2	50.0	-	-	-	-	-
	6～8歳	2	50.0	100.0	100.0	50.0	-	-
	9～11歳	1	-	-	-	-	-	-
	12～14歳	-	-	-	-	-	-	-
	15～17歳	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

		調査数「n」（人）	制度的な検診を早く実施してほしかつた	家族が働いていない問題が生じた	適切な医療機関がほしかつた	その他	特にない	無回答
全体		63	6.3	6.3	4.8	11.1	7.9	-
別障害の発症時期	2歳以下	58	6.9	6.9	5.2	10.3	6.9	-
	3～5歳	2	-	-	-	-	50.0	-
	6～8歳	2	-	-	-	-	-	-
	9～11歳	1	-	-	-	100.0	-	-
	12～14歳	-	-	-	-	-	-	-
	15～17歳	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

(2) 今後の生活等についての希望

問40 お子さんの今後の生活や療育、訓練について、どのような希望をお持ちですか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-101 今後の生活等についての希望】(n=63)



今後の生活や療育、訓練については、「家庭から、治療、訓練を受けられる施設に通わせたい」(28.6%)が最も多く、次いで「家庭から、治療、訓練を受けられる病院に通わせたい」(22.2%)となっている。また、「特に希望はない」(23.8%)が2割を超えている。

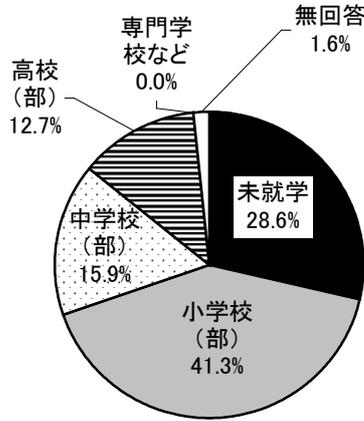
【図表 3-1-102 児童の年齢別 今後の生活等についての希望】(%)

	調査数「n」 (人)	わを家庭 から受け たい 治療、 施設に 訓練	わを家庭 から受け たい 治療、 病院に 訓練	る治療、 施設に 訓練を 受け たい	る治療、 病院に 訓練を 受け たい	その他	特に 希望 はない	無 回答
全 体	63	28.6	22.2	4.8	-	12.7	23.8	7.9
別 児 童 の 年 齢	5歳以下	15	53.3	26.7	-	6.7	6.7	6.7
	6～11歳	25	32.0	28.0	-	12.0	24.0	4.0
	12～14歳	13	15.4	23.1	15.4	-	23.1	7.7
	15～17歳	10	-	-	10.0	-	50.0	20.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

(3) 日中の過ごし方（就学先）

問41 お子さんは、現在、日中どのように過ごしていますか。また、就学されている学校は、次のうちどれにあたりますか。（○は1つだけ）

【図表 3-1-103 日中の過ごし方（就学先）】（n=63）



日中の過ごし方（就学先）は、「小学校（部）」（41.3%）が最も多く、次いで「未就学」（28.6%）となっている。

就学先別にみると、未就学では「保育園」や「通園施設」が多く、小学校（部）では「普通学級」が最も多い。中学校（部）では「養護学校」、高校（部）では「普通学校」が最も多い。なお、専門学校などへの進学者はいなかった。

【図表 3-1-104 未就学の内訳】

（上段：人、下段：%）

【未就学】	保育園	幼稚園	通園施設	その他	どこにも通わず、自宅にいる
18	6	2	6	1	3
100.0	33.3	11.1	33.3	5.6	16.7

【図表 3-1-105 小学校（部）の内訳】

（上段：人、下段：%）

【小学校（部）】	普通学級	障害児学級	養護学校	盲学校	ろう学校	訪問教育
26	13	7	4	-	1	1
100.0	50.0	26.9	15.4	-	3.8	3.8

【図表 3-1-106 中学校（部）の内訳】

（上段：人、下段：%）

【中学校（部）】	普通学級	障害児学級	養護学校	盲学校	ろう学校	訪問教育
10	3	2	5	-	-	-
100.0	30.0	20.0	50.0	-	-	-

【図表 3-1-107 高校（部）の内訳】

（上段：人、下段：%）

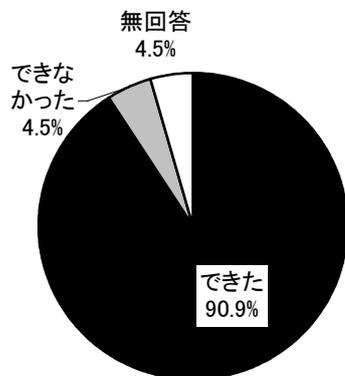
【高校（部）】	普通学校	養護学校	盲学校	ろう学校
8	4	2	-	2
100.0	50.0	25.0	-	25.0

(4) 学校等への入学（園）について

問42 通学中または卒業（卒園）された方におたずねします。

(1) 希望通りの学校や園に入学（入園）できましたか。（○は1つだけ）

【図表 3-1-108 学校等への入学（園）について】(n=44)



希望通りの学校や園に入学（入園）できた人が 90.9%と大半を占めており、できなかった人は 4.5%となっている。

【図表 3-1-109 障害の程度別・障害の部位別・就学先別 学校等への入学（園）について】(%)

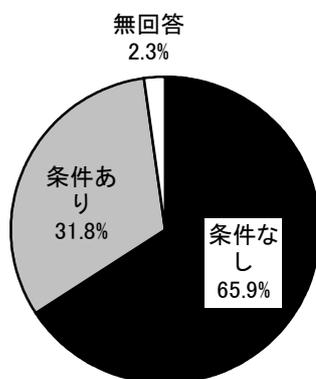
		調査数「n」 (人)	できた	できなかった	無回答
全体		44	90.9	4.5	4.5
障害の程度別	1級	21	95.2	4.8	-
	2級	8	75.0	-	25.0
	3級	8	87.5	12.5	-
	4級	3	100.0	-	-
	5級	2	100.0	-	-
	6級	2	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-
障害の部位別	視覚	1	100.0	-	-
	聴覚・平衡機能	5	100.0	-	-
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-
	肢体不自由	32	90.6	3.1	6.3
	内部障害	4	100.0	-	-
	その他	1	100.0	-	-
	無回答	1	-	100.0	-
就学先別	未就学	-	-	-	-
	小学校(部)	26	96.2	-	3.8
	中学校(部)	10	100.0	-	-
	高校(部)	8	62.5	25.0	12.5
	専門学校など	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	

(5) 入学時の条件の有無

問42 通学中または卒業（卒園）された方におたずねします。

(2) 入学するにあたって何か条件をつけられましたか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-110 入学時の条件の有無】(n=44)



学校や園に入学（入園）する際に条件があった人が 31.8%を占めており、条件の内容（自由記述）では、「保護者による送迎」や「付き添い、トイレ・昼食等の介護」などがあがっている。

学校や園に入学（入園）する際に条件があった人の割合を障害の部位別にみると、肢体不自由（40.6%）で4割を超えている。

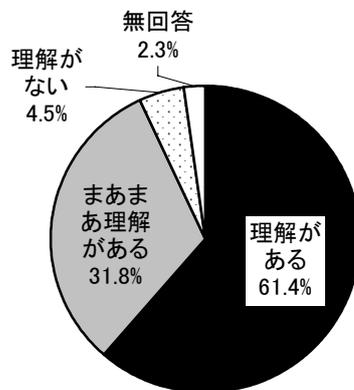
【図表 3-1-111 障害の程度別・障害の部位別・就学先別 入学時の条件の有無】(%)

	調査数「□」 (人)	条件なし	条件あり	無回答	
全体	44	65.9	31.8	2.3	
障害の程度別	1級	21	66.7	33.3	-
	2級	8	37.5	50.0	12.5
	3級	8	87.5	12.5	-
	4級	3	100.0	-	-
	5級	2	-	100.0	-
	6級	2	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-
障害の部位別	視覚	1	100.0	-	-
	聴覚・平衡機能	5	80.0	20.0	-
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-
	肢体不自由	32	56.3	40.6	3.1
	内部障害	4	100.0	-	-
	その他	1	100.0	-	-
無回答	1	100.0	-	-	
就学先別	未就学	-	-	-	-
	小学校（部）	26	57.7	42.3	-
	中学校（部）	10	70.0	30.0	-
	高校（部）	8	87.5	-	12.5
	専門学校など	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	

(6) 先生の理解

問42 通学中または卒業（卒園）された方におたずねします。
 (3) 先生の理解はありますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-112 先生の理解】(n=44)



学校等での先生の理解については、「理解がある」(61.4%)が6割を超えて最も多く、次いで「まあまあ理解がある」(31.8%)となっており、これらをあわせると、保護者の9割強(93.2%)は、先生の理解があると思っている。これに対して、「理解がない」は4.5%となっている。

【図表 3-1-113 障害の程度別・障害の部位別・就学先別 先生の理解】(%)

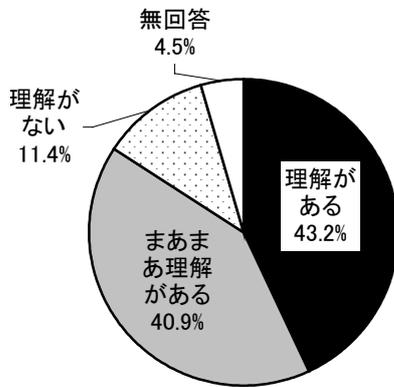
	調査数「n」 (人)	理解がある	まあまあ理解がある	理解がない	無回答	
全体	44	61.4	31.8	4.5	2.3	
障害の程度別	1級	21	52.4	38.1	9.5	-
	2級	8	62.5	25.0	-	12.5
	3級	8	62.5	37.5	-	-
	4級	3	100.0	-	-	-
	5級	2	50.0	50.0	-	-
	6級	2	100.0	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-
障害の部位別	視覚	1	100.0	-	-	-
	聴覚・平衡機能	5	80.0	20.0	-	-
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-	-
	肢体不自由	32	56.3	34.4	6.3	3.1
	内部障害	4	50.0	50.0	-	-
	その他	1	100.0	-	-	-
無回答	1	100.0	-	-	-	
就学先別	未就学	-	-	-	-	-
	小学校(部)	26	57.7	34.6	7.7	-
	中学校(部)	10	60.0	40.0	-	-
	高校(部)	8	75.0	12.5	-	12.5
	専門学校など	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-

(7) 友達の理解

問4 2 通学中または卒業（卒園）された方におたずねします。

(4) 友達の理解はありますか。(○は1つだけ)

【図表 3-1-114 友達の理解】(n=44)



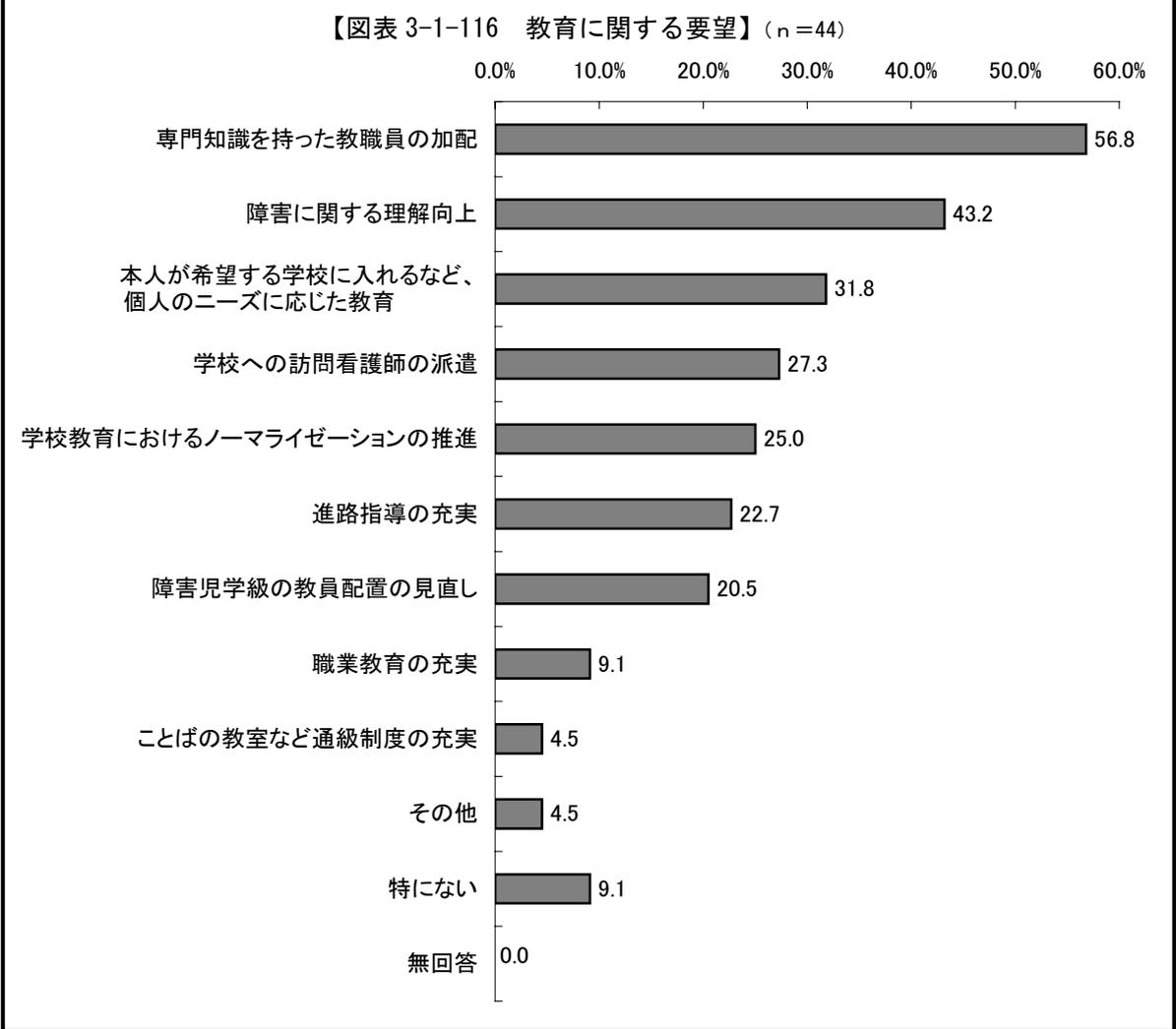
学校等での友達の理解については、「理解がある」(43.2%)・「まあまあ理解がある」(40.9%)がそれぞれ約4割ずつを占めており、これらをあわせると、保護者の8割強(84.1%)は、友達の理解があると思っている。これに対して、「理解がない」は11.4%となっており、前問の先生の場合と比べて高くなっている。

【図表 3-1-115 障害の程度別・障害の部位別・就学先別 友達の理解】(%)

		調査数「n」 (人)	理解がある	まあまあ理解がある	理解がない	無回答
全 体		44	43.2	40.9	11.4	4.5
障害の程度別	1級	21	42.9	42.9	9.5	4.8
	2級	8	50.0	25.0	12.5	12.5
	3級	8	25.0	50.0	25.0	-
	4級	3	66.7	33.3	-	-
	5級	2	50.0	50.0	-	-
	6級	2	50.0	50.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-
障害の部位別	視覚	1	100.0	-	-	-
	聴覚・平衡機能	5	60.0	40.0	-	-
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-	-
	肢体不自由	32	34.4	46.9	12.5	6.3
	内部障害	4	75.0	-	25.0	-
	その他	1	100.0	-	-	-
就学先別	無回答	1	-	100.0	-	-
	未就学	-	-	-	-	-
	小学校(部)	26	46.2	46.2	3.8	3.8
	中学校(部)	10	50.0	30.0	20.0	-
	高校(部)	8	25.0	37.5	25.0	12.5
専門学校など	-	-	-	-	-	
無回答	-	-	-	-	-	

(8) 教育に関する要望

問4 2 通学中または卒業（卒園）された方におたずねします。
 (5) 次のような教育に関する要望がありますか。(○は3つまで)



教育に関する要望は、「専門知識を持った教職員の加配」(56.8%)が最も多く、次いで「障害に関する理解向上」(43.2%)、「本人が希望する学校に入れるなど、個人のニーズに応じた教育」(31.8%)となっている。

障害の程度別にみると、最重度の1級では他に比べて「学校への訪問看護師の派遣」(47.6%)の割合が高い。

障害の部位別にみると、肢体不自由では「専門知識を持った教職員の加配」(68.8%)の割合が高い。

【図表 3-1-117 障害の程度別・障害の部位別・就学先別 教育に関する要望】(%)

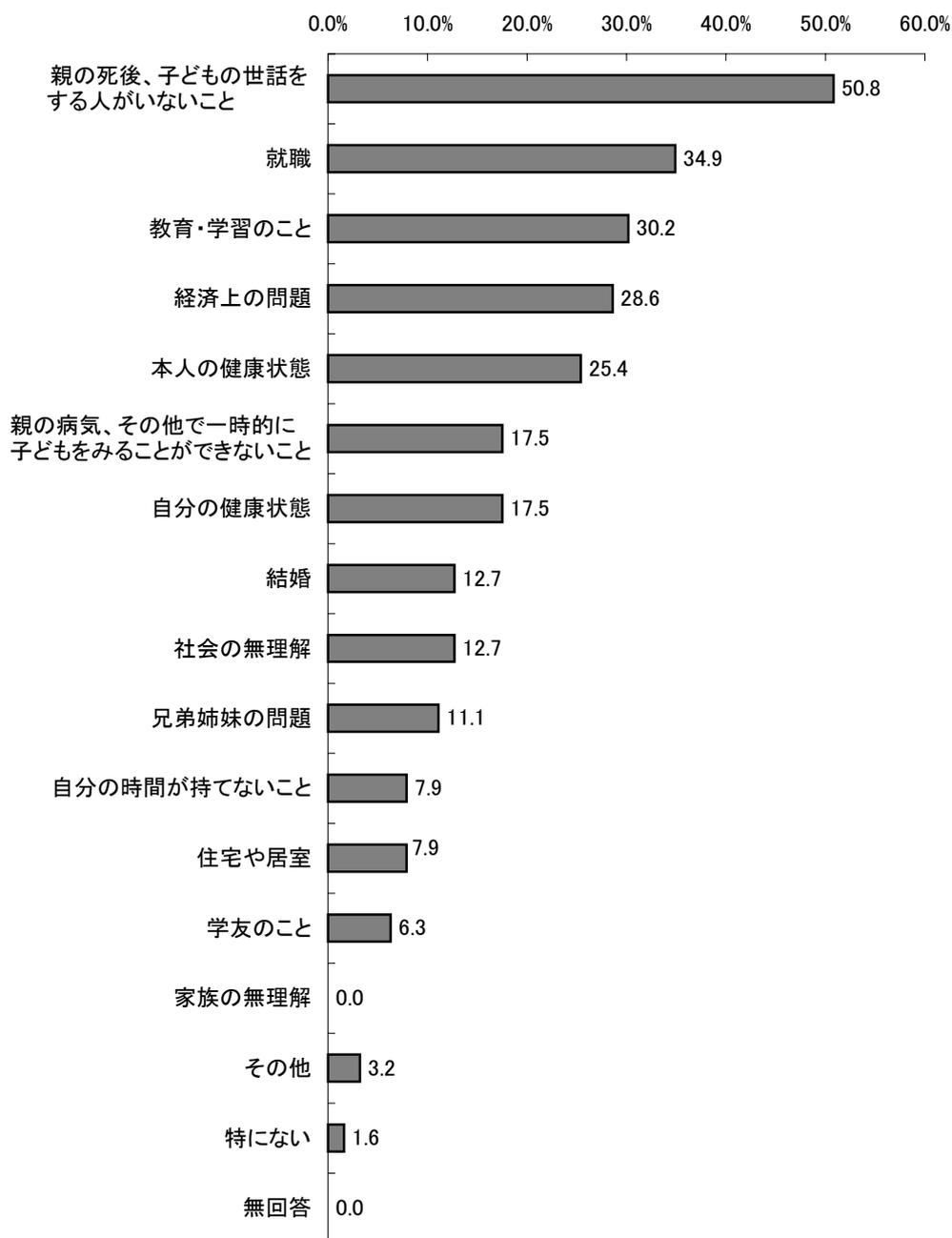
	調査数「n」 (人)	専門知識を持った教職員の加配	障害に関する理解向上	本人が希望する学校に 入れるなど、個人のニーズに応じた教育	派遣校への訪問看護師の	進マ学校イゼーシヨンの推	進路指導の充実	
全 体	44	56.8	43.2	31.8	27.3	25.0	22.7	
障害の程度別	1級	21	61.9	38.1	38.1	47.6	9.5	14.3
	2級	8	50.0	25.0	25.0	12.5	37.5	12.5
	3級	8	37.5	50.0	25.0	12.5	37.5	37.5
	4級	3	33.3	100.0	33.3	-	33.3	66.7
	5級	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-
	6級	2	100.0	50.0	-	-	100.0	50.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
障害の部位別	視覚	1	-	-	-	-	-	-
	聴覚・平衡機能	5	40.0	40.0	20.0	-	60.0	40.0
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由	32	68.8	43.8	34.4	34.4	21.9	21.9
	内部障害	4	25.0	50.0	25.0	-	25.0	25.0
	その他	1	-	100.0	-	100.0	-	-
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	
就学先別	未就学	-	-	-	-	-	-	-
	小学校(部)	26	53.8	46.2	34.6	34.6	30.8	15.4
	中学校(部)	10	80.0	40.0	30.0	30.0	10.0	50.0
	高校(部)	8	37.5	37.5	25.0	-	25.0	12.5
	専門学校など	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	

	調査数「n」 (人)	障害児学級の教員配置の見直し	職業教育の充実	ことばの教室など通級制度の充実	その他	特にない	無回答	
全 体	44	20.5	9.1	4.5	4.5	9.1	-	
障害の程度別	1級	21	23.8	4.8	-	9.5	4.8	-
	2級	8	37.5	12.5	12.5	-	25.0	-
	3級	8	12.5	12.5	12.5	-	12.5	-
	4級	3	-	-	-	-	-	-
	5級	2	-	50.0	-	-	-	-
	6級	2	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
障害の部位別	視覚	1	-	-	-	100.0	-	
	聴覚・平衡機能	5	-	40.0	-	20.0	-	
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-	-	-	
	肢体不自由	32	25.0	6.3	6.3	3.1	3.1	-
	内部障害	4	25.0	-	-	25.0	25.0	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	
就学先別	未就学	-	-	-	-	-	-	
	小学校(部)	26	23.1	7.7	3.8	7.7	7.7	-
	中学校(部)	10	20.0	20.0	-	-	-	-
	高校(部)	8	12.5	-	12.5	-	25.0	-
	専門学校など	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	

(9) 子育てで困っていることや将来に対する不安・悩み

問43 お子さんを育てていくうえで、困っていることや将来に対する不安、悩みなどがありますか。(〇は3つまで)

【図表 3-1-118 子育てで困っていることや将来に対する不安・悩み】(n=63)



子育てで困っていることや将来に対する不安・悩みは、「親の死後、子どもの世話をしている人がいないこと」(50.8%)が最も多く、次いで「就職」(34.9%)、「教育・学習のこと」(30.2%)、「経済上の問題」(28.6%)、「本人の健康状態」(25.4%)となっている。

【図表 3-1-119 児童の年齢別・障害の程度別・障害の部位別
子育てで困っていることや将来に対する不安・悩み】(%)

	調査数「n」(人)	親の死後、 と話を する人 がいない この世	就職	教育・学 習のこと	経済上 の問題	本人の 健康状 態	親の病 気、そ の他で とがで きない こと	自分 の健康 状態	結 婚	
全 体	63	50.8	34.9	30.2	28.6	25.4	17.5	17.5	12.7	
別児 童の 年 齢	5歳以下	15	53.3	13.3	53.3	33.3	33.3	6.7	6.7	-
	6～11歳	25	56.0	36.0	28.0	28.0	16.0	28.0	24.0	8.0
	12～14歳	13	61.5	30.8	23.1	30.8	15.4	23.1	30.8	7.7
	15～17歳	10	20.0	70.0	10.0	20.0	50.0	-	-	50.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障 害 の 程 度 別	1級	34	61.8	17.6	32.4	32.4	26.5	17.6	26.5	2.9
	2級	10	60.0	30.0	30.0	40.0	10.0	30.0	10.0	10.0
	3級	8	12.5	87.5	12.5	-	50.0	12.5	-	37.5
	4級	4	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0
	5級	2	50.0	-	-	100.0	-	50.0	-	50.0
	6級	3	66.7	66.7	66.7	-	-	-	-	33.3
	無回答	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-
障 害 の 部 位 別	視覚	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	聴覚・平衡機能	8	25.0	37.5	62.5	12.5	12.5	-	-	25.0
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由	45	62.2	28.9	22.2	28.9	24.4	20.0	24.4	8.9
	内部障害	7	14.3	57.1	42.9	42.9	57.1	14.3	-	14.3
	その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	

	調査数「n」(人)	社 会 の 無 理 解	兄 弟 姉 妹 の 問 題	自 分 の 時 間 が 持 て な い こ と	住 宅 や 居 室	学 友 の こ と	家 族 の 無 理 解	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	63	12.7	11.1	7.9	7.9	6.3	-	3.2	1.6	-
別児 童の 年 齢	5歳以下	15	13.3	20.0	13.3	13.3	6.7	-	6.7	-
	6～11歳	25	12.0	8.0	8.0	4.0	4.0	-	-	4.0
	12～14歳	13	15.4	15.4	-	7.7	15.4	-	-	-
	15～17歳	10	10.0	-	10.0	10.0	-	-	10.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障 害 の 程 度 別	1級	34	8.8	14.7	8.8	11.8	2.9	-	2.9	-
	2級	10	10.0	20.0	20.0	-	10.0	-	-	-
	3級	8	12.5	-	-	-	12.5	-	12.5	-
	4級	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-
	5級	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	6級	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
障 害 の 部 位 別	視覚	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	聴覚・平衡機能	8	25.0	-	12.5	25.0	25.0	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由	45	13.3	15.6	6.7	6.7	4.4	-	2.2	2.2
	内部障害	7	-	-	14.3	-	-	-	14.3	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	